

駅から始まるコンパクトシティ形成促進方策に関する研究（3）報告会
鉄道会社と沿線まちづくり研究の動向
ー 関西の電鉄会社に注目してー

関西大学 環境都市工学部

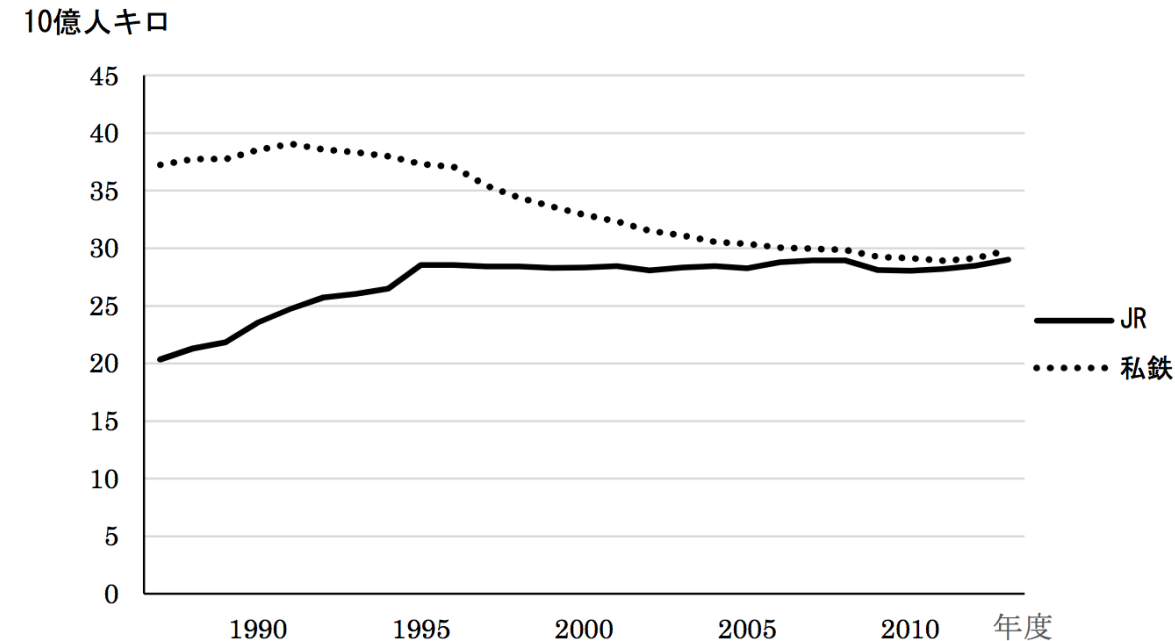
岡 絵理子

京阪神圏の鉄道の特徴と課題

鉄道営業距離； 東京圏 2458.6km
京阪神圏 1500.7km（およそ6割）

鉄道分担率； 東京都区部 36.7%、横浜市 35.8%
大阪市 30.0%、京都市 18.8%、神戸市 27.6%

広域ネットワークを持つ、民営
化後JR西日本の躍進

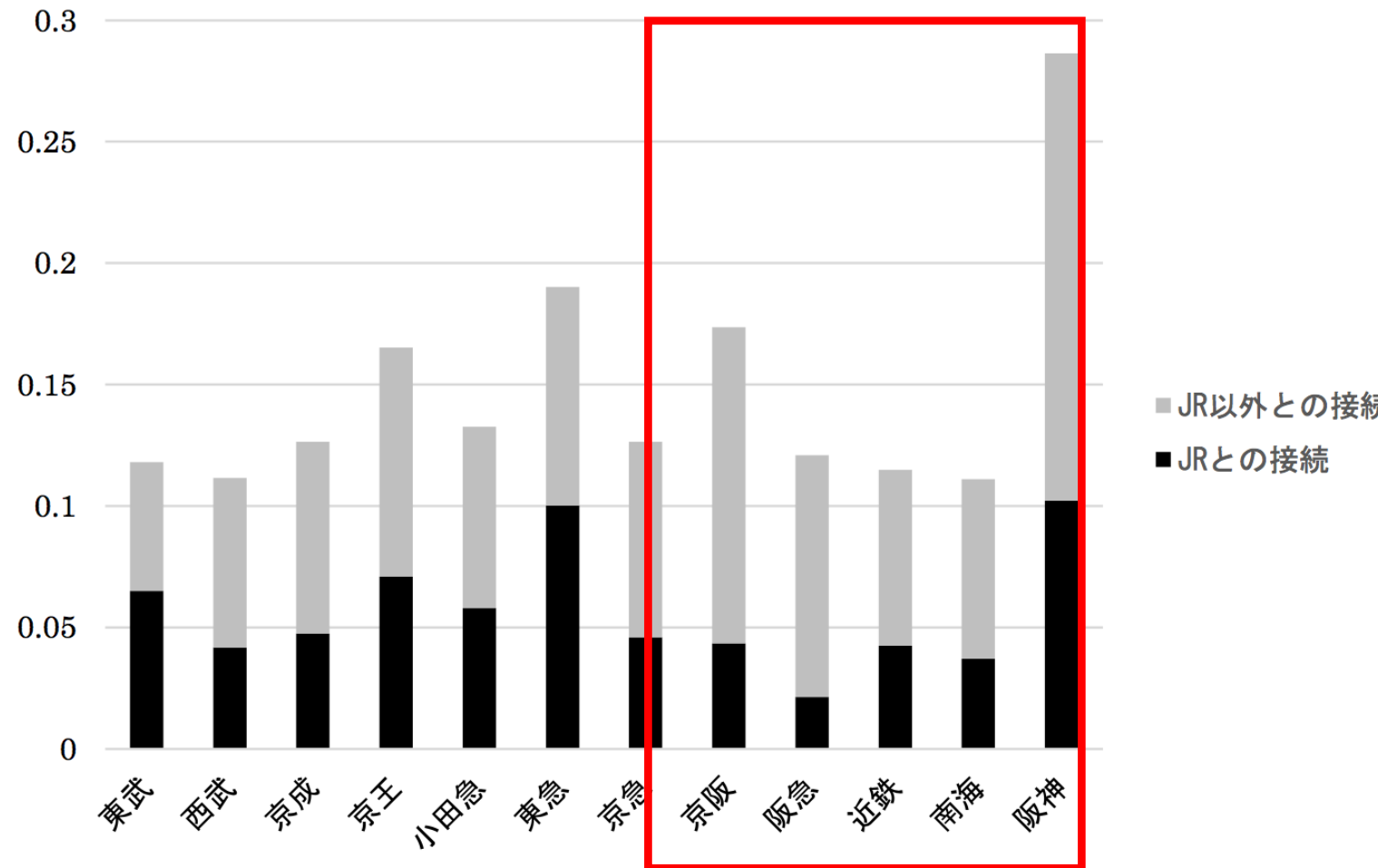


京阪神圏鉄道輸送人キロの推移（出典；JR西日本）

京阪神圏の鉄道の特徴と課題

京阪神圏私鉄と、広域ネットワークをもつJRとの接続の悪さ

乗り換え駅の歩行距離の長さ
首都圏；191.6m
近畿圏；220.3m
(平均乗換水平移動距離)



営業距離あたりハブ駅数 (出所；岡本計測)

京阪神圏の鉄道の特徴と課題

京阪神圏の鉄道の鉄軌道部門収益比率はおよそ半分。

⇒他部門への進出

表1 大手民鉄の鉄軌道部門収益比率(単体、2015年3月31日現在)

社名	資本金 (百万円)	旅客営業 キロ程 (km)	鉄軌道部門 営業収益 (百万円)	全事業収益に 占める鉄軌道 部門収益の割 合(%)
東武	102,135	463.3	157,613	71.1
西武	21,665	176.6	99,147	70.2
京成	36,803	152.3	59,499	77.6
京王	59,023	84.7	81,908	67.3
小田急	60,359	120.5	117,242	72.2
東急	121,724	104.9	151,723	55.0
京急	43,738	87.0	80,532	60.6
東京メトロ	58,100	195.1	348,717	96.4
相鉄	100	35.9	32,270	100.0
名鉄	88,863	444.2	86,836	84.4
近鉄	126,476	508.1	153,943	52.4
南海	72,983	154.8	56,075	60.8
京阪	51,466	91.1	52,675	61.0
阪急	100	143.6	100,360	52.5
阪神	29,384	48.9	33,932	41.8
西鉄	26,157	106.1	21,133	14.9

郊外住宅地の暮らしの現状

長く郊外住宅地で暮らしてきた、高齢化した居住者

ギリギリまで現在の生活を続けていきたい。入居以来、鉄道事業者への信頼が強く、地域の互助共助の取り組みに、鉄道会社の連携が期待される。

新しく郊外住宅地に転入してきた、様々な世代の居住者

住宅内、住宅地内にこだわらない、地域の環境を享受するために転入してきた。住宅地とその周辺のエリアを含めた、公益施設をそなえた拠点としての駅および駅周辺の再編が求められる。

沿線まちづくりの課題

鉄道会社

沿線高齢化、定期券利用者の減少、
駅依存性の低下。

運賃収入以外の事業展開、経営の多
角化。

郊外生活
弱者への
支援

多様な駅
前居住の
推進

沿線自治体

ロードサイド型店舗の立地、駅拠点
生の喪失、薄く広がる市街地。

マスタープラン、立地適正化計画の
中での、駅拠点の位置付け

自治体の壁
を超えた
ネットワー
クづくり

コンパクト＋ネットワーク型の駅拠点整備
通勤駅から、生活駅への再編

駅の拠点駅整備の方向性

大型店舗をキーテナントとした駅周辺再開発事業から、駅上分譲マンション、保留床の公共買取型再開発事業へ



エクспロージョン型駅整備



インプローション型駅整備

大和西大寺駅駅ナカ店舗



酒蔵居酒屋



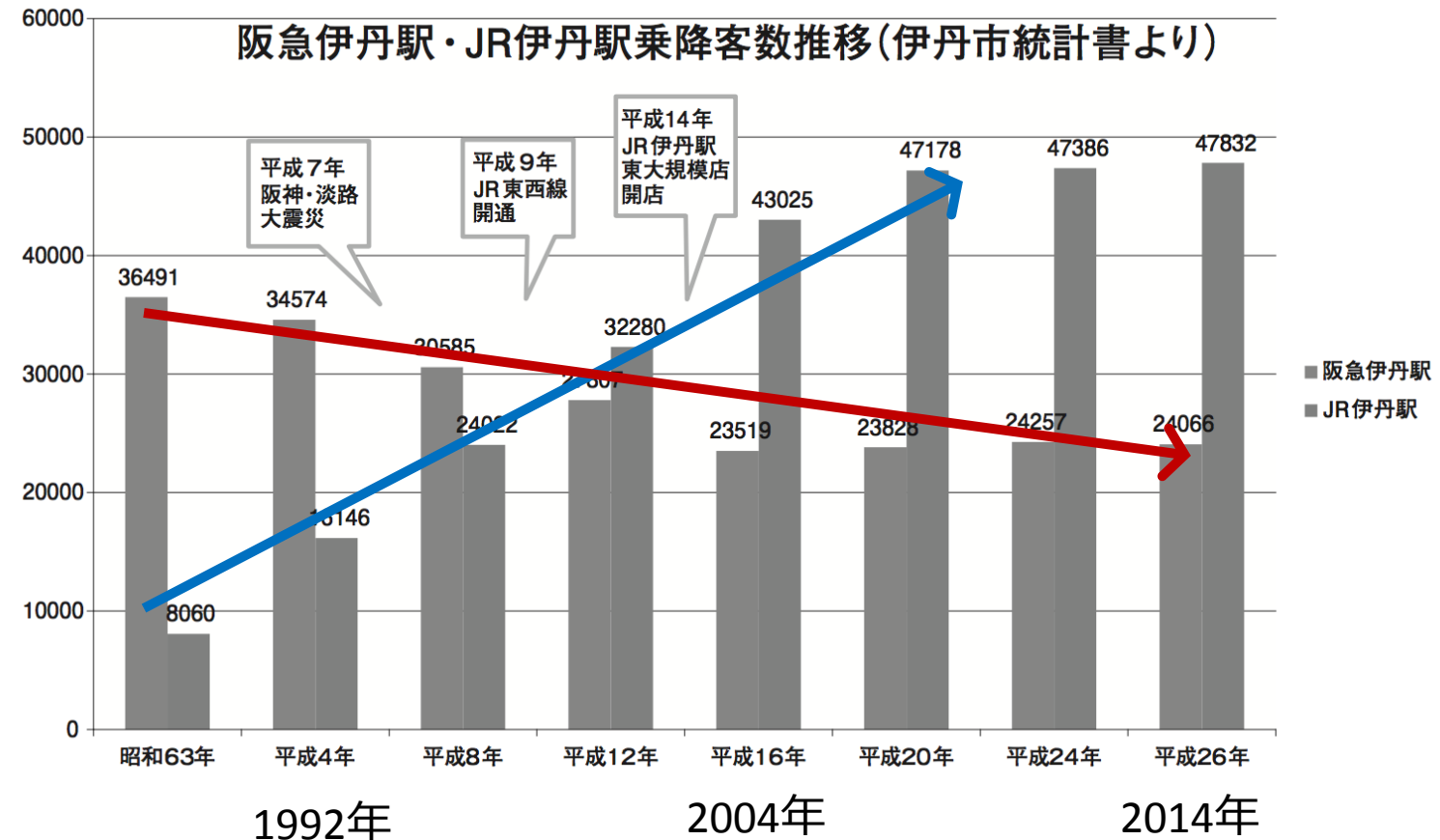
ドラッグストア

事例 1 ; 伊丹市の鉄道駅と寄り添うまちづくり ～駅をつなぐ面的整備と賑わいに向けた取り組み～

1995年、阪神淡路大震災
による伊丹駅の倒壊
それ以降の、阪急伊丹駅の
乗降客数の減少。

2002年、JR伊丹駅へのダ
イヤモンドシティ（現；イ
オンモールの進出）

表 1 阪急伊丹駅、J R 伊丹駅乗降客数推移



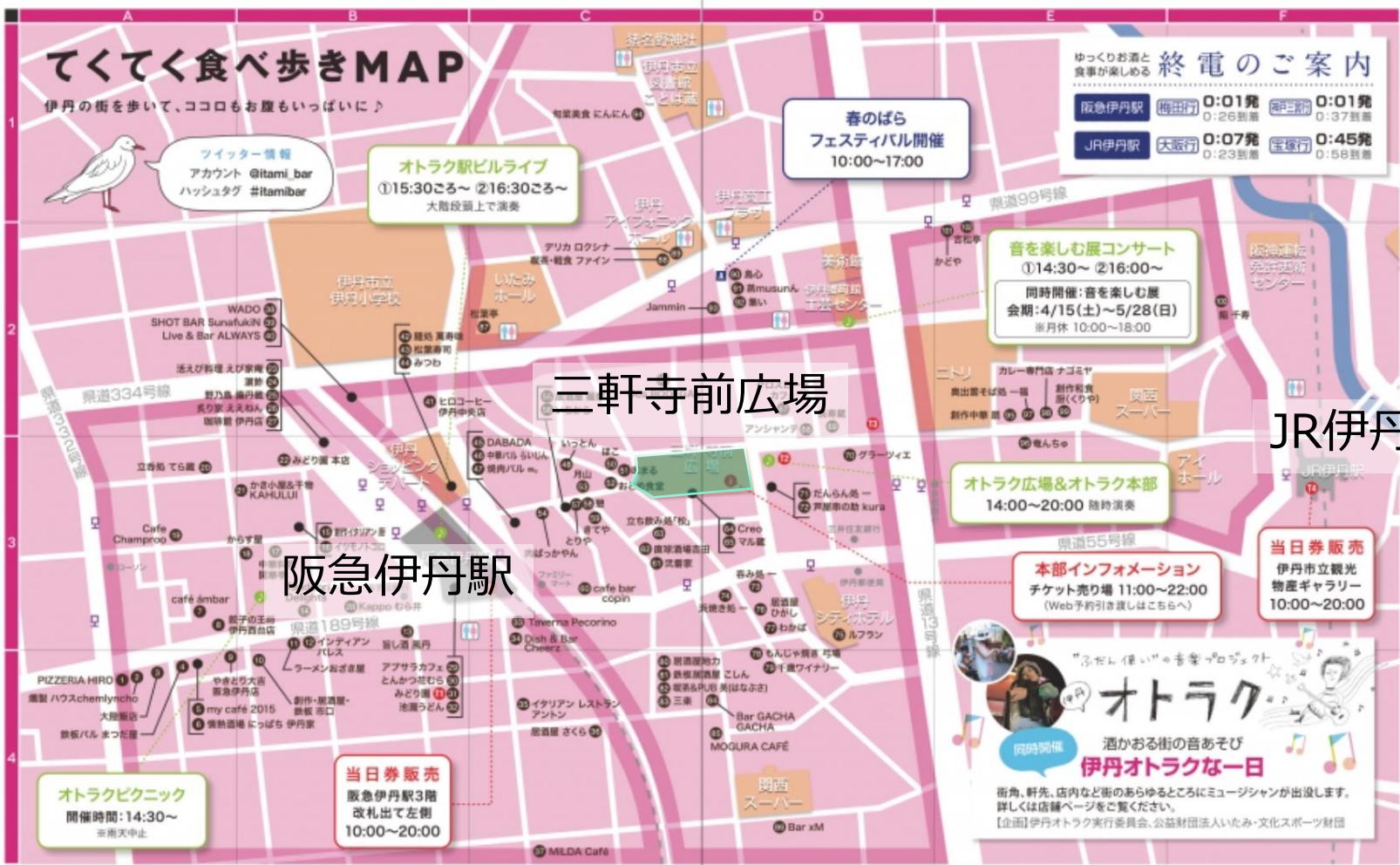
事例 1 ; 伊丹市の鉄道駅と寄り添うまちづくり ～駅をつなぐ面的整備と賑わいに向けた取り組み～

活発なソフト事業展開

- 1998年～
第 1 期中心市街地活性化基本計画
- ・ いたみわっしょい
 - ・ だんじり・太鼓フェスティバル

- 2008年～
第 2 期中心市街地活性化基本計画
- ・ 伊丹まちなかバル
 - ・ クリスマスマーケット
 - ・ 朝マルシェ
 - ・ 商店街ポスター展
 - ・ 商店街イベント いたミーツ

市が「つくった」
市民が「つかった」
三軒寺前広場



事例 2 ; 生駒駅前再開発事業「ベルテラス生駒」 ～市民交流施設としての駅前図書館を含む～

(北田論文)



歩行者専用デッキと一体となった賑わい空間「ベルステージ」



生駒山を望む読書カフェ



図書室前の屋上広場

南海電鉄への提案

林間田園都市駅の現状把握から、「鉄道駅×道の駅」の提案

- パークアンドライドの駐車場の増加。
- 駅への店舗など施設集積性がますます低くなっている。
- 新鮮で、美味しい食材、食事が得られる場所へのニーズ。
- 散歩や、ウォーキングの立ち寄り先としての駅。

「鉄道駅×道の駅」＋図書館、公民館
として、新しい拠点性のある駅の提案



南海電鉄の動き

南海電鉄による泉北ニュータウンの沿線まちづくり

南海電鉄グループ経営による泉北高速の、経済性、利便性の拡大。ターミナル駅難波駅への吸引力強化。泉ヶ丘駅の駅前整備・再生による、駅拠点性の強化

バス路線の見直しによる、コンパクト＋ネットワークの実現が急務

表2 南海電鉄グループ中期経営計画「深展 133 計画」(2015～17 年度)における「泉北関連事業の強化」

基本的な考え方	具体的な取組み	取組み項目
泉北エリア全体の活性化	輸送サービスの利便性・快適性向上	- 乗継割引拡大・泉北線通学定期の割引率拡大 - 企画乗車券の拡充など利用促進策の実施 - ダイヤ見直しによる速達性・快適性の向上 - 鉄道・バスの連携強化、バス路線の見直し
	泉ヶ丘駅前地区の魅力・集客力向上	- 駅前商業施設・パンジョのリニューアル - 駅前商業施設・パンジョの営業施策連携強化 - 泉北線とのパーク＆ライドサービス推進 - 行政、大学、民間等とのエリアマネジメント推進 - 近畿大学医学部等の移転を見据えた将来計画策定
	泉北エリアへの居住・来訪促進	- 戸建て・マンション事業の推進 - 生活関連サービスの拡充 - 住宅、団地再生事業への参画検討 - エリア情報発信の強化・ハイキング活動の合同開催
グループシナジーの発現	物流事業の収益基盤拡充	㈱大阪府食品流通センターの株式取得と経営安定化 - 開発用地の確保等による高度利用化の推進 - グループ内物流事業との連携
	効率化の推進と競争力の強化	- 鉄道保守体制見直し - 鉄道車両・機材等の仕様共通化、共同購入 - 施設管理業務のグループ内製化 - 泉北エリアにおける新規事業の積極展開

(出典) 南海電鉄(2016)p.5 および南海電鉄決算説明会資料より筆者作成。

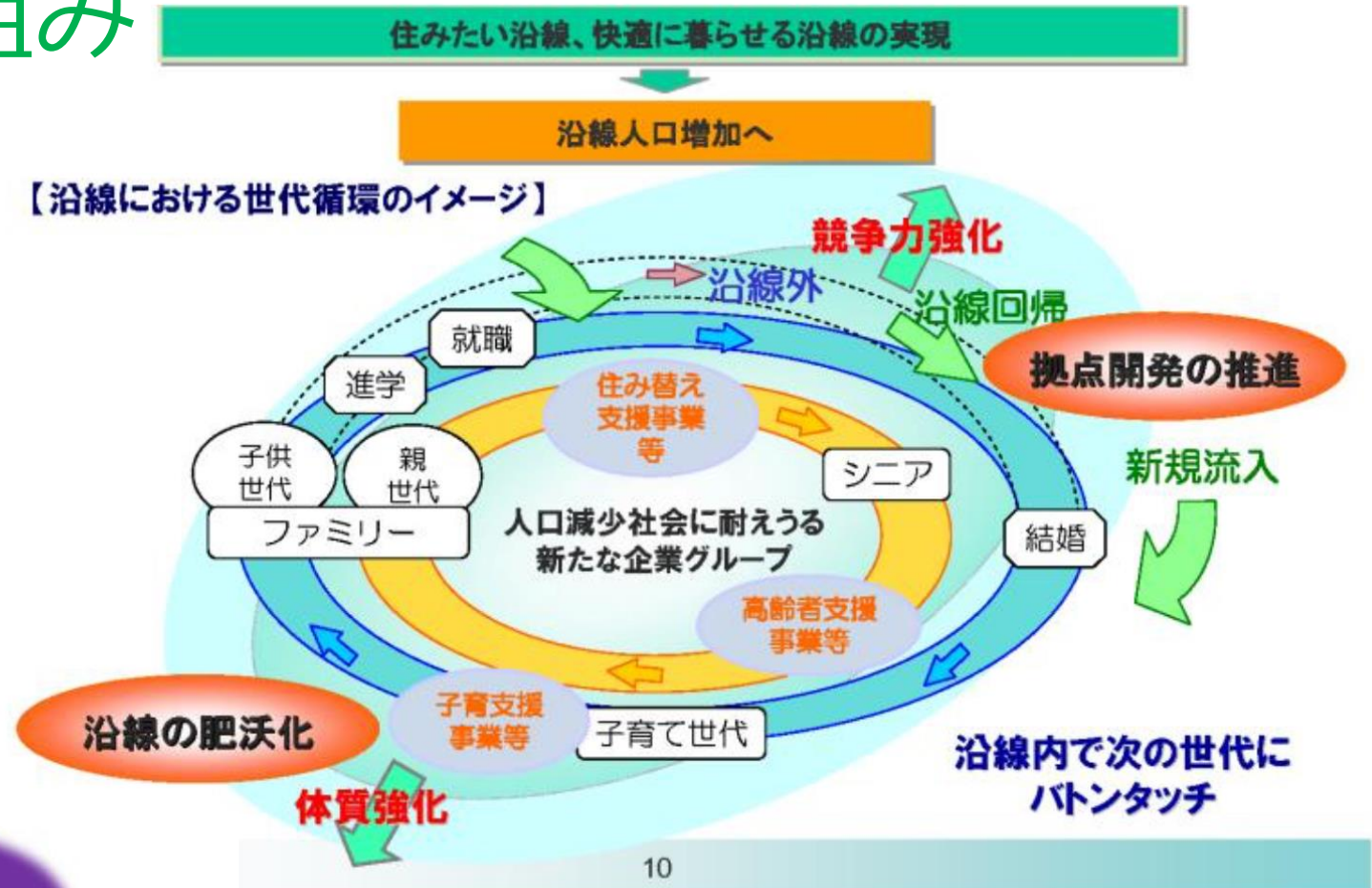
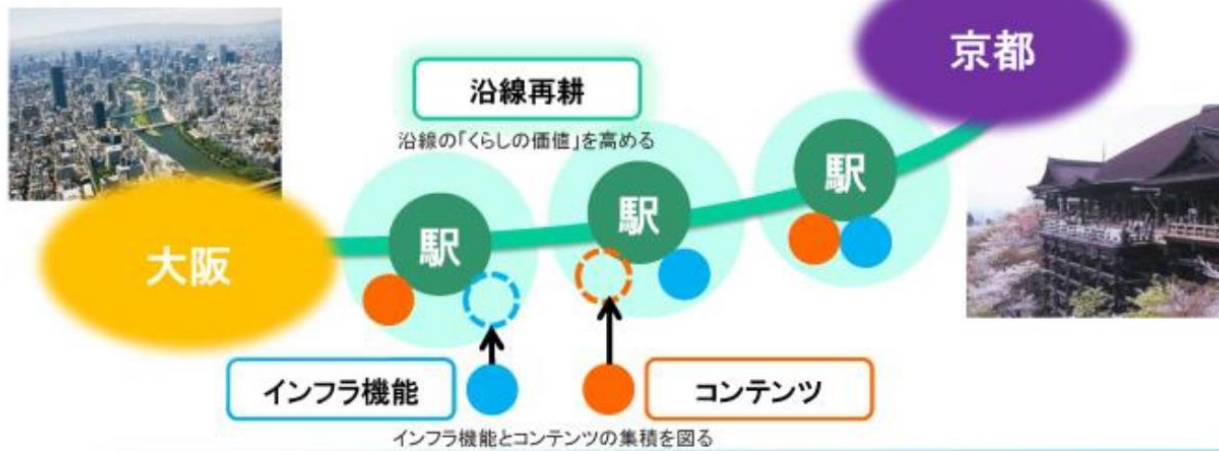
京阪グループの取り組み

不動産部門は、沿線外へ拡大戦略（都心、首都圏、ロジスティック）

沿線再耕

沿線まち再生プロジェクト

「沿線再耕」は、ハード・ソフト両面にわたる沿線のデザイン。

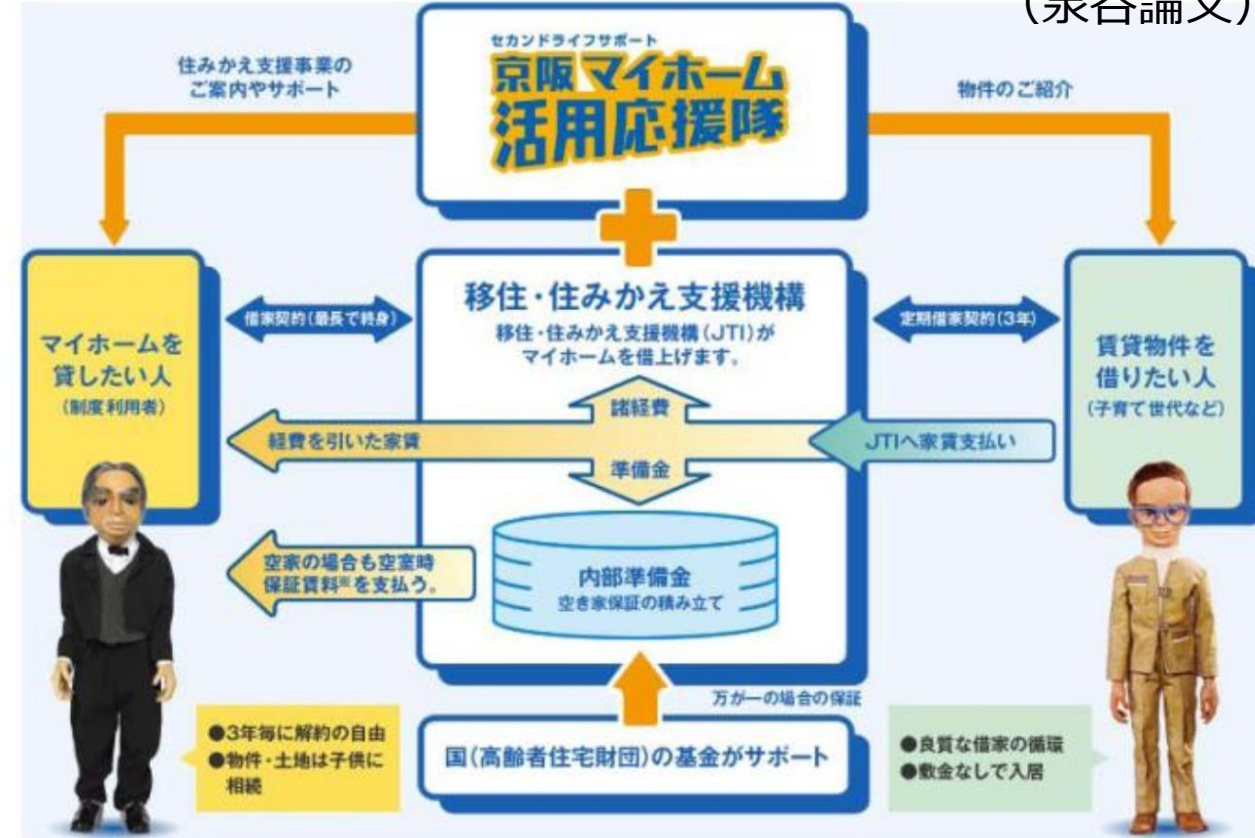


京阪沿線ライフスタイルモール
；沿線での「暮らしの価値」を高める戦略

京阪グループの取り組み

くずはローズタウン

① マイホーム借上げ制度を使った 住み替え促進



② 既存住宅の新たな価値向上・流通促進のモデル作り；多世代交流型マンションなど、付加価値のある住宅開発

③ 住み替えの受け皿となる住宅の供給

④ 住宅支援サービスの展開

阪急電鉄・阪急不動産の取り組み

沿線価値向上～新たな沿線価値創造の取り組み

ハード整備

- ① 拠点開発；西宮ガーデンズなど
- ② マンション建替え・リノベーション



阪急電鉄・阪急不動産の取り組み

沿線価値向上～新たな沿線価値創造の取り組み

ソフト整備

- ①住宅地におけるコミュニティ活動促進
- ②沿線地域でのコミュニティ活動支援
- ③子育て・女性の就労支援
- ④空き家サポート



図8 アフタースクールKippo



0

図9 マスコットキャラクター 左:すまいるん 右:すまいりん

+ 海外での不動産事業

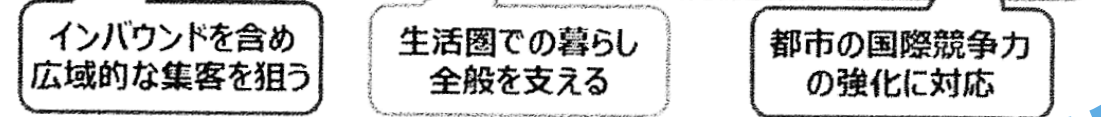
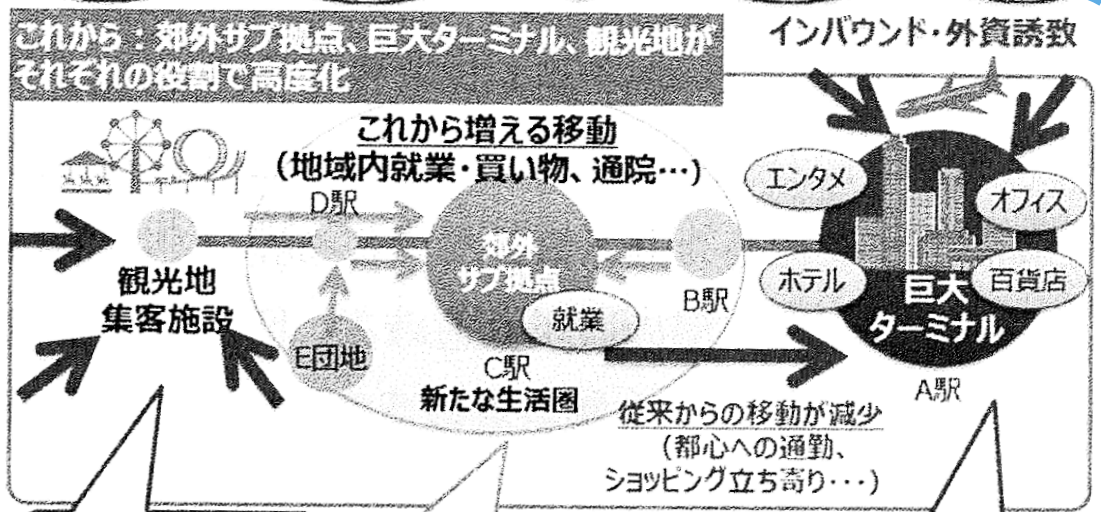
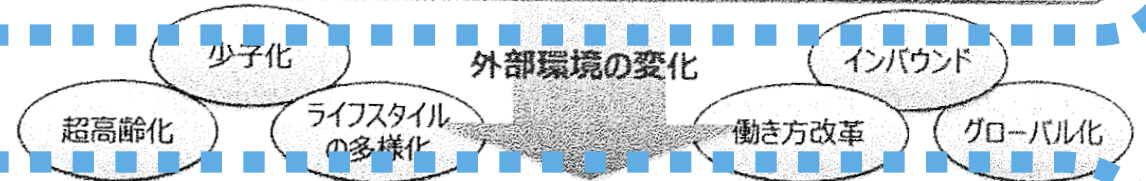
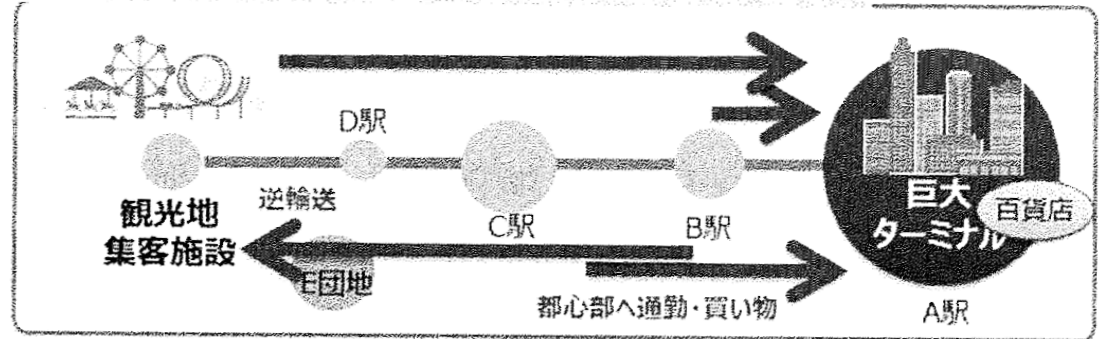
鉄道会社の今後の可能性

沿線居住者が主要顧客

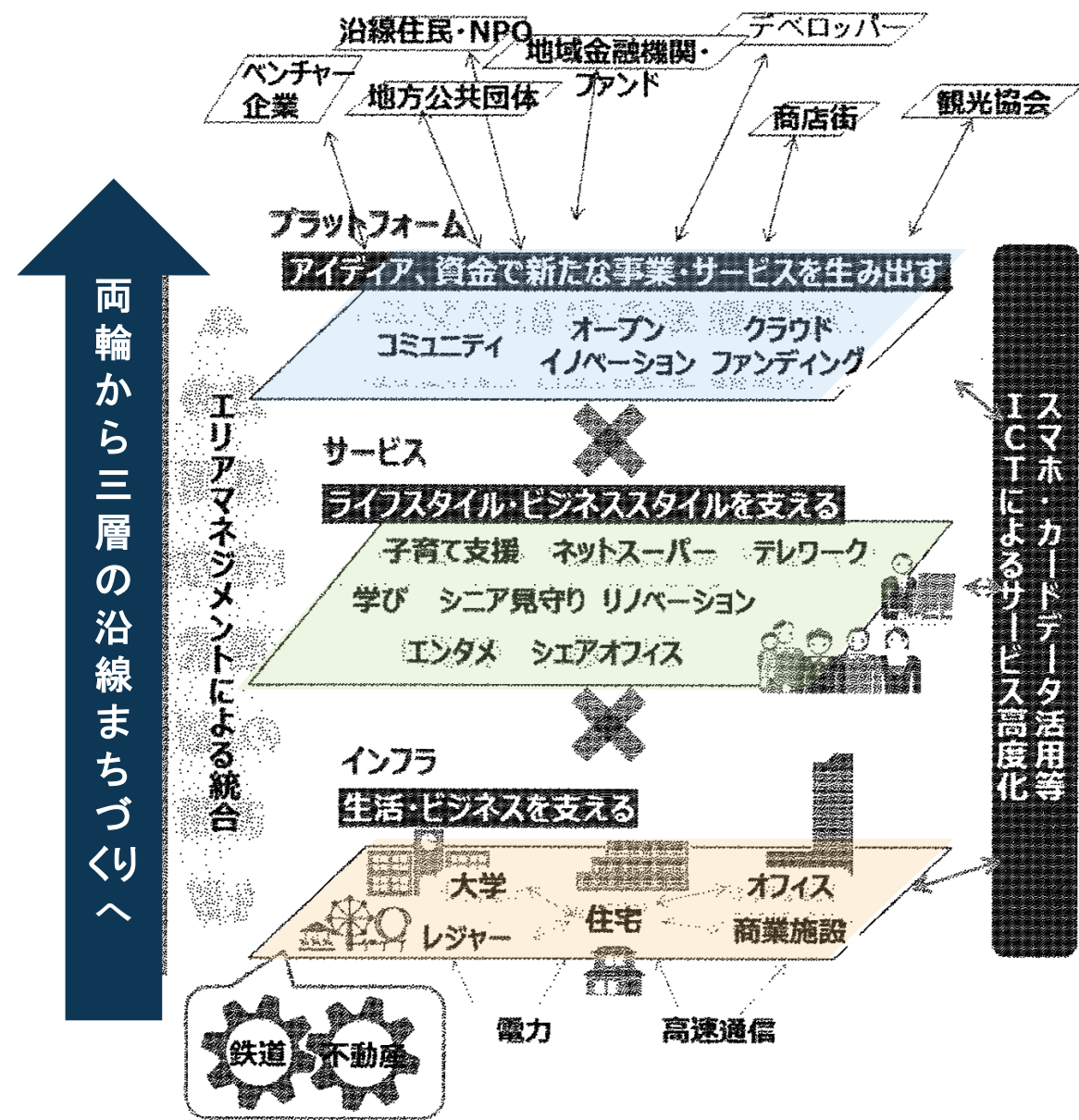


沿線居住者中心の郊外拠点と、都心ターミナル、観光など広域での集客

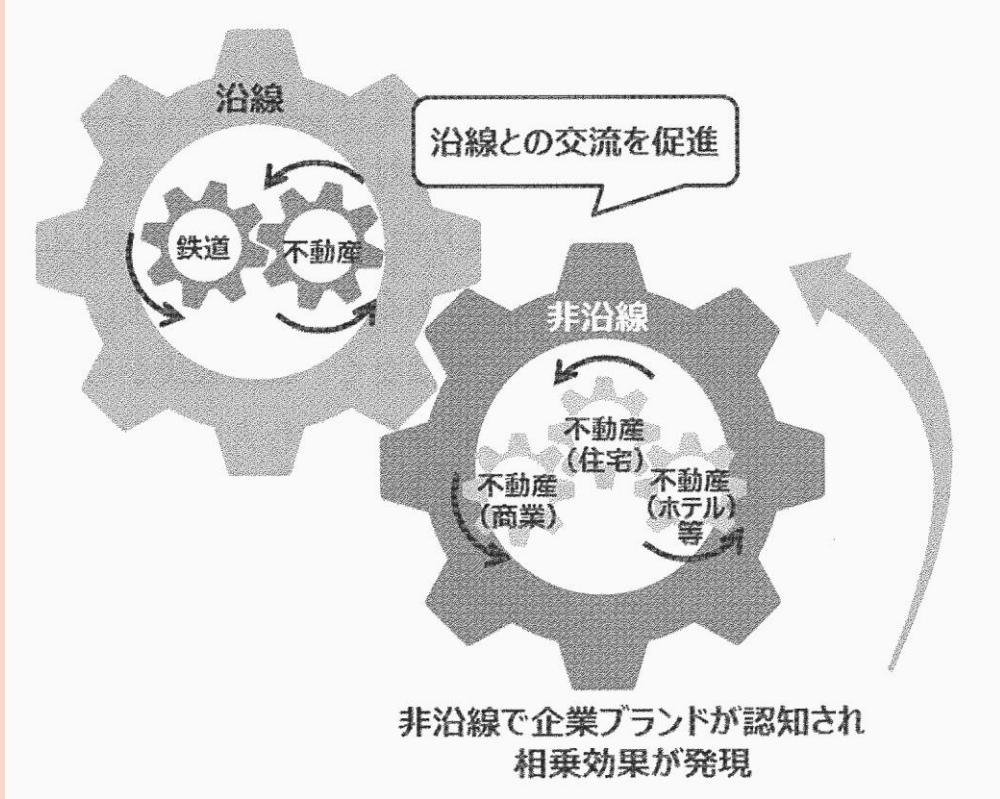
過去：定期券で都心部に、休日は沿線の観光地・集客施設へ



鉄道会社の今後の可能性



両輪型から 三層の沿線まちづくりへ



「都市住宅学 9 7 号2017spring 特集 鉄道会社と沿線まちづくりの課題と将来」より

2017年6月16日（金）18：00～
駅から始まるコンパクトシティ形成促進方策に関する研究（3）報告会

駅および駅周辺の交流機能

水野優子
武庫川女子大学

沿線の概要

沿線の概要

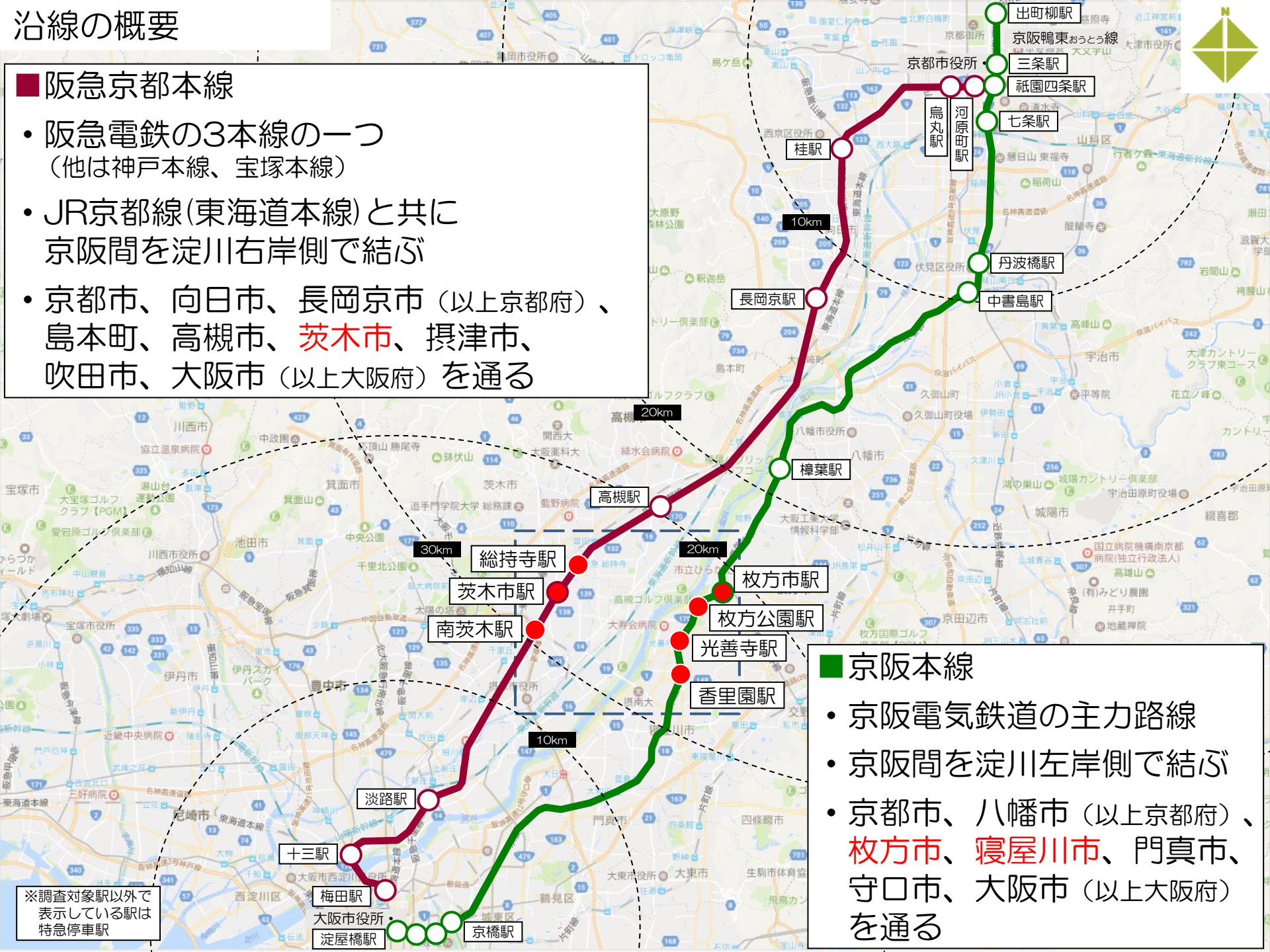
■ 阪急京都本線

- 阪急電鉄の3本線の一つ
(他は神戸本線、宝塚本線)
- JR京都線(東海道本線)と共に
京阪間を淀川右岸側で結ぶ
- 京都市、向日市、長岡京市(以上京都府)、
島本町、高槻市、**茨木市**、摂津市、
吹田市、大阪市(以上大阪府)を通る

※調査対象駅以外で
表示している駅は
特急停車駅

■ 京阪本線

- 京阪電気鉄道の主力路線
- 京阪間を淀川左岸側で結ぶ
- 京都市、八幡市(以上京都府)、
枚方市、**寝屋川市**、門真市、
守口市、大阪市(以上大阪府)
を通る



調査対象駅の概要

※参考：JR茨木駅
①1876年（M9）
②約9.6万人/日

①1936年（S11）
②18,244人/日
③周辺は住宅市街地。

①1910年（M43）
②92,367人/日
③枚方市の都市核。
京阪交野線、路線バス
との交通結節点。
同市の官庁街の
最寄駅。

①1928年（S3）
②65,576人/日
③JR茨木駅と共に
茨木市の都市核。
同市役所の最寄駅。
路線バスとの
交通結節点。

①1910年（M43）
②18,449人/日
③京阪経営の
遊園地の最寄駅。

①1970年（S45）
②43,682人/日
③モノレールとの
交通結節点。

①1910年（M43）
②20,950人/日
③周辺は住宅市街地。

①1910年（M43）
②59,421人/日
③寝屋川市北部の都市核。

※凡例

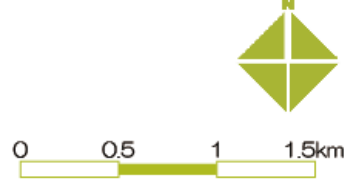
①駅の開設年

②乗降客数（2015年）

③駅・駅周辺の特性

乗降客数
1万人/日

京阪本線(寝屋川市・枚方市)
連続立体交差事業
(事業中/2028年度完成予定)





- ・茨木市の中心部は、城下町、在郷町であった茨木村を基に、中心市街地に発展した
- ・それを除く一帯は、主に集落の耕作地などが住宅地化した市街地が広がる

- ・枚方市の中心部は、京街道の枚方宿を基に、中心市街地に発展した
- ・それを除く一帯は、主に集落の耕作地などが住宅地化、工業用地化した市街地が広がる

○京阪線以東の枚方丘陵

- ・香里園などの近代郊外住宅地の開発以降、公団住宅団地、ニュータウンなどの開発により住宅地化した

駅および駅周辺の交流機能に関する調査

調査概要

地域の拠点としての駅の役割が見直されるなか、駅や駅周辺の機能のあり方や魅力の増進が求められている。本調査では、**駅を拠点として、どのようなアクティビティが想定されるのか、空間的なポテンシャルを明らかにするとともに、実際に展開されているアクティビティを把握することにより、今後の沿線まちづくりに取り組む基礎資料とすることを目的としている。**

オープンスペース

駅構内、公園、道路・広場・陸橋

※利活用の状況（内容、開催時期、開催主体等）について管理者への聞き取り調査を実施。

交流施設等

交流施設

図書館、ミュージアム、公民館等

（カフェ、ファストフード、ホテル）

新しい働き方に関する施設

コワーキングスペース、シェアスペース

新しい集い場に関する施設

レンタルスペース、クラフトスペース等

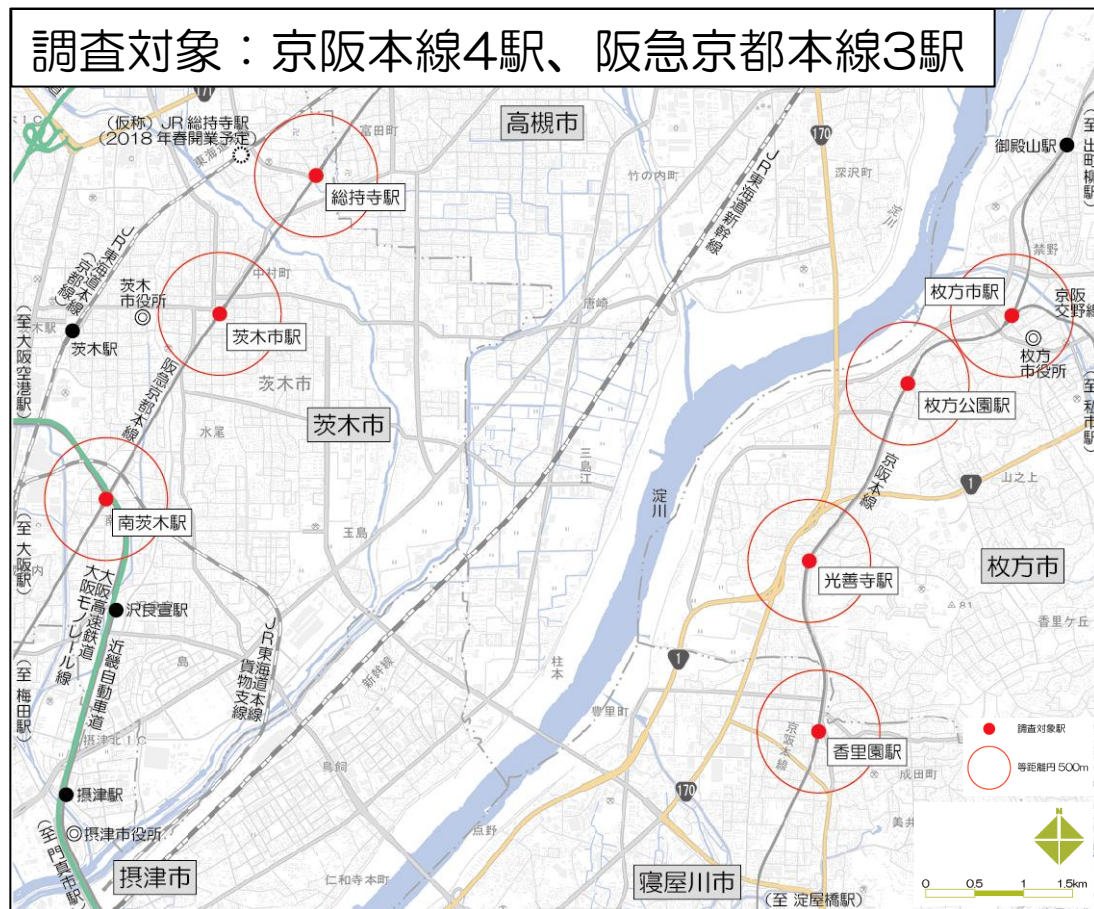
子育てに関する施設

幼稚園を除く幼児教育。未就学児童を対象としたサービス。キッズルーム、託児所等。

その他（観光、情報発信当に関する）施設

テーマパーク、歴史的資源、ラジオ局等

調査対象：京阪本線4駅、阪急京都本線3駅



調査範囲：駅より半径500m圏内

京阪：枚方市駅

枚方市の中心駅で、市内最多の乗降客数である。大阪府交野市方面と結ぶ京阪交野線の起点駅であり、また、バス路線においても当該市内で最も多く集積しており、**交通結節点**となっている。駅一帯には**大きな商業業務集積**がみられ、また、駅南東側には**市役所をはじめとする官庁**が、駅西側には**医科大学付属の特定機能病院**が立地する。



枚方市駅前交通広場（駅東側）と陸橋



駅地上階 自由通路



岡東中央公園



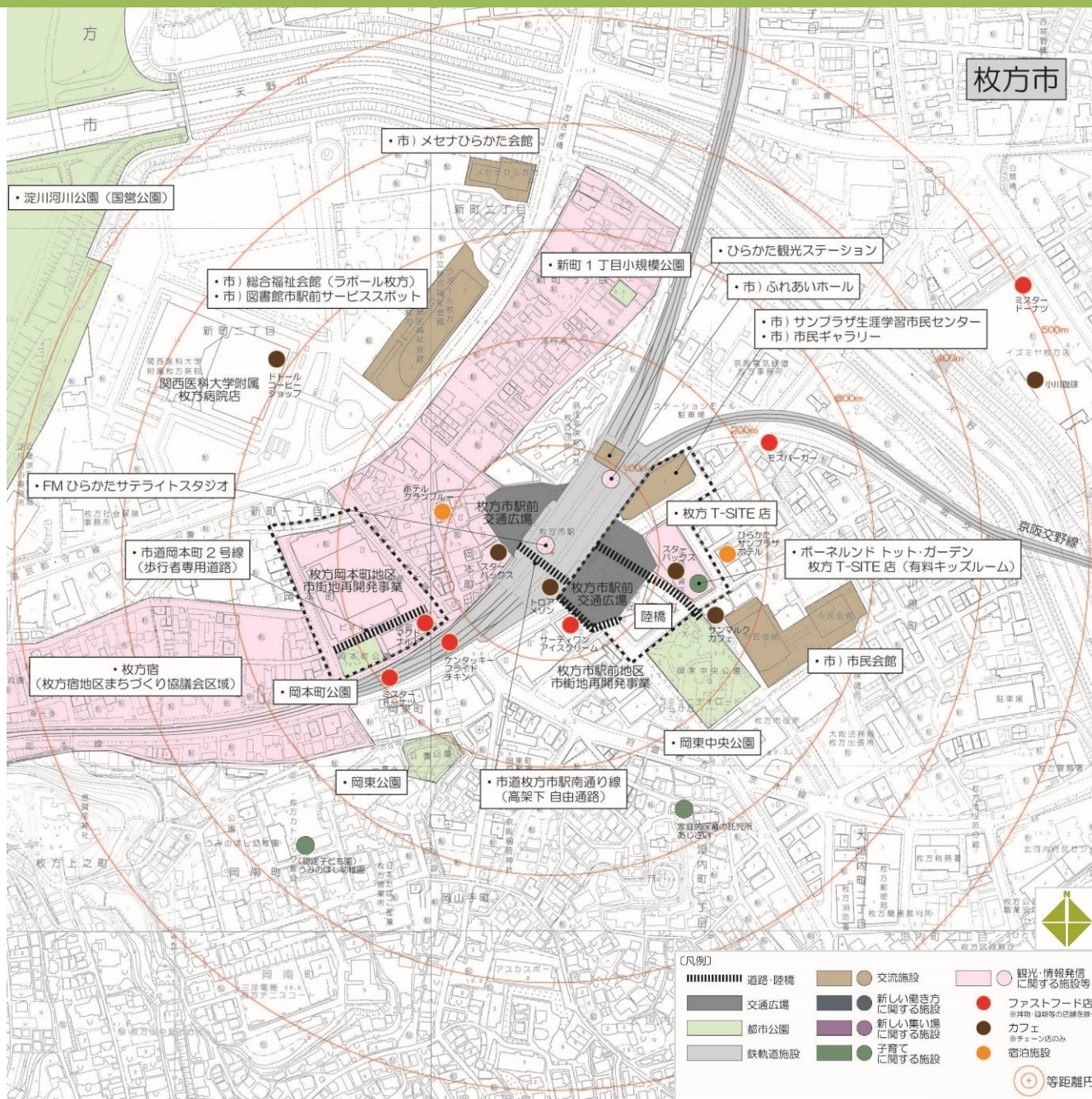
枚方市駅前交通広場（駅西側）



FMひらかた サテライトスタジオ（中央改札口前）



枚方岡本町地区市街地再開発事業区域



京阪：枚方市駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、駅高架下の自由通路、陸橋

駅コンコース、イベント広場での年間数多くのイベント開催（13回／H28）

市役所に面した岡東中央公園、淀川河川公園

岡東中央公園では、枚方市にぎわい空間創出事業関連イベントを中心に開催（24回/H28）

歴史的資源として枚方宿

FMラジオスタジオ、観光ステーション等の情報発信施設

五六市（毎月1回）

■交流に関する施設

市中心部としての商業集積

大型商業施設T-SITE
ファストフード（6）
チェーン系カフェ（6）
ホテル（2）

ホール、会議室、展示室などを有する多くの交流施設

総合福祉会館、私立図書館
市駅前サービススポット、
メセナひらかた会館、市民会館、サンプラザ生涯学習センター、市民ギャラリー、ふれあいホール

市中心駅として、オープンスペース、施設の集積等、空間的なポテンシャルは高い。

アクティビティが集中する箇所は駅構内、および岡東中央公園、枚方宿。

交流機能、アクティビティに関して、駅の中心性がみられる。

京阪：枚方公園駅

駅北側には旧・枚方宿のまち並みが、さらにその北側には淀川河川敷の淀川河川公園が立地する。駅南側には京阪グループのレクリエーション施設であるひらかたパークが立地し、当該駅はその最寄駅となっている。それらを除くと、駅一帯には住宅市街地が広がる。



東改札口（枚方公園駅前交通広場）



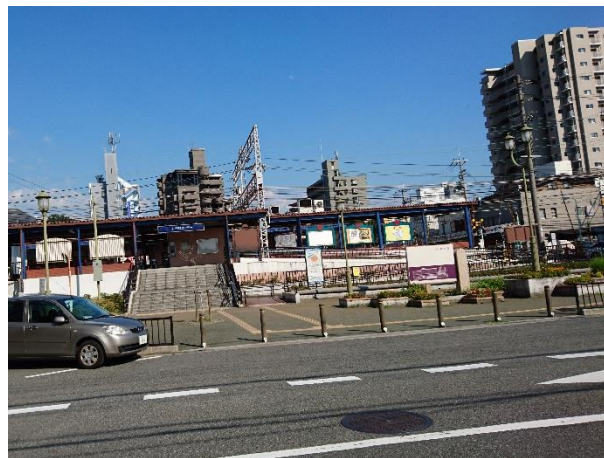
西改札口（枚方公園駅前交通広場）



旧・枚方宿



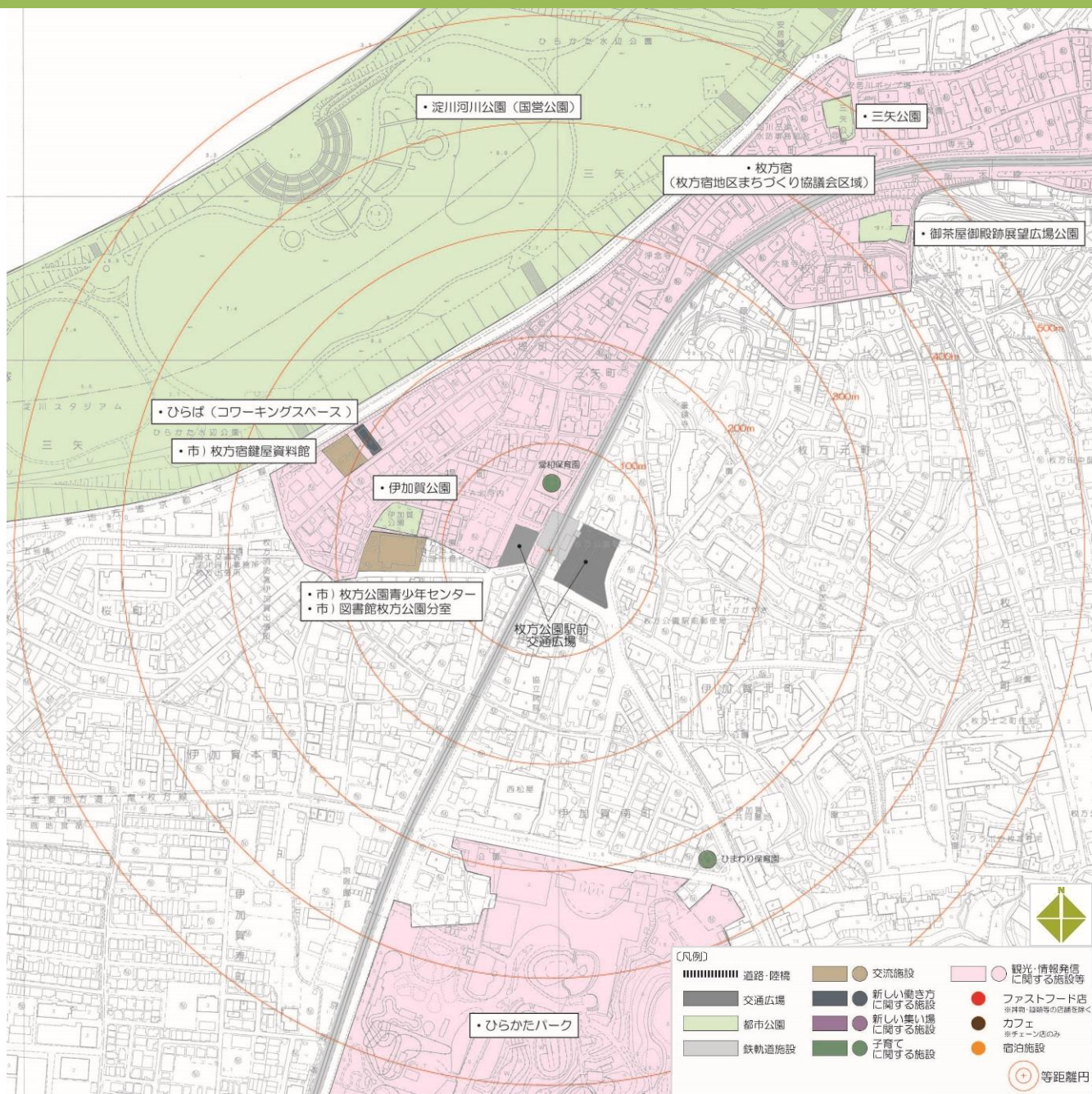
同上



同上



ひらかたパーク



京阪：枚方公園駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場

淀川河川公園＋街区公園

歴史的資源として枚方宿

五六市（毎月1回）

施設周辺と連動した
取り組みはなし

■交流に関する施設

観光施設としての
ひらかたパーク

新しい働き方としてコワーキン
グスペースひらば

ホール、会議室、展示室な
どを有する交流施設

枚方の情報発信サイト「枚
方つーしん」運営
単なるコワーキングスパー
スではなく、情報発信、地
域ネットワーク等を活かした
場づくり

枚方宿鍵屋資料館

枚方公園青少年センター、
市立図書館枚方公園分室

ひらかたパーク、枚
方宿など、歴史・観
光資源を有しながら
も、大きな商業集積
はみられない。

駅に一定のオープン
スペースを有するも
ののアクティビティ
はみられない。

駅近隣商店街で地域
との連携の取り組み
が生まれつつある

京阪：光善寺駅

交通広場は未整備で、駅を経由するバス路線は1路線に留まる。駅一帯は住宅市街地が拡がり、国道1号以西には住工混在の市街地となっている。駅周辺に一定の商業業務集積がみられるが、衰退傾向にある。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

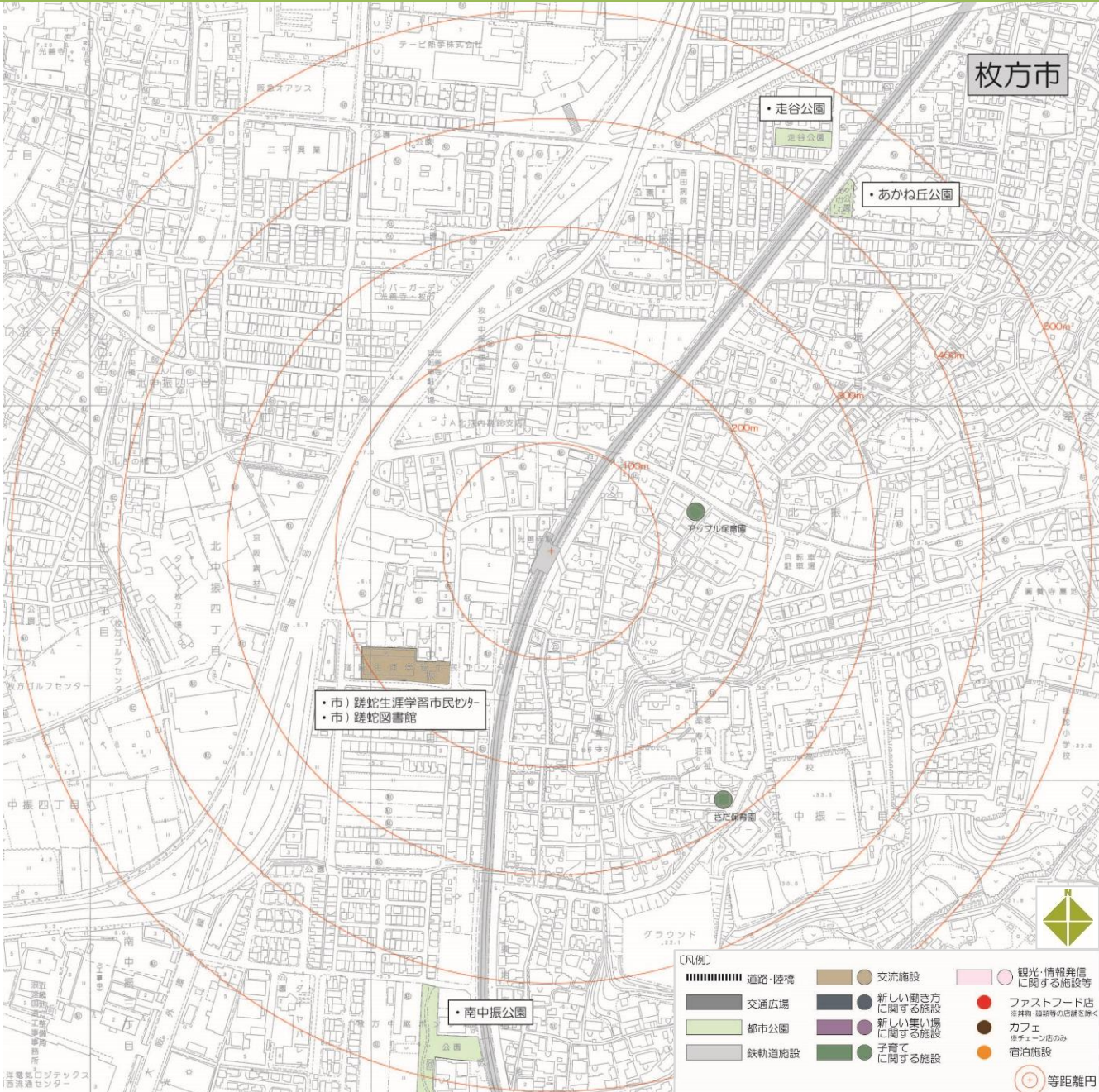
京阪：光善寺駅

■オープンスペース

離れた場所に街区公園

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設



京阪：光善寺駅

■オープンスペース

離れた場所に街区公園

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設

蹉跎生涯学習市民センター、
蹉跎図書館

まとまったオープンスペース、アクティビティがなく、駅の中心性はみられない。

京阪：香里園駅

寝屋川市における乗降客数は中心駅である京阪寝屋川市駅（約6.8万人/日）に次ぎ、バス路線も集積しており、京阪寝屋川市駅、同萱島駅と共に市の**都市核**に位置付けられている。駅周辺は、駅東側の近代郊外住宅地を含め、住宅市街地が広がる。駅周辺には**一定の商業業務集積**がみられる。



市街地再開発事業区域（香里園駅東側広場） 香里駅前広場



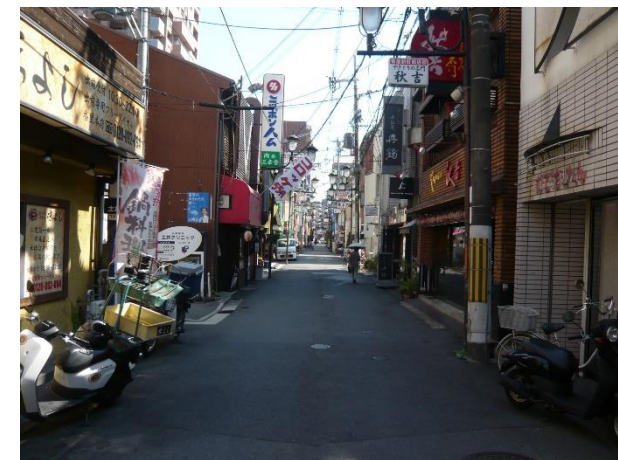
陸橋



市街地再開発事業区域



香里駅前広場周辺



駅周辺

京阪：香里園駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、陸橋

離れた場所に街区公園

■交流に関する施設

駅東側の再開発事業による
商業業務施設

ホール、会議室、展示室な
どを有する交流施設



京阪：香里園駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、陸橋

離れた場所に街区公園

東側交通広場

⇒市民たそがれコンサート、香里園界隈ええとこ百景写真展、ミュージックアートピクニック、香里園バル等

西側交通広場

⇒再開発事業による商業施設によるイベント

■交流に関する施設

駅東側の再開発事業による商業業務施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設

街区公園（1か所）で住民イベント（盆踊りや親子イベント）

ファストフード（3）
チェーン系カフェ（2）
ホテル（1）

連立立体交差事業にともない、『香里園駅周辺地区まちづくり構想』がH20年度に策定されている。

駅のにぎわい創出、まちへの回遊をめざし、文化的空間創出などが盛り込まれる。

交流機能、アクティビティに関して駅の中心性がみられる。

阪急：総持寺駅

駅は基盤整備の脆弱な住宅市街地の中に位置し、**交通広場は都市計画決定されているが未整備**で、駅を經由する**バス路線は運行されていない**。駅前、および、駅東側の商店街において一定の商業業務集積がみられるが、衰退傾向にある。オープンスペースはほぼ見られない。



西改札口



東改札口（正面奥）



レンタルスペース（いきいきスペース
& 手作り工房ぽこあぽこ）



西改札口前



ネスカフェスタンド総持寺（梅田方面
ホーム）



駅周辺

阪急：総持寺駅

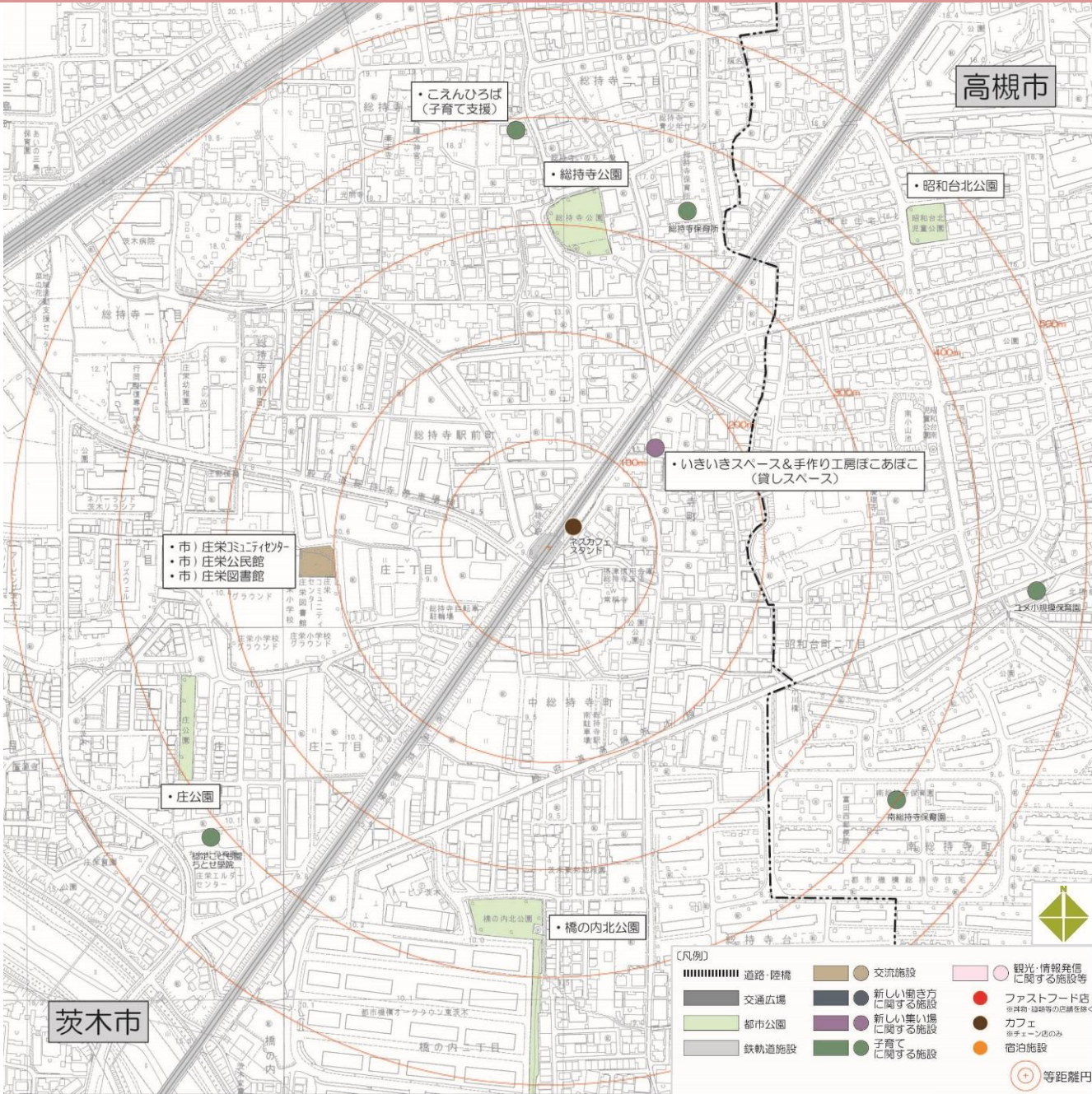
■オープンスペース

やや離れた場所に街区公園

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設

住宅を活用した
レンタルスペース



阪急：総持寺駅

■オープンスペース

やや離れた場所に街区公園

街区公園（1か所）で住民イベント（ベロタクシーの体験試乗）

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設

住宅を活用したレンタルスペース

戸建住宅を活用したレンタルスペースぽこあぽこ

駅ホーム内に
ネスカフェスタンド

オープンスペースは駅前にはみられず、やや離れた街区公園のみ。

駅前に大規模な商業集積、施設集積はみられず、交流機能、アクティビティに関しても、駅の中心性は見られない。

阪急：茨木市駅

茨木市における乗降客数はJR茨木駅（約9.6万人/日）に次ぐ。京阪間の鉄道路線として阪急京都本線とJR東海道本線が市を並走しており、**バス路線も3社が運行**している。当該市は当該駅とJR茨木駅とに**都市拠点**が二分する都市構造を持ち、同駅周辺には一定の商業業務集積がみられる。オープンスペースとして交通広場等がみられる。



北改札口（改札外）



阪急茨木市駅西口交通広場



阪急茨木市駅東口交通広場



駅地上階



同上



同上

■オープンスペース

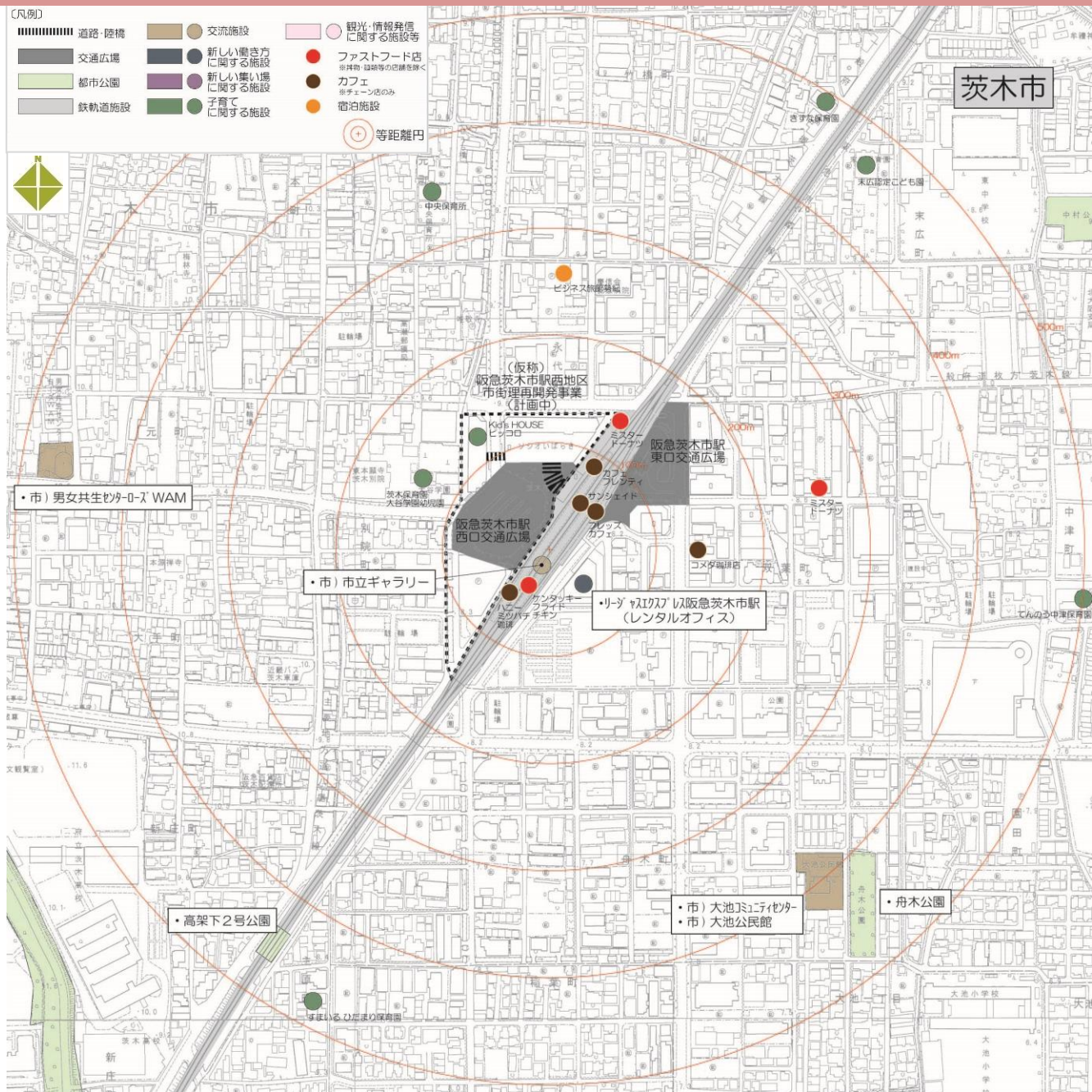
やや離れた場所に街区公園

■交流に関する施設

市中心部としての商業集積

駅構内にショッピングセンター

ホール、会議室、展示室などを有する多くの交流施設



阪急：茨木市駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、駅高架下の自由通路、陸橋

やや離れた場所に街区公園

交通広場が茨木音楽祭やバルフェスタいばらきの会場。コンコースで、構内ショッピングセンター主催のイベント（8回/H28）開催。

街区公園（1か所）で住民イベント

■交流に関する施設

市中心部としての商業集積

駅構内にショッピングセンター

ホール、会議室、展示室などを有する多くの交流施設

ファストフード（3）
チェーン系カフェ（5）
ホテル（1）

市立ギャラリー、大池コミュニティセンター、大池公民館、男女共生センター
ローズWAM

茨木市における都市拠点の一つとして、交流機能、アクティビティの一定の集積が見られる。

市を代表するイベントの会場などに駅が活用されるとともに、構内のショッピングセンターが主催する各種催しなどにもぎわい創出につながる。

阪急：南茨木駅

大阪モノレールとの乗換駅であり**交通結節点**となっているが、当該駅を経由するバス路線は1路線に留まる。駅一帯は集合住宅を中心とする住宅市街地が広がり、駅ビル、集合住宅の低層階等に一定の商業業務集積がみられる。オープンスペースとして交通広場、当該駅と大阪モノレール線の駅等とをつなぐ陸橋がみられる。



改札口（改札外）



阪急南茨木駅東口交通広場



陸橋



南茨木駅前交通広場と
大阪モノレール南茨木駅



同上



陸橋

阪急：南茨木駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、陸橋

元茨木川緑地+街区公園

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設



阪急：南茨木駅

■オープンスペース

東西2か所の交通広場、陸橋

元茨木川緑地+街区公園

元茨木公園でのイベント
(4回/H28)

■交流に関する施設

ホール、会議室、展示室などを有する交流施設

市立文化財資料館、天王公民館、東奈良コミュニティセンター、東奈良公民館

交通結節点ではあるものの、交流機能、アクティビティに関して、駅の中心性は見られない。

小 括

○京阪枚方市駅、香里園駅、阪急茨木市駅において、交流機能の集積や、駅周辺のオープンスペースを活用したアクティビティが多くみられる。

○駅、駅周辺の交流機能、アクティビティの集積を可能にするもの

⇒都市における位置づけ、駅の乗降客数、後背圏

⇒空間としてのポテンシャル

…アクティビティを想定した空間構成、施設の集積。

そもそも、空間がなければ難しい（Ex光善寺、総持寺…）

ただ、空間が存在していてもアクティビティが生まれないことも
（Ex.枚方公園駅）

⇒アクティビティをおこなう主体、仕組み

Ex枚方市駅…枚方市にぎわい空間創出事業、鉄道事業者

Ex香里園駅…香里園駅周辺地区まちづくり構想、まち協

Ex茨木市駅…構内に鉄道事業者の系列企業による商業施設

○空間の変容が想定されるなかで、

現在すでに拠点性を有している駅の役割を高める？

新たに拠点性を有する駅を創出？

4. 阪急沿線居住者の生活行動と 駅に対する意識

大阪大学 伊丹康二

1. 居住者の生活行動と意識に関する調査概要

(1) 目的

郊外鉄道沿線における各駅およびその周辺が持つ拠点性の実態と今後の可能性を考察する。



鉄道沿線（阪急沿線、京阪沿線）に依拠した日常生活を送る周辺居住者の生活実態を探る。

特に、現役の勤労者層や若者世代の生活行動の実態を明らかにする。

1. 居住者の生活行動と意識に関する調査概要

(2) 調査方法と調査対象者

- ・鉄道事業者のクレジットカードを保有
- ・事業者からの案内メールを受信している正会員（家族会員を除く）
- ・メールにてWebアンケートへの調査協力を依頼。
- ・回答者には各カードの200ポイントを進呈。

※郊外居住者の中でも生活、意識が、より鉄道事業者に寄った層への調査であることに留意が必要。

表1 調査概要

鉄道沿線	住所	カード名	対象者	調査期間	回答者数 有効回答者数
阪急沿線	茨木市 高槻市	STACIAカード	5,442人	2016.12.12-19	427人 418人(7.7%)
京阪沿線	枚方市 寝屋川市	e-kenetカード	15,317人	2017.3.3-15	3,485人 3,465人(22.6%)

(0) 回答者の分布

JR東海道線 阪急京都線

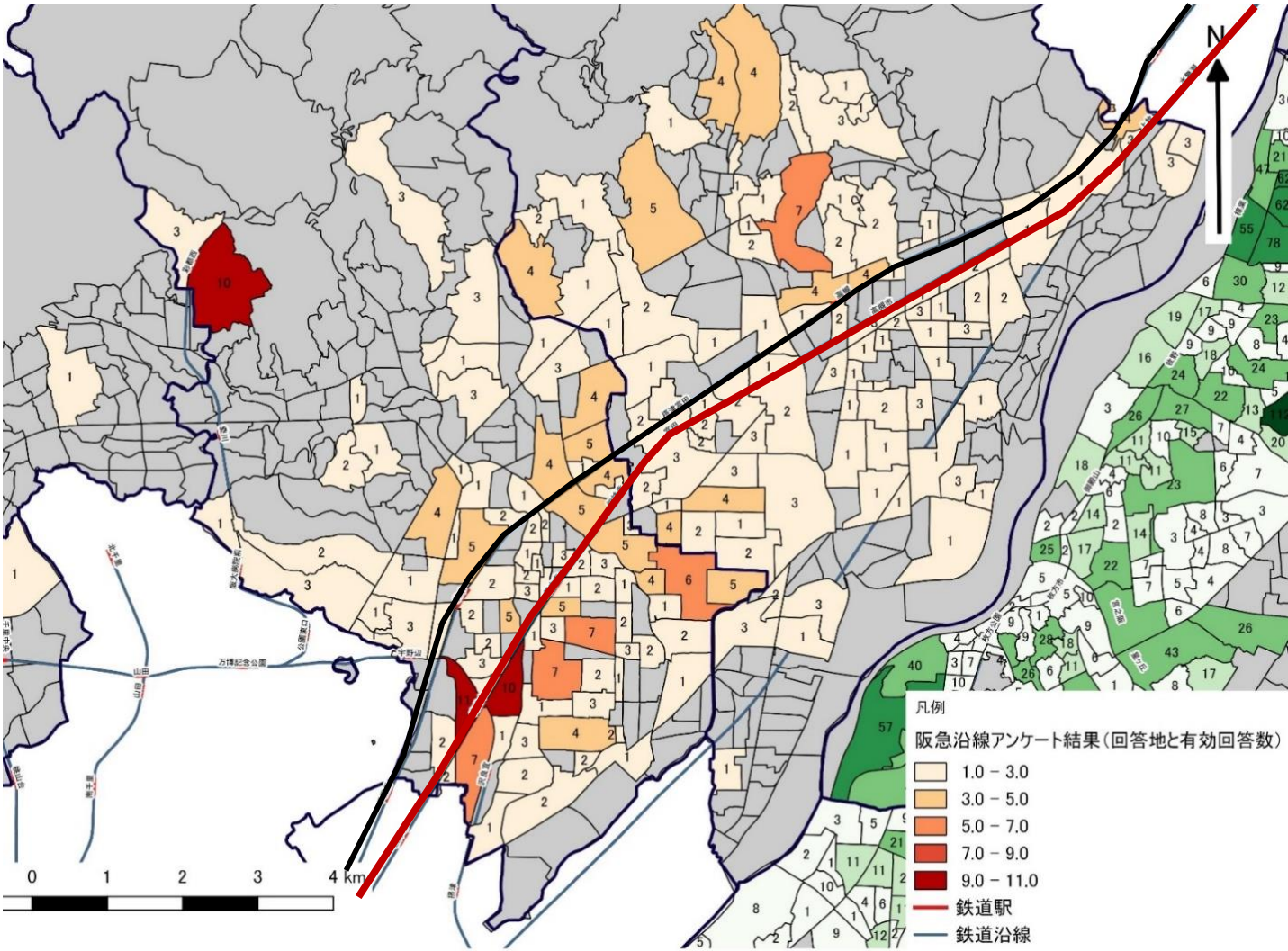


図 回答者の分布(阪急沿線)

(1) 回答者の属性による分類1 【沿線】

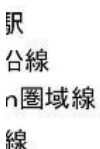


図1 回答者の分布(阪急沿線)

「沿線」: 鉄道軌道から1000m圏内

表2 沿線の回答者数

	回答者数	
阪急・JR沿線	166	分析対象
阪急沿線	58	
JR沿線	32	
沿線1000m外	141	
対象外	19	
不明	2	
合計	418	

2. 回答者の属性

(1)回答者の属性による分類2 【駅勢圏】

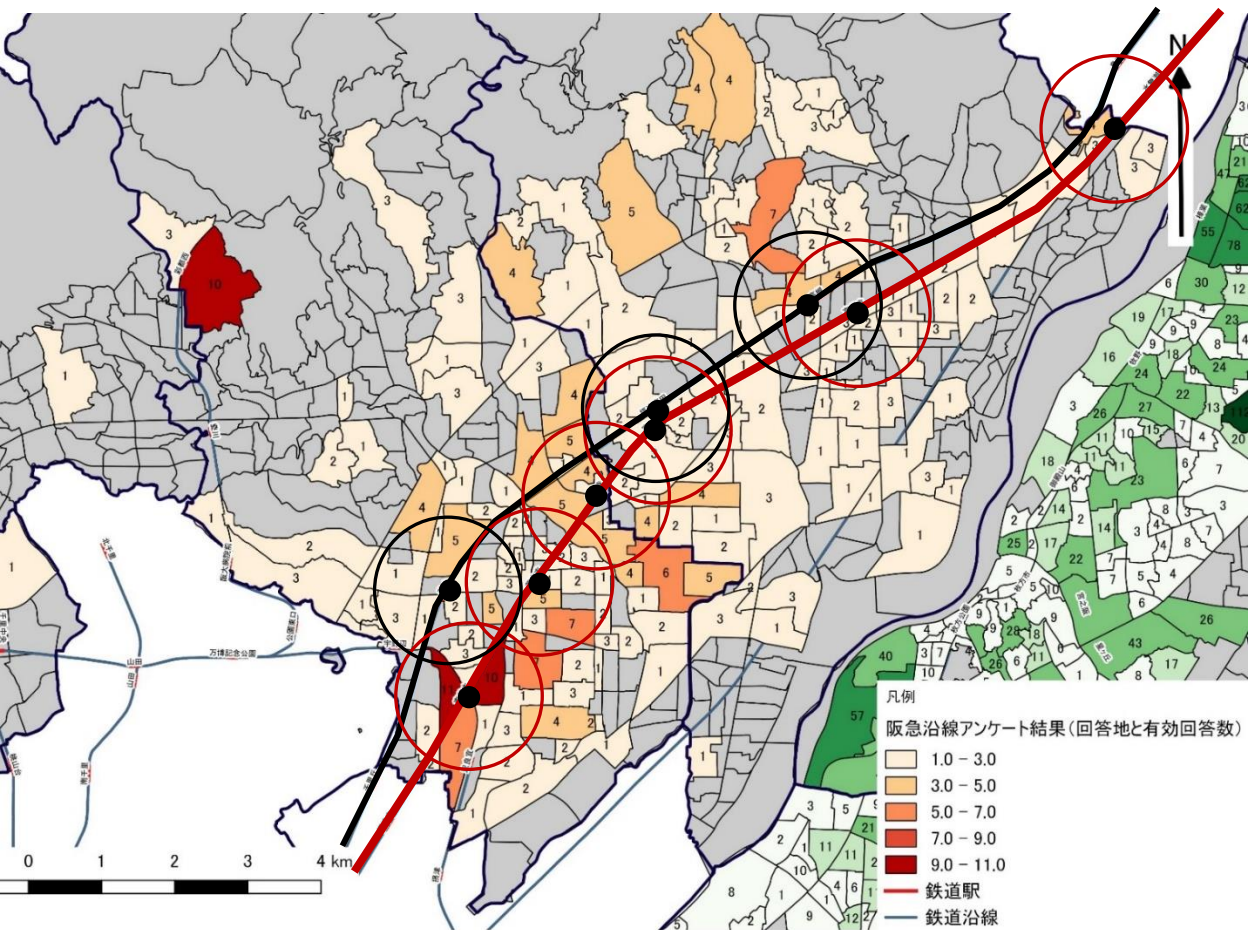


図2 回答者の分布(阪急沿線)

※駅勢圏: 駅から1000m圏内

表3 各駅勢圏の回答者数

		回答数	
阪急	上牧駅		13
	高槻市駅		26
	富田駅		21
	総持寺駅		37
	茨木市駅		51
	南茨木駅		42
JR	高槻駅		21
	摂津富田駅		15
	茨木駅		30
他	1000m外		203
	対象除外		23

分析対象

(1) 回答者の属性による分類3 【拠点駅】

- ① 快速や特急など、普通列車以外が停まる駅
- ② 本調査において「印象評価」と「拠点性の評価」に関する項目で高評価を得た駅

「印象評価」
・必要な商業施設や飲食店が揃っている
・銀行や公共サービス施設が揃っている
・にぎわいのある商店街や飲食店街がある
・歩いて楽しむことができる
・街並みや、道が美しい
・夜も明るく、安全である
・地域のコミュニティ拠点である
・災害時に地域の拠点になる



「拠点性の評価」
・いろいろなイベントを行っている場所
・人と待ち合わせができる店や場所
・一人でまたは友達などとおくつろげる店や場所
・特別な日に食事をしたくなる店
・休日に出かけたくなる施設や場所
・特にお気に入りの店や場所

(1)回答者の属性による分類3 【拠点駅】

- ① 快速や特急など、普通列車以外が停まる駅
- ② 本調査において「印象評価」と「拠点性の評価」に関する項目で高評価を得た駅

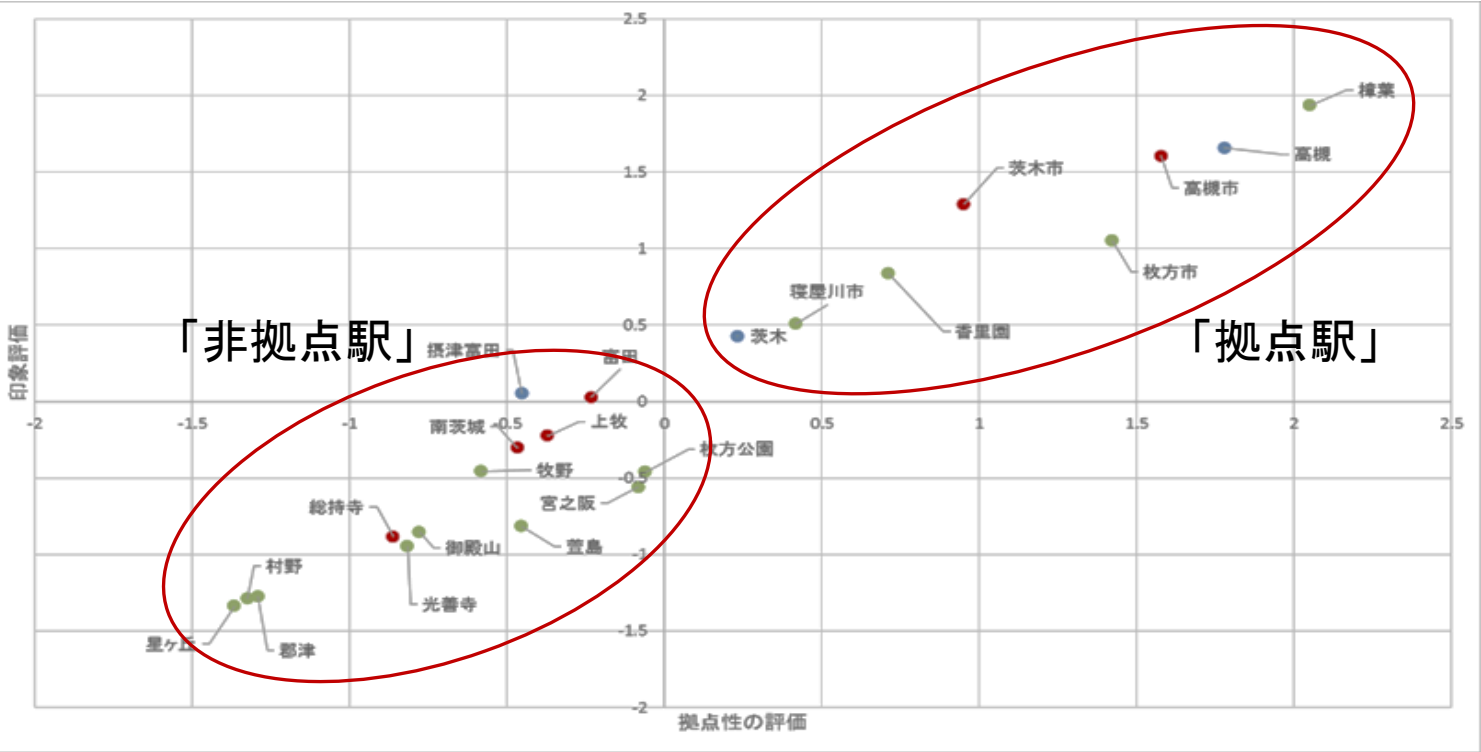


図3 拠点性評価と印象評価

	拠点駅	非拠点駅
印象	茨木市駅	上牧駅
	高槻市駅	総持寺駅
		富田駅
		南茨木駅
長	樟葉駅	荻島駅
	香里園駅	光善寺駅
	寝屋川市駅	郡津駅
	枚方市駅	御殿山駅
		枚方公園駅
		星ヶ丘駅
		牧野駅
		宮之阪駅
JR	茨木駅	摂津富田駅
	高槻駅	

(1)回答者の属性による分類3 【拠点駅】

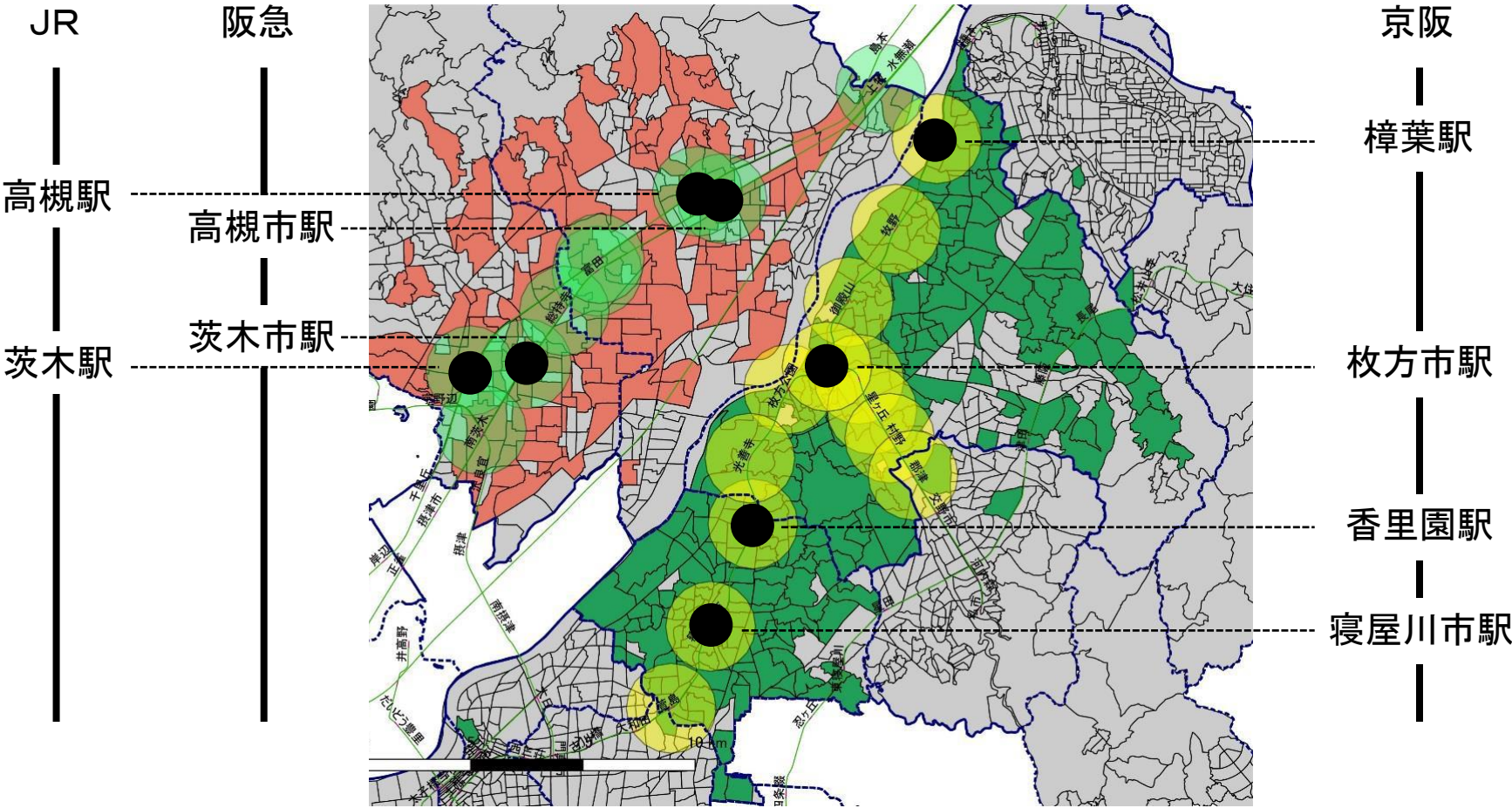


図4 拠点駅の設定

2. 回答者の属性

(2) 回答者の属性(年齢、職業、家族構成)

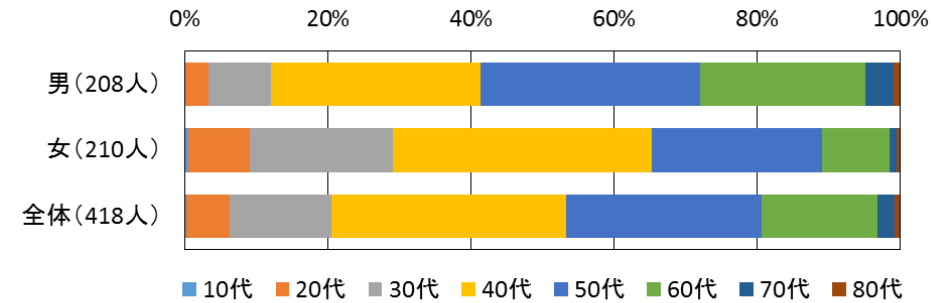


図5 回答者の年代

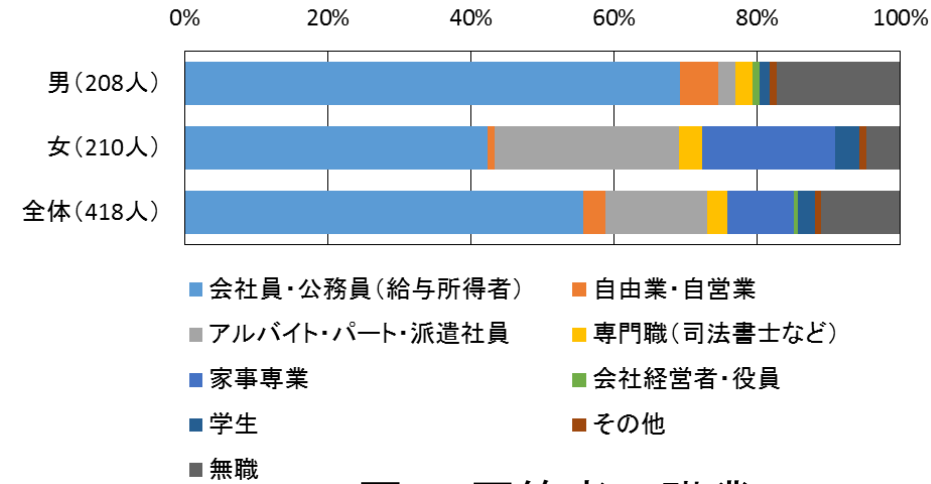


図6 回答者の職業

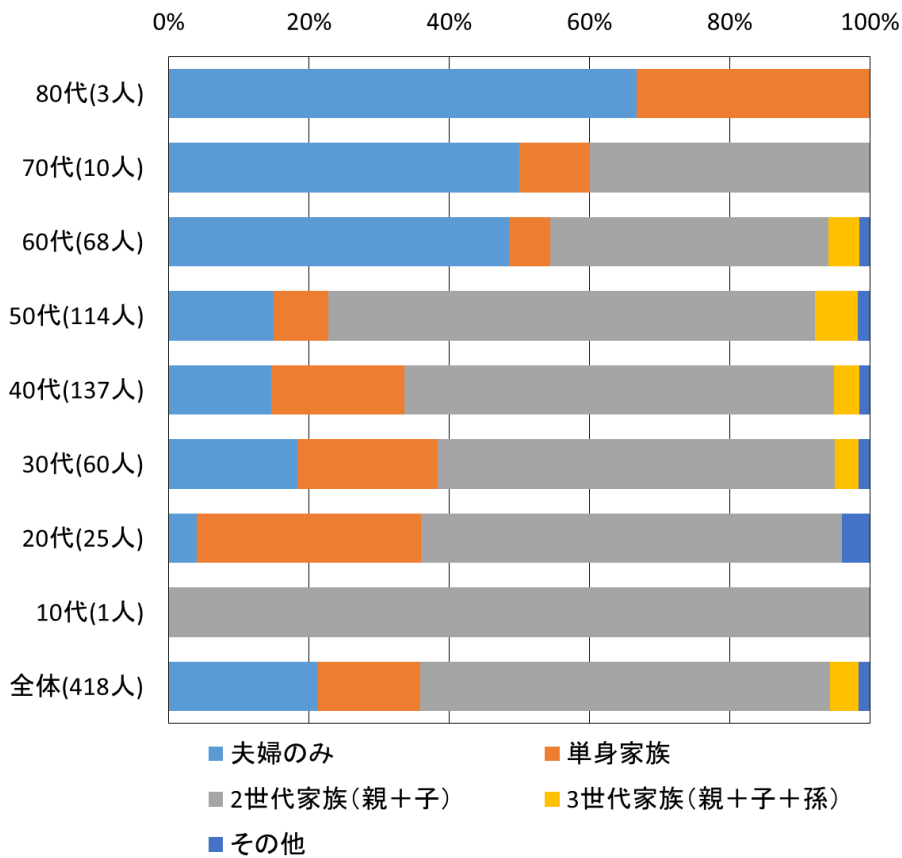


図7 回答者の家族構成

2. 回答者の属性

(2) 回答者の属性(居住年数、住居形態)

		現在の住宅の居住年数							全体
		10年未満	10-19年	20-29年	30-39年	40-49年	50-59年	60年以上	
年齢	20代以下 (23人)	14	4	5					23
	30代 (48人)	24	10	6	8				48
	40代 (123人)	49	46	11	2	15			123
	50代 (117人)	25	45	27	10	2	8		117
	60代 (69人)	5	13	19	19	7	2	4	69
	70代以上 (14人)	2		1	5	6			14
	全体 (394人)	119	118	69	44	30	10	4	394

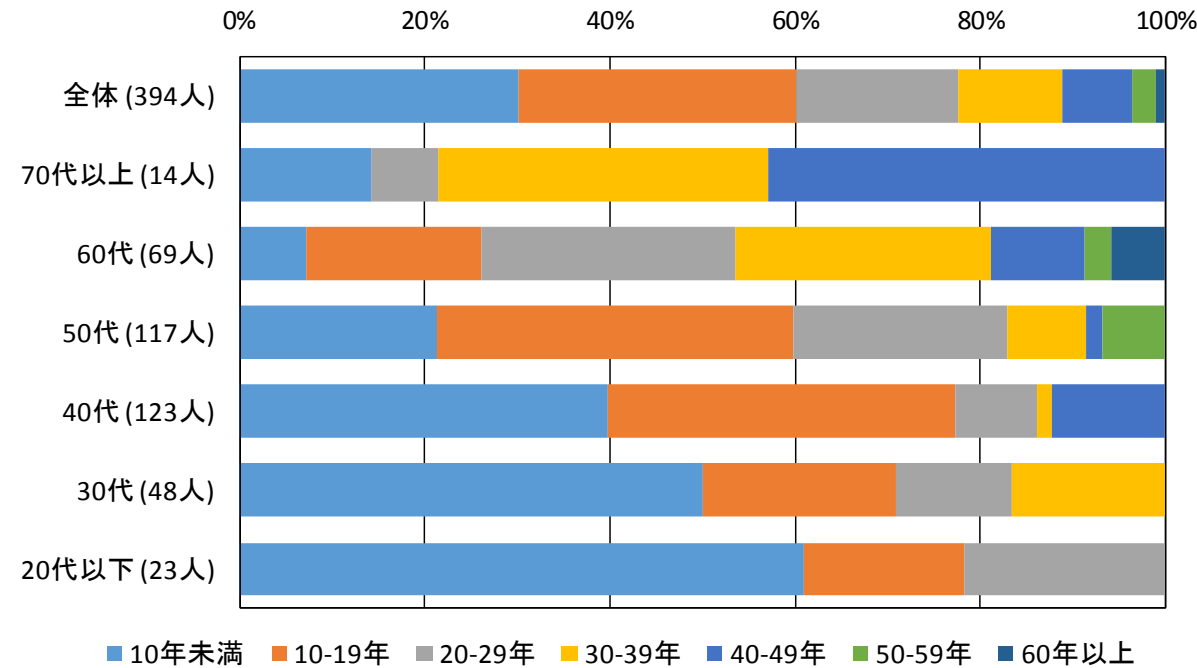


図8 現在の住宅の居住年数

表4 住宅形態

	持ち家	賃貸	合計
戸建て住宅	210	12	222
集合住宅	104	90	194
合計	314	102	416

賃貸集合住宅の内訳

民間	71
UR、公社	14
公営	5

(1)購買行動

表5 主な日常食料品の購入場所

		主な日常食料品の購入場所 (M.A.)					
		家の近くの店 舗	最もよく使う駅 の周辺の店舗	最もよく使う駅 以外の沿線駅 周辺の店舗	都心のデパート の地下などの 店舗	車で行きやす いロードサイ ドの店舗	買い物には行 かず、通信販 売、宅配を利用している
主な 買 日 常 食 料 品 の 頻 度	ほぼ毎日、買い物のために出かける (144人)	81.9%	30.6%	4.9%	7.6%	16.0%	0.7%
	週に2、3回買い物のためにでかける (151人)	82.1%	25.2%	6.0%	10.6%	28.5%	4.6%
	通勤等のついでに買い物をする (66人)	74.2%	39.4%	4.5%	10.6%	19.7%	0.0%
	休日に、まとめ買いをする (44人)	72.7%	20.5%	4.5%	4.5%	38.6%	2.3%
	共同購入や食料品の宅配を利用している (11人)	54.5%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%
	その他 (2人)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	合計	330	119	21	37	98	13

- ・週2-3回以上買い物に出かける人が、70.6%。
- ・通勤ついでの人、駅周辺の店舗の利用が多い。
- ・休日にまとめ買いする人は、ロードサイドが38.6%と高いが、家の近くも72.7%と高い。

3. 居住者の生活行動(阪急沿線)

(1)購買行動

表6 鉄道沿線別にみた主な日常食料品の購入場所

		主な日常食料品の購入場所 (M.A.)					
		家の近くの店舗	最もよく使う駅の周辺の店舗	最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	都心のデパートの地下などの店舗	車で行きやすいロードサイドの店舗	買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している
主な日常食料品の購入場所	阪急・JR沿線 (166人)	80.1%	30.7%	5.4%	10.8%	15.1%	1.8%
	阪急沿線 (58人)	84.5%	29.3%	12.1%	17.2%	17.2%	5.2%
	JR沿線 (32人)	71.9%	25.0%	3.1%	6.3%	31.3%	0.0%
	沿線1000m外 (141人)	78.7%	25.5%	2.1%	5.0%	31.9%	3.5%
	合計	330	119	21	37	98	13

- ・阪急沿線のエリアは、阪急沿線や都心のデパートに行く割合が高い。
- ・JR沿線のエリアは、沿線1000m圏外の人と類似した傾向で、よく使う駅周辺の店よりもロードサイド店を利用する人の方が多い。

(2) 外食行動(日常の外食)

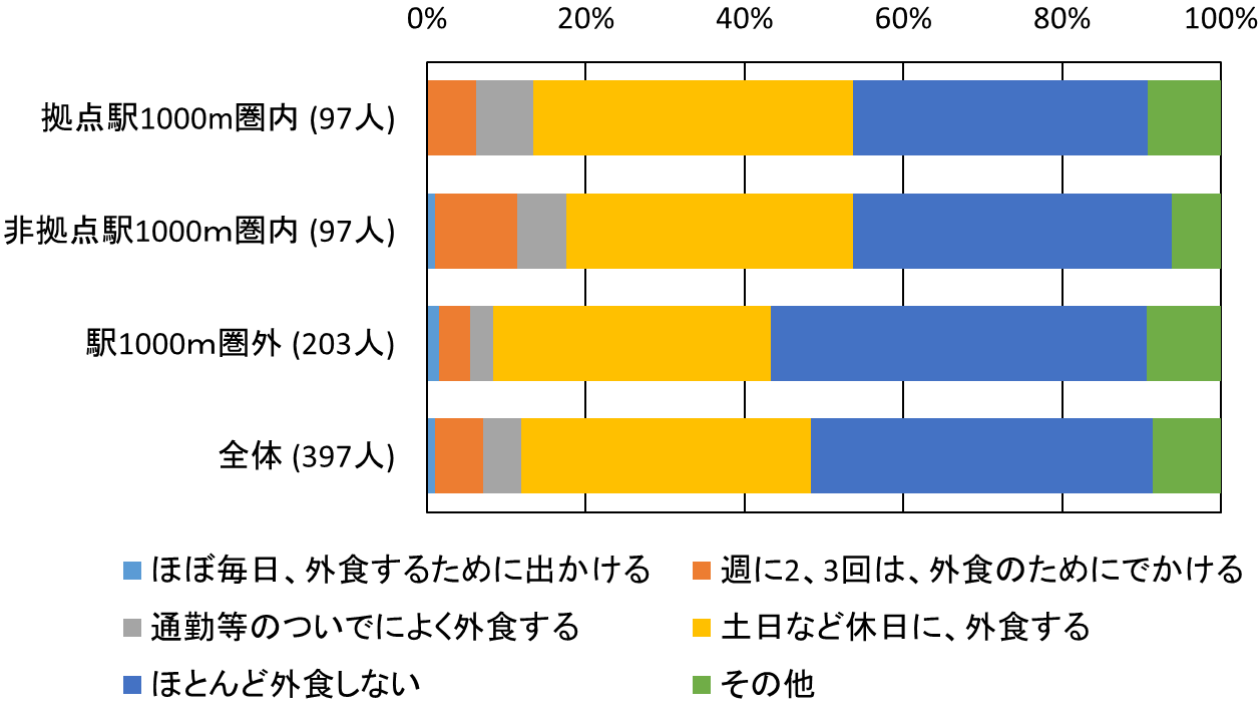


図9 外食の頻度

- ・拠点駅と非拠点駅で大きな差は見られず、むしろ拠点駅のほうが外食頻度は低い。
- ・駅1000m圏外になると、外食頻度は低下する。

3. 居住者の生活行動(阪急沿線)

(2) 外食行動(日常の外食)

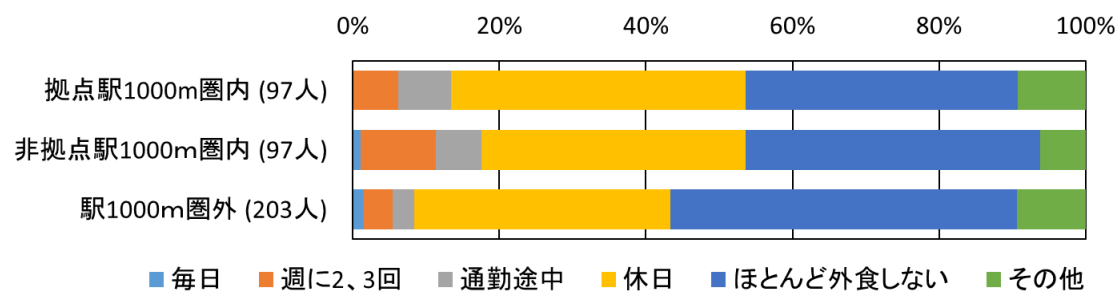


図10 外食頻度(2016年度調査)

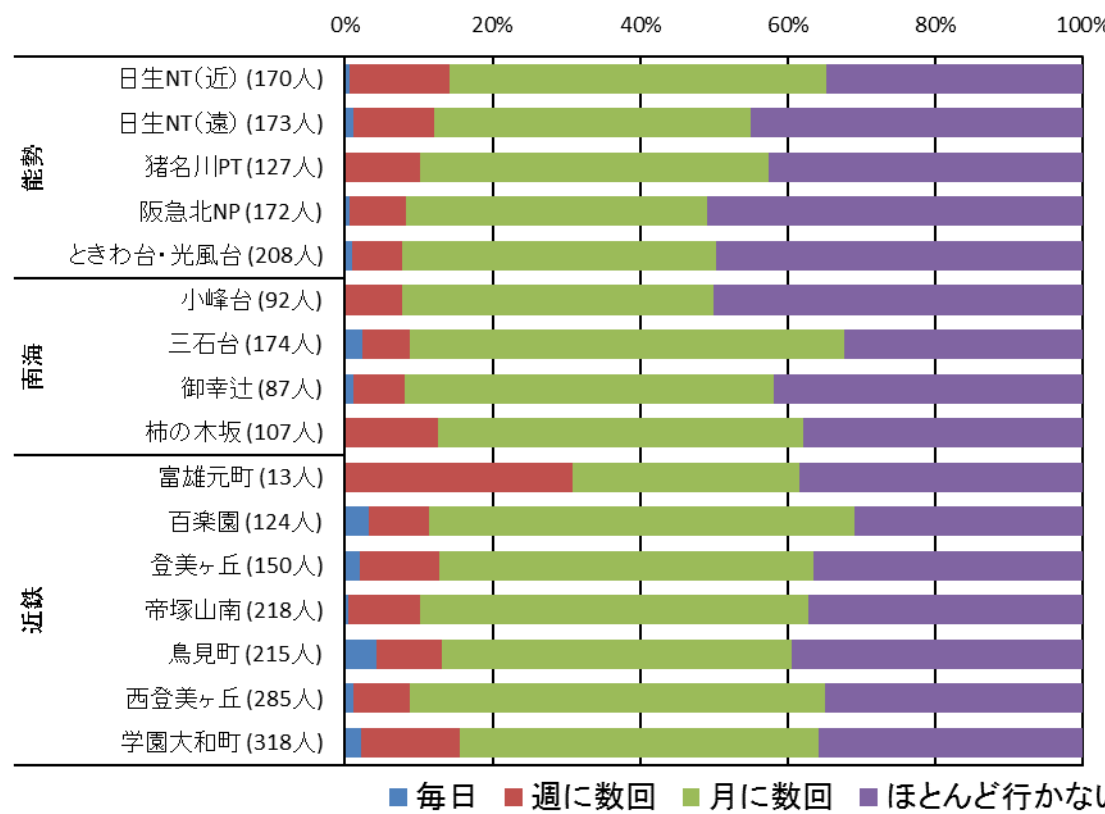


図11 外食頻度(2014年度調査)

(2) 外食行動(ハレの日の外食)

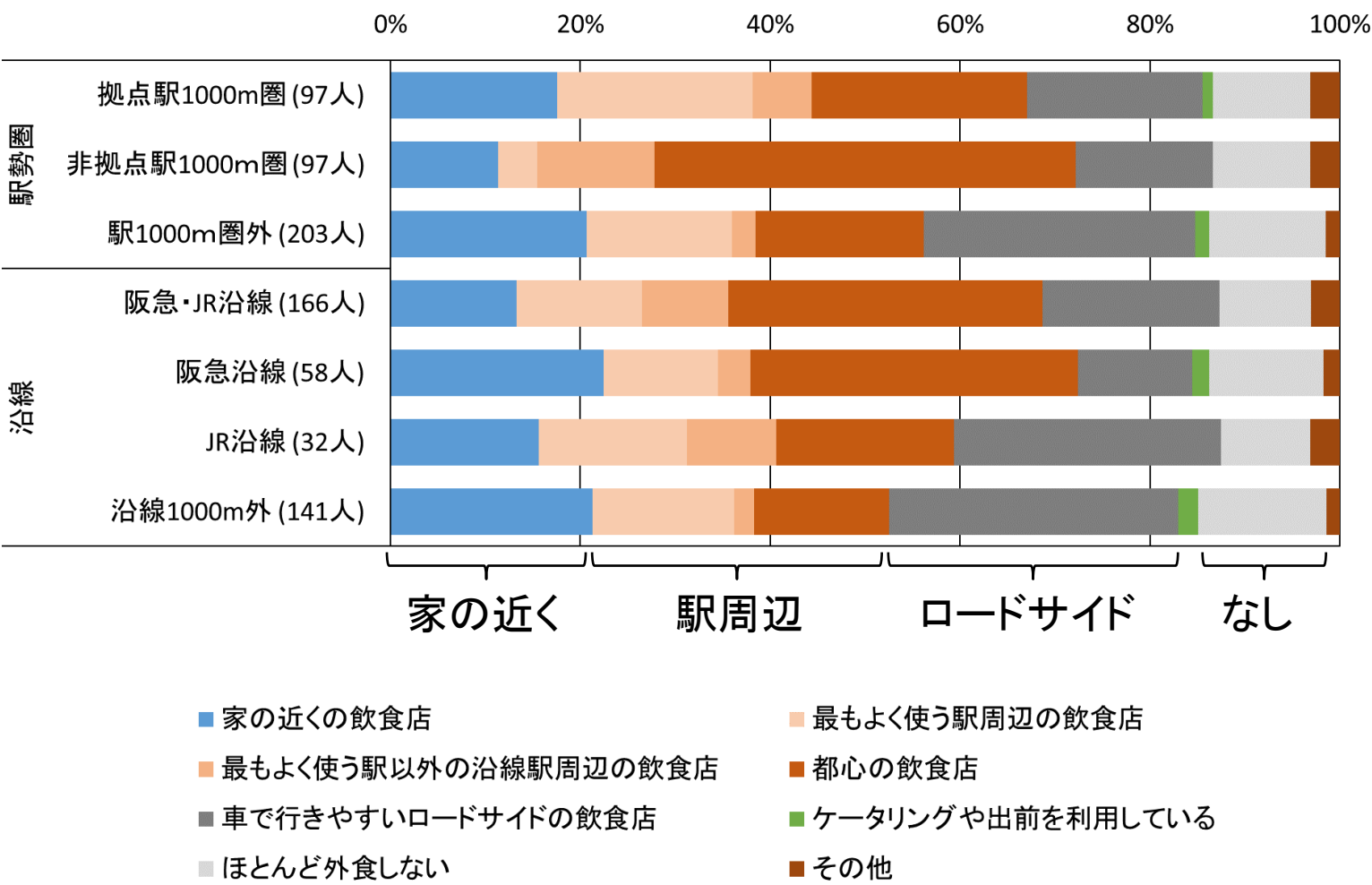


図12 駅勢圏および沿線別にみた、ハレの日の外食場所

(3) 駅の利用と交通手段

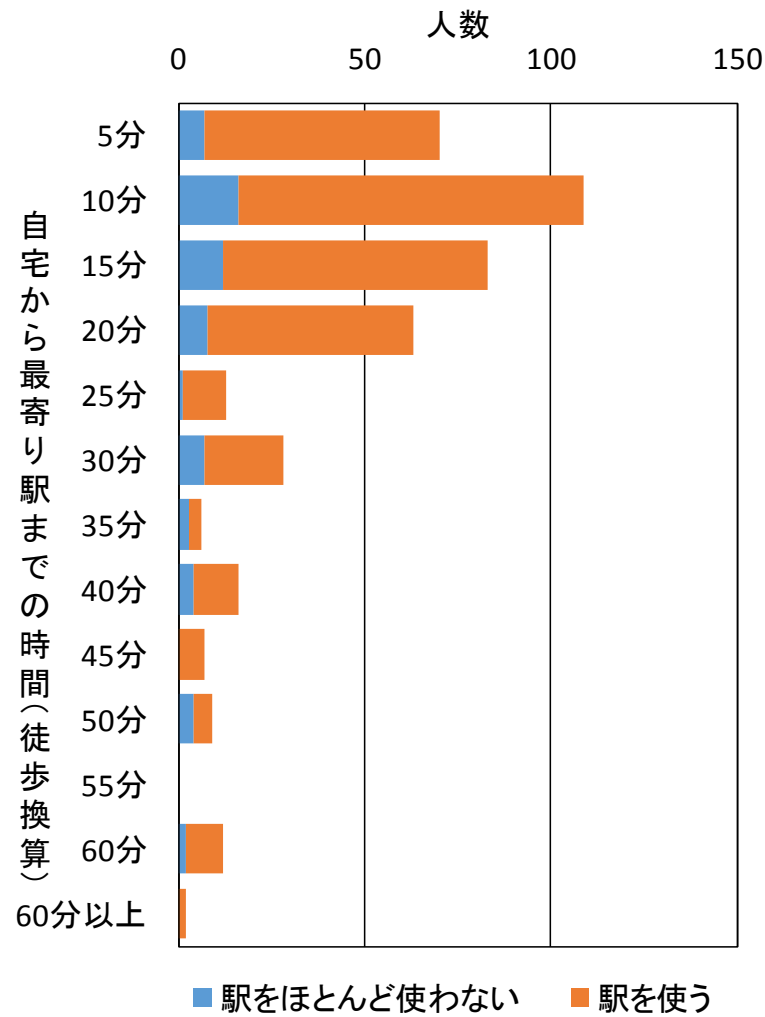


図13 最寄り駅までの徒歩時間

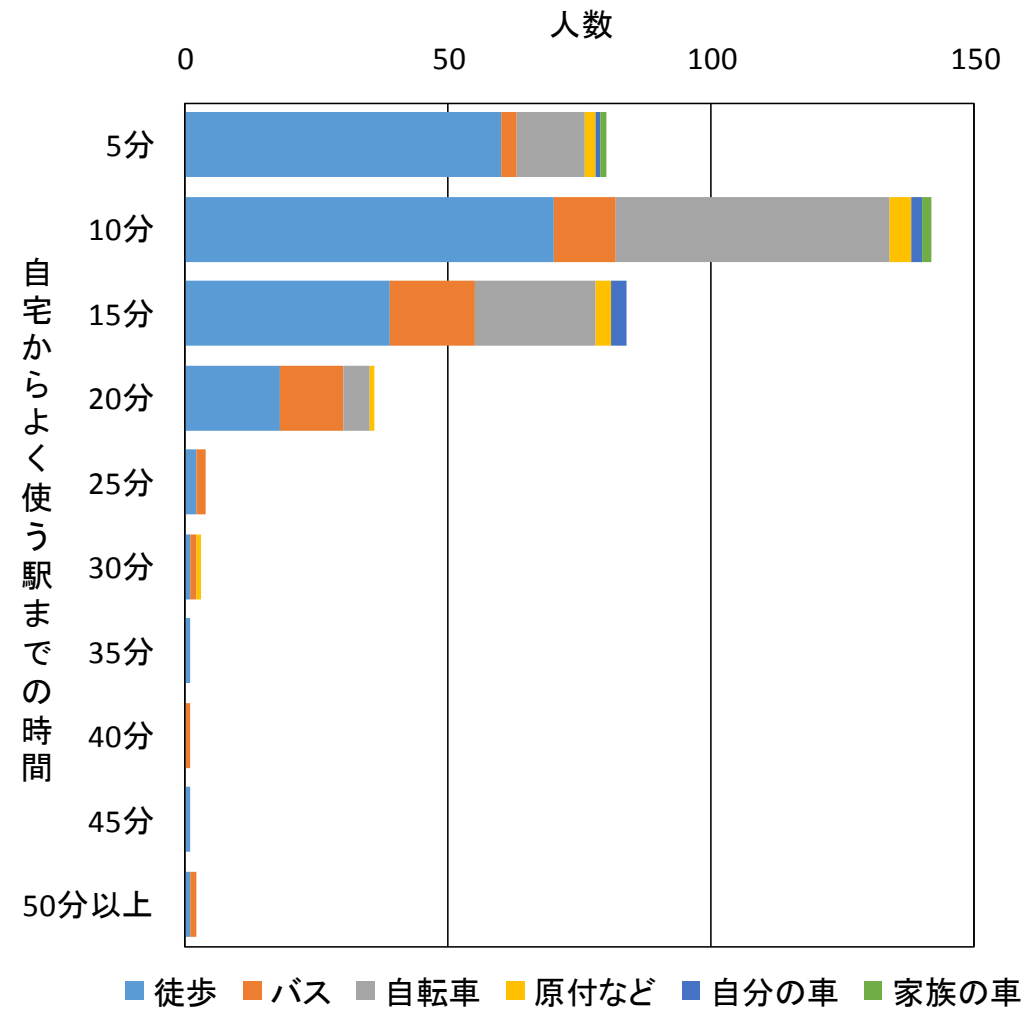


図14 よく使う駅までの所要時間

(4) 駅利用の目的

表7 よく使う駅の利用目的

よく使う駅の利用目的	人数
通勤・通学で電車に乗るため	254
買い物、外食や遊びのために電車に乗るため	185
駅や駅周辺にある店舗や施設を利用するため	66
電車を利用する家族の送迎のため	16
駅や駅周辺にある店舗や施設を利用する家族の送迎のため	5
その他	6
合計	532

} 表8へ

表8 駅勢圏からみた、よく使う駅の利用目的

	よく使う駅には「駅や駅周辺にある店舗や施設を利用するため」に行く		よく使う駅には「電車を利用する家族の送迎のため」に行く		全体
拠点駅1000m圏内	17	17.5%	4	4.1%	97
非拠点駅1000m圏内	13	13.4%	2	2.1%	97
駅1000m圏外	35	17.2%	9	4.4%	203
合計	65	16.4%	15	3.8%	397

(5) 駅利用の頻度

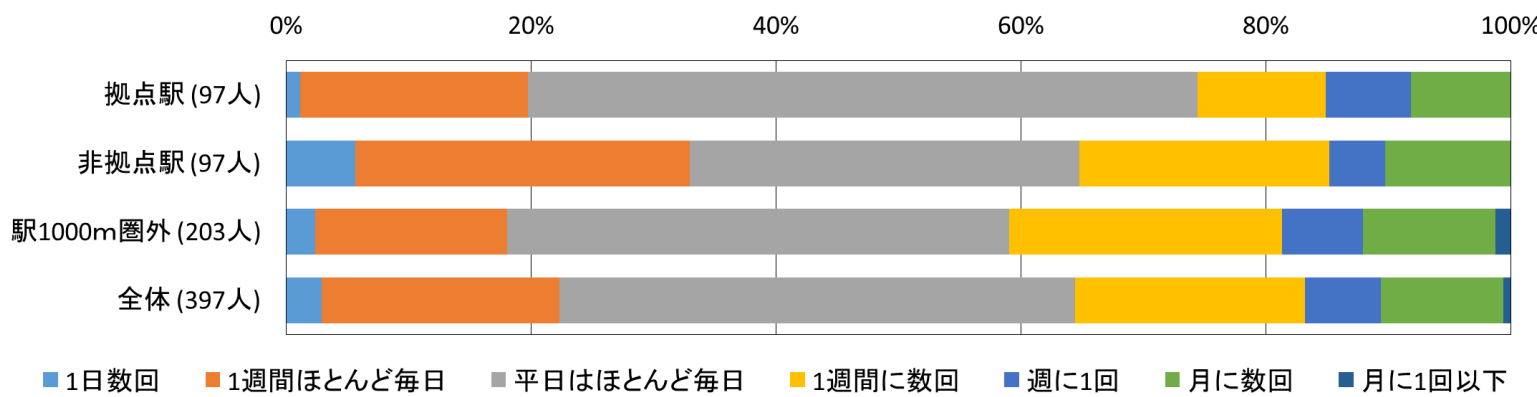


図15 駅勢圏からみた、よく使う駅の利用頻度 注) 駅を「ほとんど使わない」人は含まない。

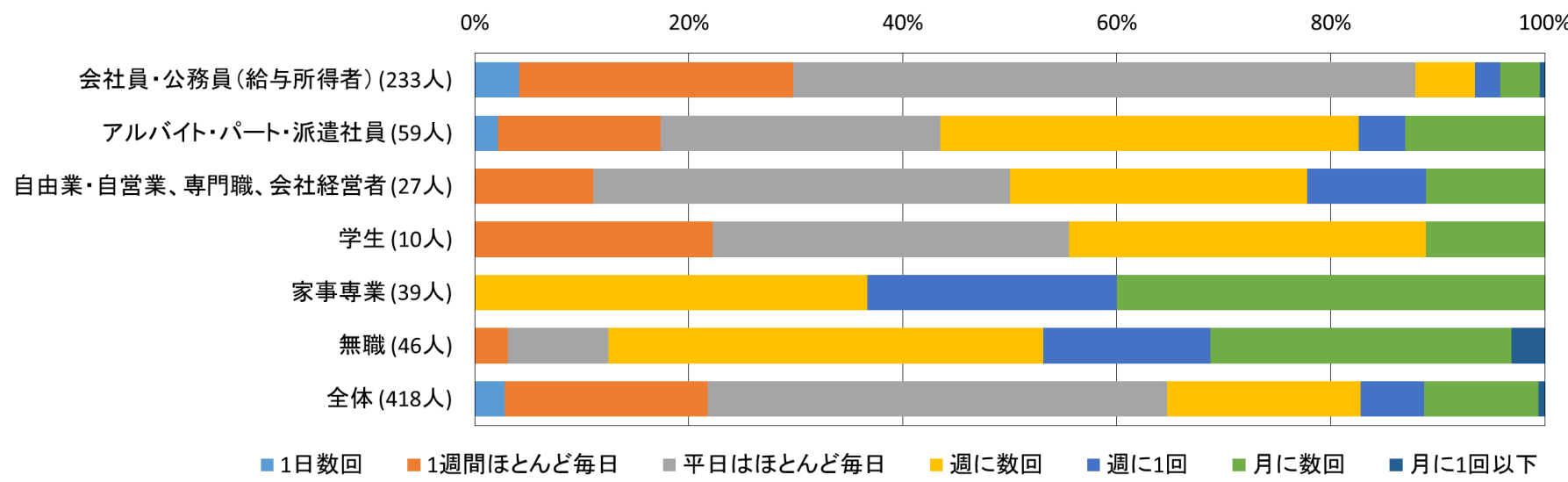


図16 職業別にみた、よく使う駅の利用頻度 注) 駅を「ほとんど使わない」人は含まない。

(1)現在の住宅に決めた理由

表9 「駅」が関係する住宅選択理由と場所

		「家が駅から歩いて近いから」		
		はい	いいえ	合計
「最寄りの駅が気に入ったから」	はい	33	22	55
	いいえ	114	249	363
	合計	147	271	418

現在の住宅を選んだ理由「家が駅から歩いて近いから」

		拠点駅 1000m圏	非拠点駅 1000m圏	駅1000m 圏外	合計
よく使う駅 までの 所要時間	5分	24	31	3	58
	10分	23	21	4	48
	15分	8	2	10	20
	20分			1	1
	使わない	5	4	5	14
	合計	60	58	23	141

現在の住宅を選んだ理由「最寄りの駅が気に入ったから」

		拠点駅 1000m圏	非拠点駅 1000m圏	駅1000m 圏外	合計
よく使う駅 までの 所要時間	5分	10	5	2	17
	10分	13	3	7	23
	15分	3		6	9
	20分			2	2
	使わない	1		3	4
	合計	27	8	20	55

- ①「家が駅から歩いて近い」ことを理由に住宅を選択したのは、147人。そのうち、「最寄り駅が気に入った」とするのは33人(22.4%)。
- ②「駅から歩いて近い」という理由の場合、非拠点駅圏も選択されるが、気に入る駅は拠点駅圏が多い。
- ③駅が気に入ったり、駅近を選択する場合、駅から20分以内に住む。

(2) 沿線に対する評価

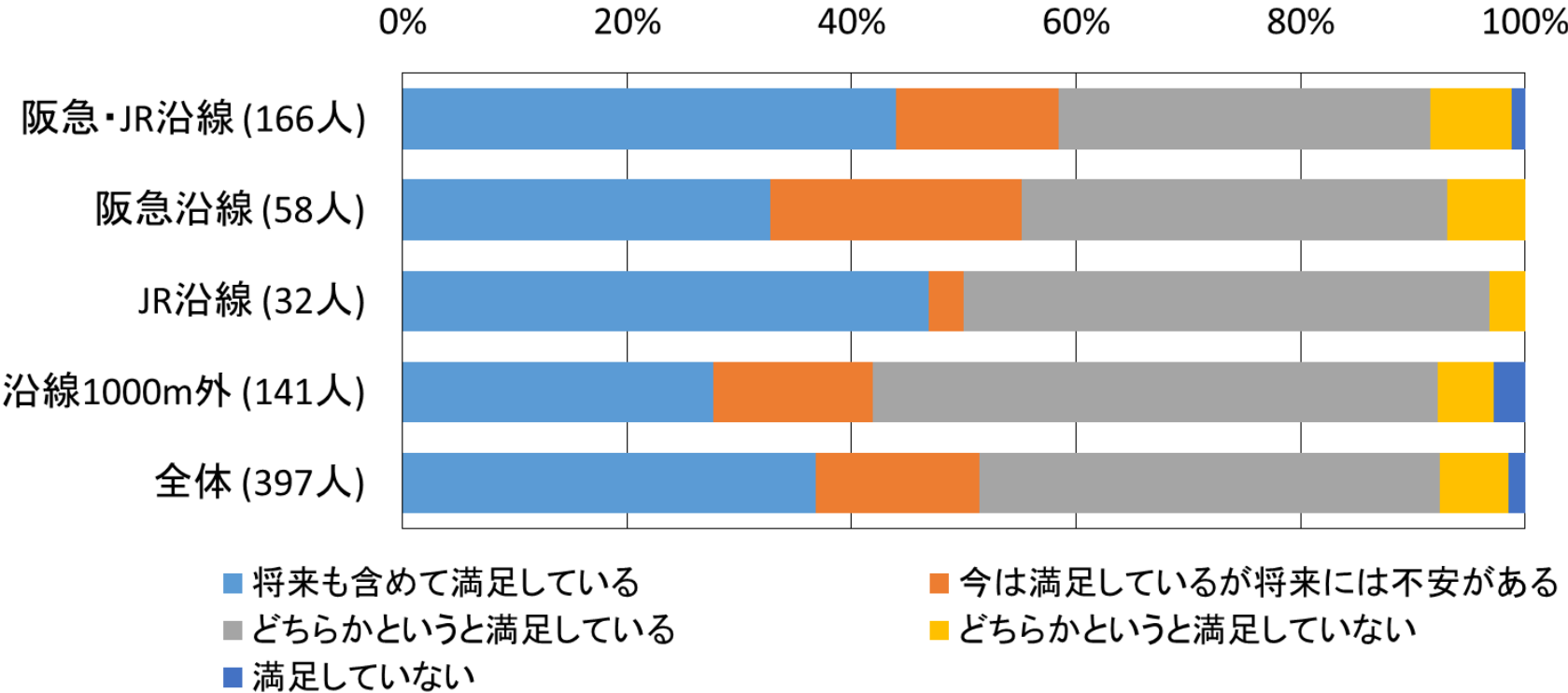


図17 沿線生活の満足度

(2)沿線に対する評価

表10 沿線別にみた、沿線生活で満足している点(M.A.)

		阪急・JR沿線	阪急沿線	JR沿線	沿線1000m外	全体
回答者数		166	58	32	141	397
沿線 アメニティ	仕事から遊びまで、日常生活が沿線でしやすい	59.0%	62.1%	56.3%	49.6%	55.9%
	ターミナル駅が便利	31.9%	39.7%	18.8%	31.9%	32.0%
	沿線が庶民的で、物価が安い	15.7%	10.3%	15.6%	10.6%	13.1%
	沿線駅が個性的で、いろいろと楽しめる場所がある	9.6%	5.2%	3.1%	11.3%	9.1%
	沿線の公共施設が充実している	10.2%	12.1%	12.5%	7.1%	9.6%
沿線 イメージ	良好な住宅街が多くある	21.7%	17.2%	31.3%	25.5%	23.2%
	沿線ブランドイメージや評判が良い	26.5%	32.8%	9.4%	17.7%	22.9%
	小さい時からなじみがあり、思い出が多い	18.1%	25.9%	18.8%	24.1%	21.4%
	沿線に住んでいる人が上品	12.0%	13.8%	3.1%	9.9%	10.8%
鉄道 イメージ	電鉄会社の信頼度が高い	39.8%	36.2%	15.6%	23.4%	31.5%
	電車の車体や内装のデザインが良い	20.5%	24.1%	3.1%	14.9%	17.6%
その他	その他	4.2%	1.7%	0.0%	1.4%	2.5%
特にない	特にない	4.8%	6.9%	12.5%	7.8%	6.8%

(3) 駅に対する評価

表11 利用駅の満足点

	拠点駅	非拠点駅	駅1000m圏外	全体
回答者数	97	97	203	397
駅に急行や特急等が停まること	81.4%	16.5%	54.2%	51.6%
駅に飲食店や商業施設が充実していること	21.6%	6.2%	18.2%	16.1%
駅に駐輪場があること	11.3%	10.3%	17.7%	14.4%
バスへの乗り換えがスムーズなこと	6.2%	2.1%	19.2%	11.8%
駅にATM、クリーニング店などのサービス施設が充	13.4%	1.0%	5.9%	6.5%
タクシーを利用しやすいこと	7.2%	1.0%	8.4%	6.3%
駅前に車を駐停車させやすいこと	1.0%	3.1%	3.4%	2.8%
駅に駐車場があること	0.0%	1.0%	3.0%	1.8%
その他	3.1%	13.4%	3.0%	5.5%
特にない	2.1%	48.5%	13.3%	19.1%

(3) 駅に対する評価

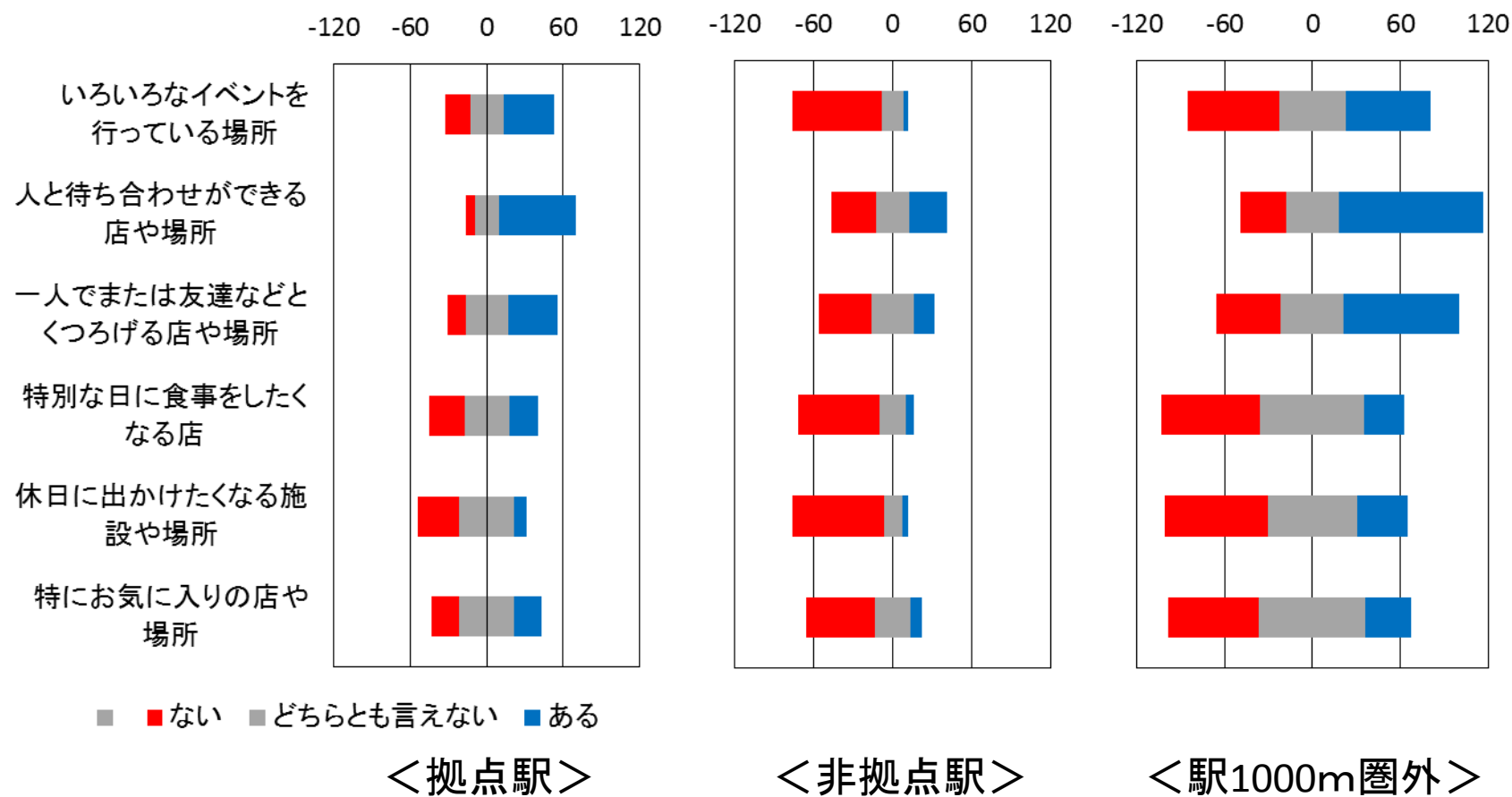


図18 利用駅の拠点性

(3) 駅に対する評価

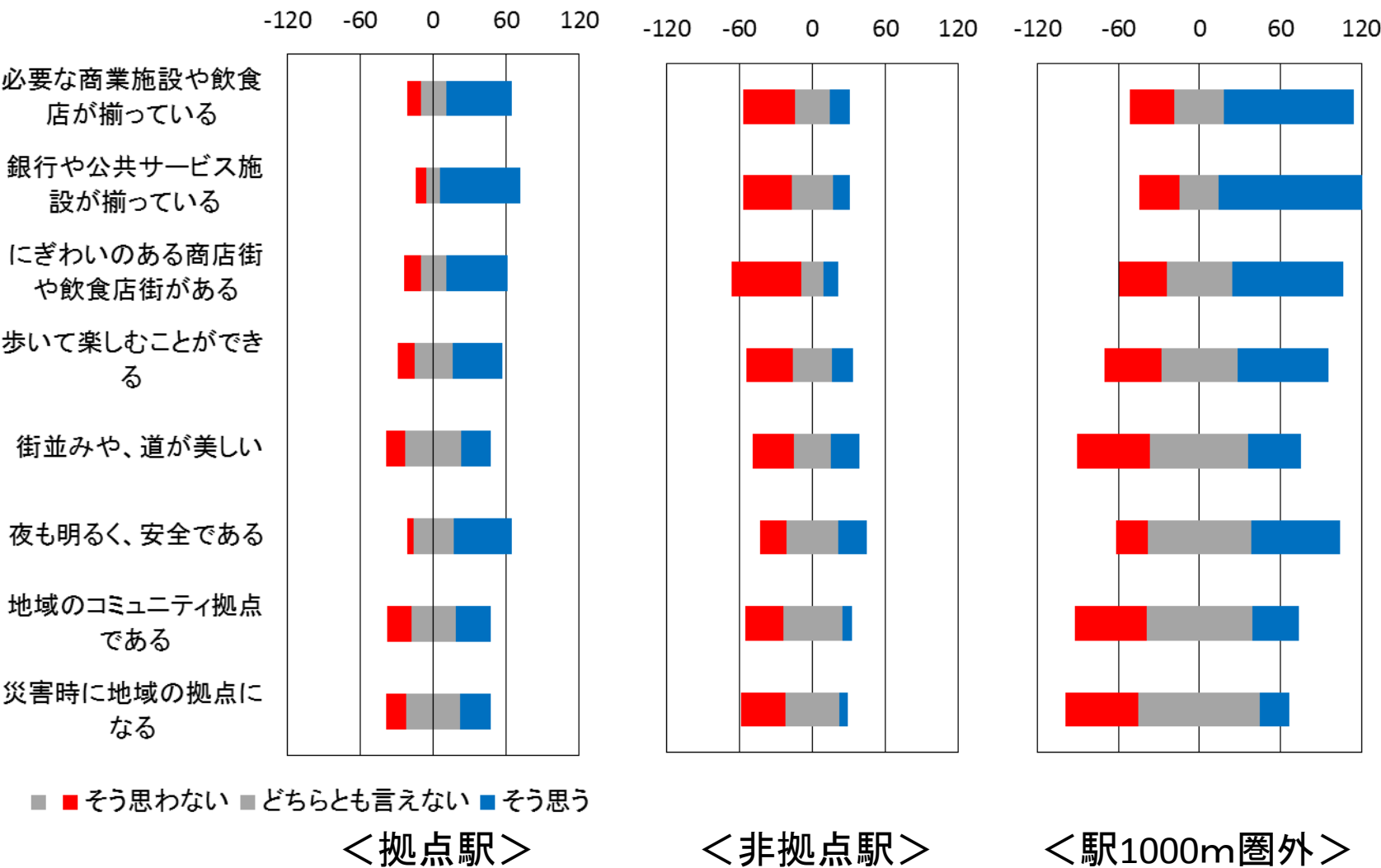


図19 利用駅の印象評価

(4) 駅に対する要望

表12 駅周辺への設置希望施設

		拠点駅	非拠点駅	駅1000m圏外
回答者数		97	97	203
日常の 食料品販売	コンビニエンスストア	32.0%	35.1%	30.0%
	パン屋、ベーカリー	29.9%	34.0%	31.0%
	デリカ(惣菜屋)	17.5%	12.4%	12.8%
その他の 販売	書店	35.1%	30.9%	34.0%
	ケーキ屋・和菓子屋	23.7%	21.6%	25.1%
	花屋	3.1%	3.1%	3.0%
生活サービス	行政窓口	23.7%	19.6%	21.7%
	医院・診療所・病院	17.5%	23.7%	12.3%
	宅配便を受け取れる窓口	8.2%	7.2%	11.8%
	美容院・理髪店	9.3%	6.2%	5.9%
	クリーニング店	10.3%	10.3%	3.0%
	靴修理・靴磨き	3.1%	6.2%	5.4%
	託児施設	1.0%	2.1%	3.9%
	家事や住まいの相談窓口	1.0%	0.0%	0.5%
	介護施設(通所)	0.0%	0.0%	1.0%
	介護施設(訪問)	0.0%	0.0%	0.5%
回答者数		97	97	203
飲食	カフェ	39.2%	50.5%	36.5%
	居酒屋	7.2%	14.4%	12.3%
娯楽、学習	映画館	22.7%	22.7%	22.2%
	図書館	16.5%	21.6%	14.3%
	趣味や習い事をする教室	10.3%	12.4%	8.9%
	スポーツジム	9.3%	13.4%	8.4%
	温浴施設	12.4%	5.2%	10.3%
	学習スペース	4.1%	3.1%	1.5%
	ギャラリー	2.1%	1.0%	2.0%
	学童保育施設	0.0%	2.1%	2.0%
	塾や予備校	1.0%	2.1%	0.5%
	集会施設	1.0%	0.0%	1.0%
	サテライトオフィス	0.0%	1.0%	1.0%
アクセシ ビリティ	レンタサイクル	2.1%	4.1%	6.4%
	レンタカー(カーシェア)	1.0%	3.1%	3.4%
特にな	特にな	11.3%	8.2%	9.4%

5. 小結

- (1) 阪急沿線(阪急線路より1km以南)の人は、日常の買い物、ハレの日の外食ともに、阪急沿線や都心のデパートに行く割合が高い。(表6、図12)
- (2) JR沿線(JR線路より1km以北)と、沿線1000m圏外の人は、日常の買い物、ハレの日の外食ともに、ロードサイド店を利用する割合が高い。(表6、図12)
- (3) 沿線1000m圏外の人は、「沿線駅が個性的でいろいろと楽しめる場所がある」という評価が高い。(表10)
- (4) 駅勢圏にかかわらず、80%以上の住民が、1週間に数回以上駅を利用している。
(図15)
- (5) 非拠点駅圏内より、駅勢圏外の住民のほうが、鉄道に乗る以外の目的(施設利用)で駅を利用する。(表8／(3)と関係)

5. 小結

- (6) 日常の外食頻度は、必ずしも拠点駅周辺の住民が多いわけではない。(図9)
- (7) 駅が気に入ったり、駅近を理由に住宅を選択する場合、駅から20分以内(交通手段は問わない)の住宅を選択する。(表9)
- (8) 住宅の選択では、「駅が近い」という物理的な環境が最大の要因となっており、駅の質的な環境は必ずしも大きな要因にはなっていない。(表9)
- (9) 拠点駅の拠点性では、イベントや待ち合わせ場所は「ある」という回答が多いが、「特別な日の食事場所」「休日に出かけたくなる場所」は「ない」という回答が多い。(図18)
- (10) 駅勢圏内外で、駅の利用形態や頻度に差はあるが、沿線に対する満足度や駅への設置希望施設に大きな差はない。

京阪沿線居住者の 生活行動と駅に対する意識

関西学院大学 総合政策研究科
博士前期課程 青木 嵩

◆回答者の属性

◆生活行動の傾向

□日常食料品の購買と外食

◆駅利用の傾向と意識

□駅利用の目的と利用施設

◆回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向

はじめに: 京阪沿線のアンケート調査対象地

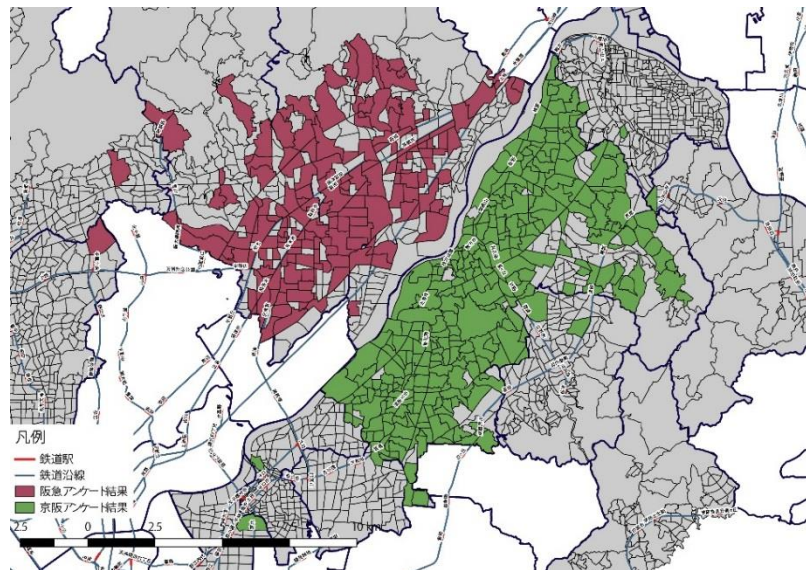


図1. アンケート対象地分布

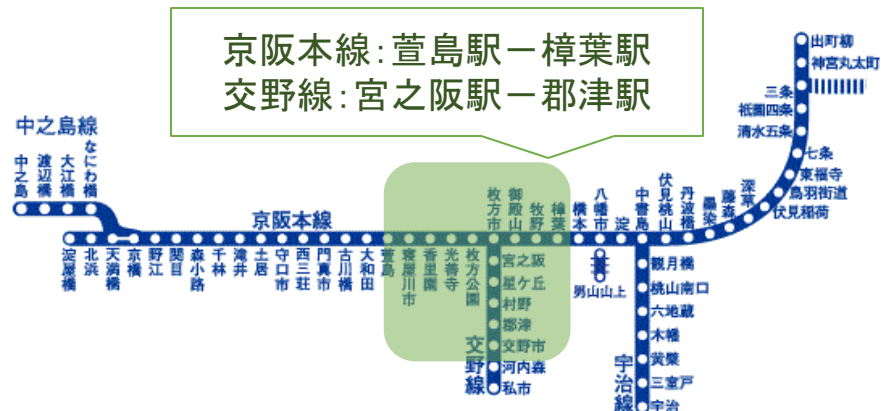


図2. アンケート対象地(沿線駅)

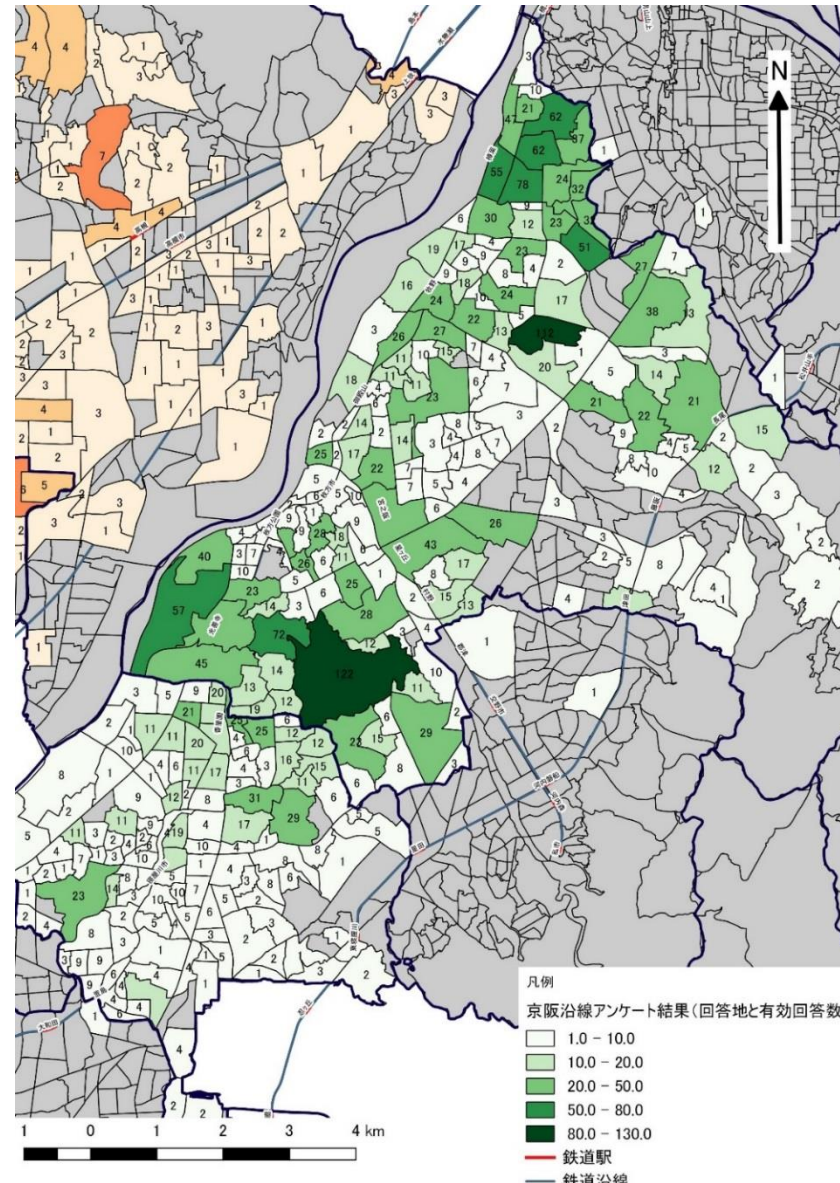


図3. アンケート対象地(沿線駅)

はじめに: 本アンケート調査における沿線の徒歩圏内/圏外

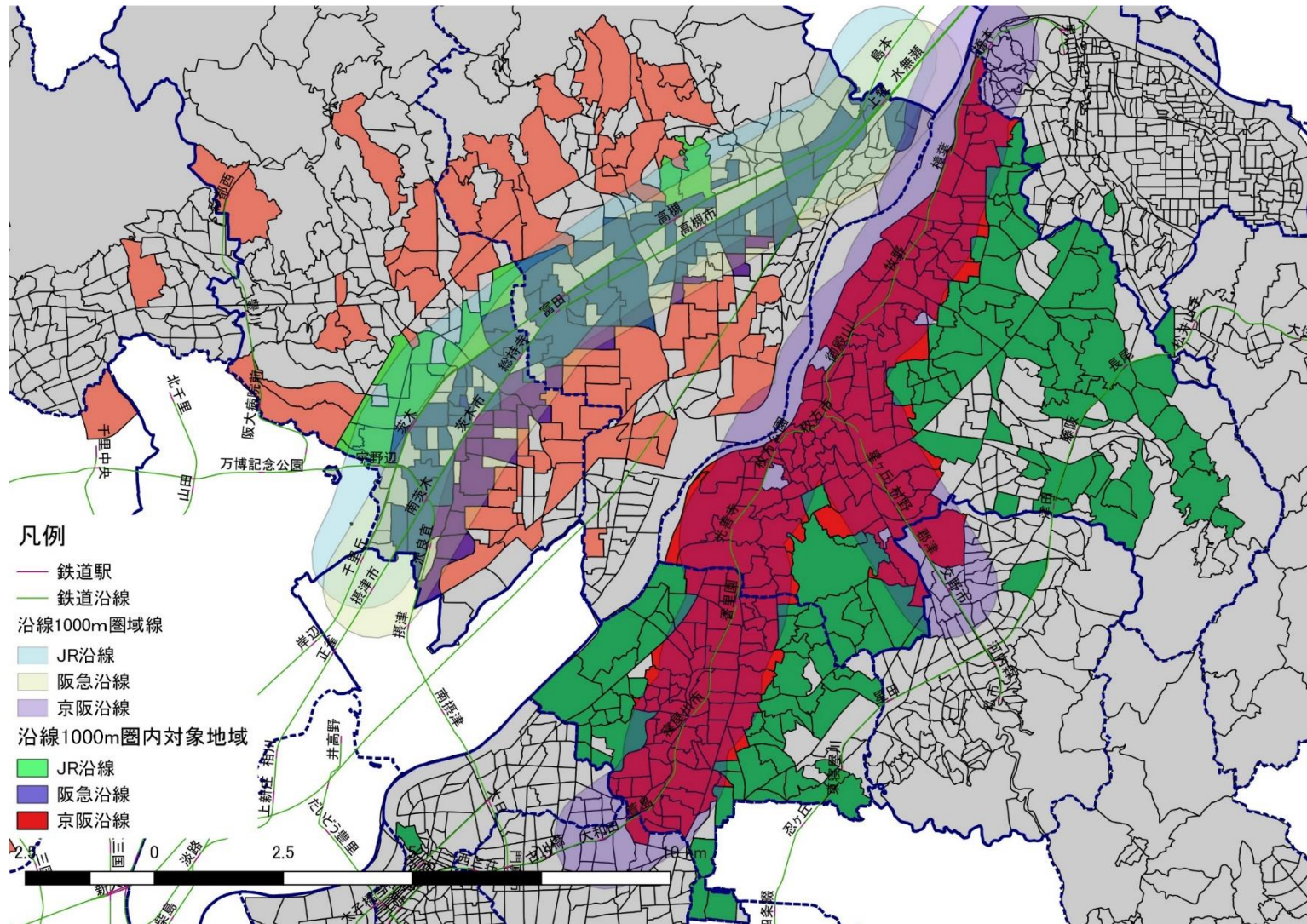


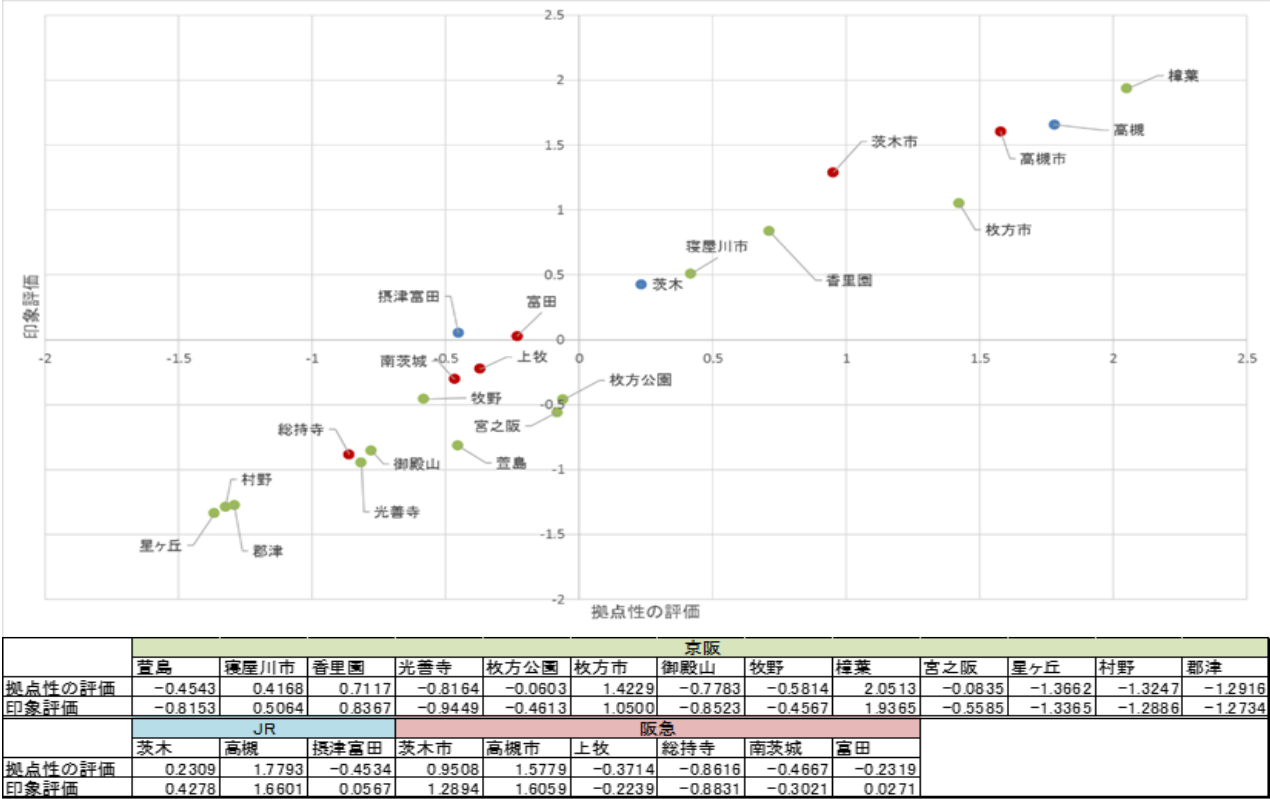
図4. 各沿線1000m圏域図

はじめに: 本アンケート調査における沿線駅の拠点駅/非拠点駅

本調査では、以下の2点を基準に拠点駅と非拠点を区別した。

- ① 快速や特急等、普通列車以外が停まる駅
- ② 本調査において「印象評価」と「拠点性の評価」に関する項目で高評価を得た駅

その結果、各沿線における拠点駅/非拠点駅は、以下の通りとなる。



	拠点駅	非拠点駅
京大	茨木市駅	上牧駅
	高槻市駅	総持寺駅
		富田駅
		南茨木駅
京阪	樟葉駅	萱島駅
	香里園駅	光善寺駅
	寝屋川市駅	郡津駅
	枚方市駅	御殿山駅
		枚方公園駅
		星ヶ丘駅
		牧野駅
		宮之阪駅
JR	茨木駅	摂津富田駅
	高槻駅	

図5.各駅の「印象評価」と「拠点性の評価」における回答結果

はじめに: 本アンケート調査における沿線駅の拠点駅/非拠点駅

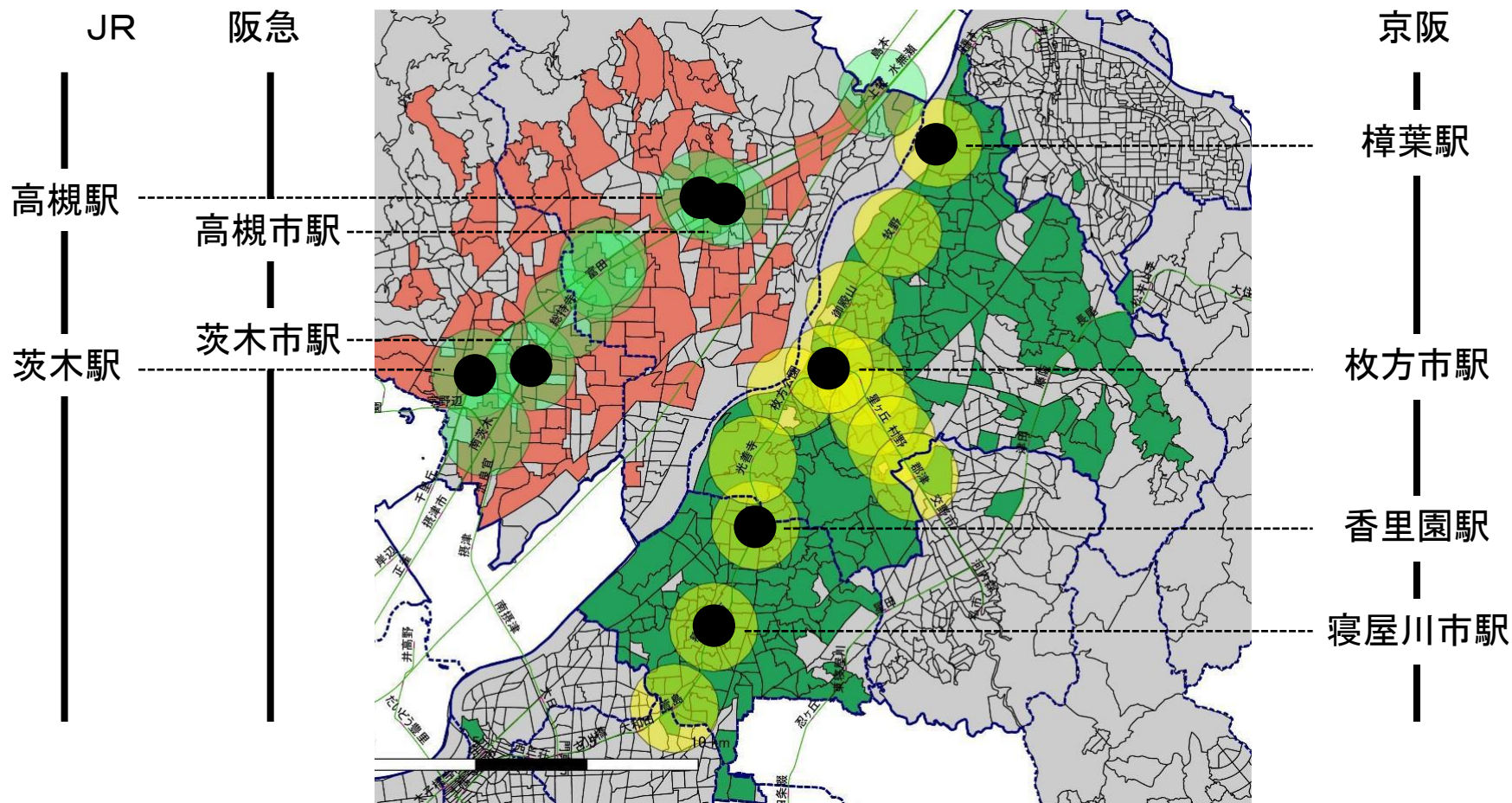


図6. 拠点駅の設定

回答者の属性

1.回答者の属性：年齢、職業、家族構成

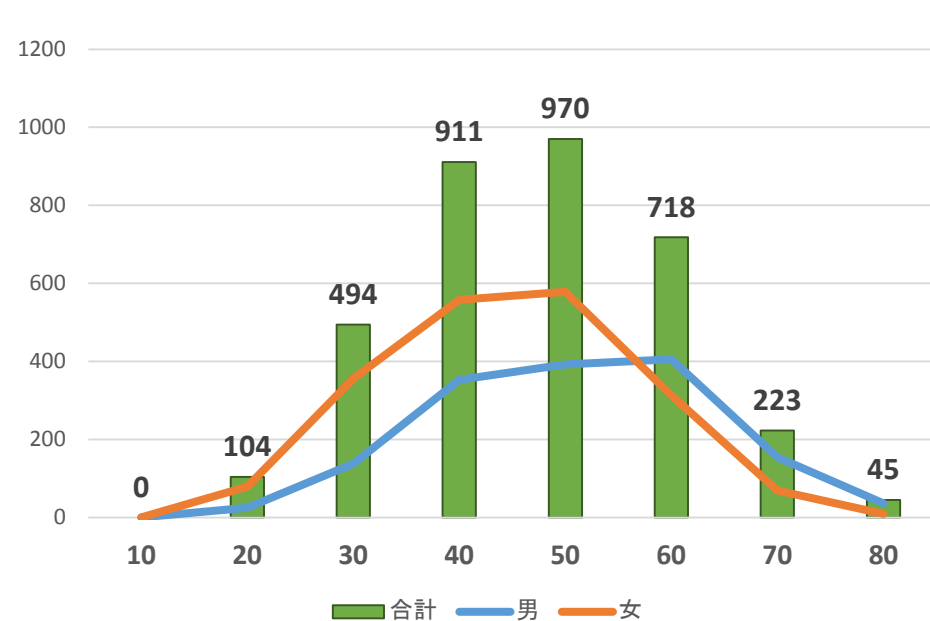


図7. 性別年齢別回答者数

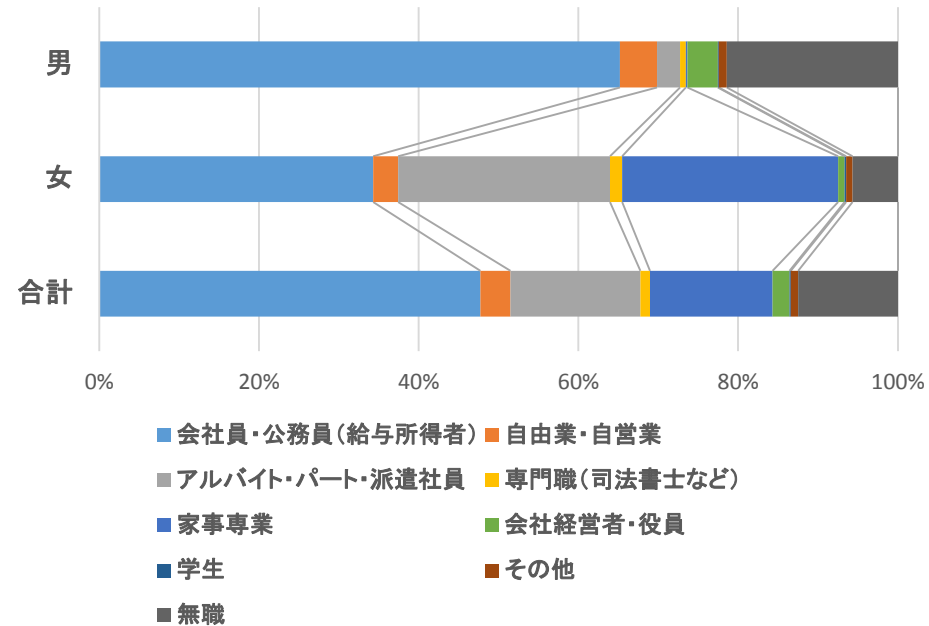


図8. 性別職業割合

家族構成	京阪 (n= 3465)	
	実数	割合
夫婦のみ	918	26.49%
単身家族	362	10.45%
2世代家族（親＋子）	1957	56.48%
3世代家族（親＋子＋孫）	189	5.45%
その他	39	1.13%
計	3465	100.00%

図9. 家族構成割合

1.回答者の属性:住居形態

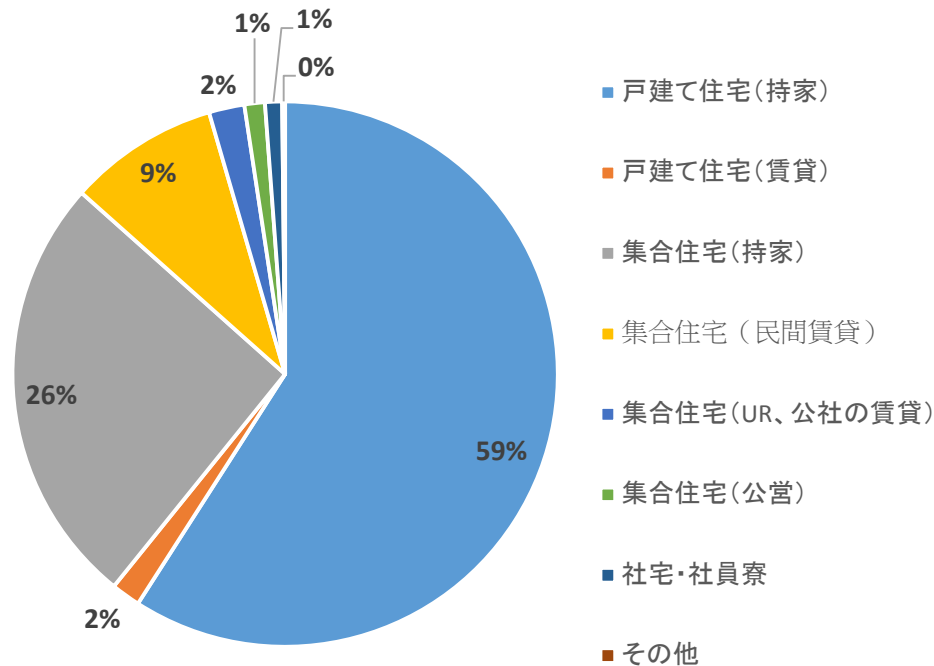


図10. 住居形態の割合(京阪)

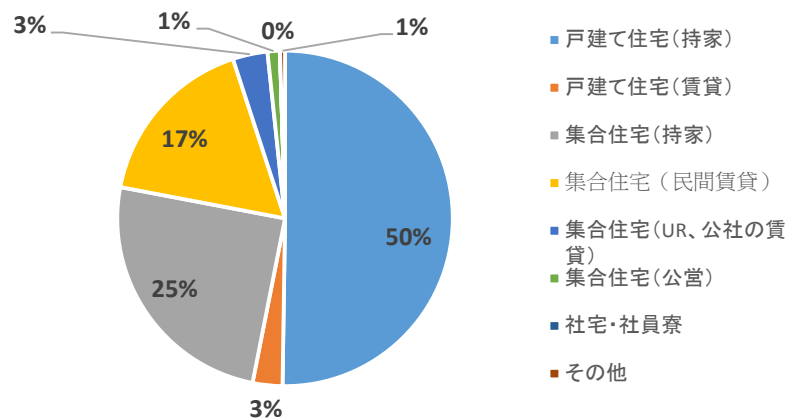


図11. 住居形態の割合(阪急)

住居形態	阪急 (n= 418)		京阪 (n= 3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
戸建て住宅（持家）	210	50.24%	2047	59.08%	2257
戸建て住宅（賃貸）	12	2.87%	60	1.73%	72
集合住宅（持家）	104	24.88%	893	25.77%	997
集合住宅（民間賃貸）	71	16.99%	309	8.92%	380
集合住宅（UR、公社の賃貸）	14	3.35%	73	2.11%	87
集合住宅（公営）	5	1.20%	42	1.21%	47
社宅・社員寮	0	0.00%	35	1.01%	35
その他	2	0.48%	6	0.17%	8
計	418	100.00%	3465	100.00%	3883

図12.住居形態

	阪急	京阪
戸建て住宅（持家）	▲ 0.78	6.45
戸建て住宅（賃貸）	0.56	▲ 4.65
集合住宅（持家）	▲ 0.12	0.98
集合住宅（民間賃貸）	1.73	▲ 14.34
集合住宅（UR、公社の賃貸）	0.56	▲ 4.62
集合住宅（公営）	▲ 0.01	0.08
社宅・社員寮	▲ 0.71	5.92
その他	0.45	▲ 3.74

p= 8.E-07

赤字 p< .05 青字 p< .01

図13. 住居形態の傾向(カイ2乗検定)

1.回答者の属性:居住年数

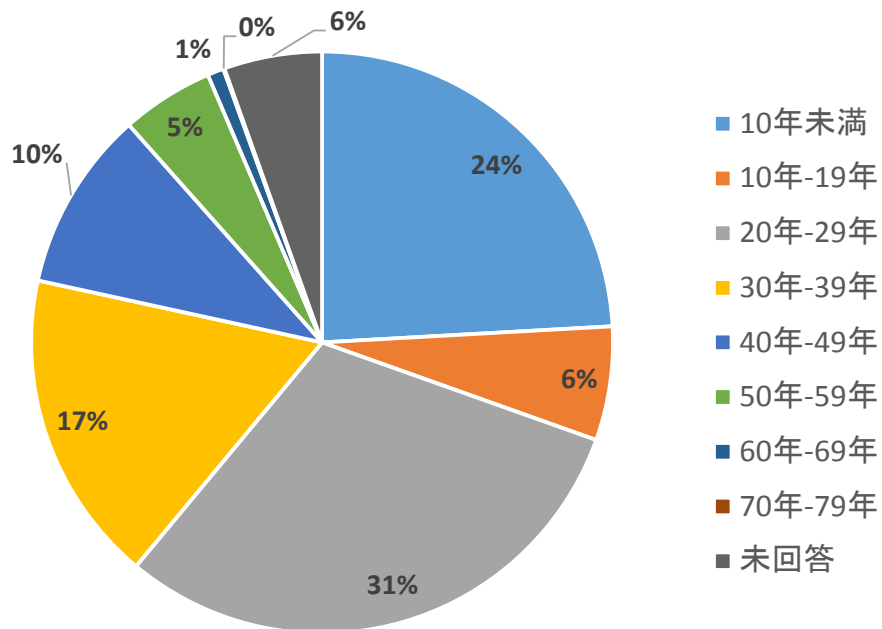


図14. 居住年数別割合(京阪)

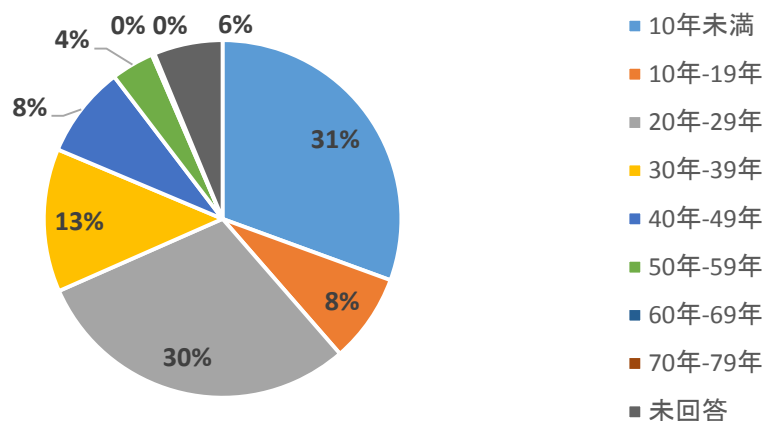


図15. 居住年数別割合(阪急)

移住してからの 居住年数(10年単位)		阪急		京阪		計
		実数	割合	実数	割合	
		10年未満の内訳				
		n= 118		n= 770		
10年未満	1年未満	2	1.69%	18	2.34%	20
	1年	8	6.78%	81	10.52%	89
	2年	14	11.86%	103	13.38%	117
	3年	27	22.88%	108	14.03%	135
	4年	7	5.93%	64	8.31%	71
	5年	22	18.64%	135	17.53%	157
	6年	14	11.86%	67	8.70%	81
	7年	9	7.63%	68	8.83%	77
	8年	7	5.93%	66	8.57%	73
	9年	8	6.78%	60	7.79%	68
		実数	割合	実数	割合	計
		n= 386		n= 3193		
	118	30.57%	770	24.12%	888	
10年-19年	31	8.03%	202	6.33%	233	
20年-29年	115	29.79%	977	30.60%	1092	
30年-39年	50	12.95%	555	17.38%	605	
40年-49年	32	8.29%	320	10.02%	352	
50年-59年	15	3.89%	164	5.14%	179	
60年-69年	1	0.26%	29	0.91%	30	
70年-79年	0	0.00%	2	0.06%	2	
未回答	24	6.22%	174	5.45%	198	

図16. 居住年数別回答数

1.回答者の属性:小結び

- ① 2世代家族と夫婦のみ世帯が中心
- ② 戸建て住宅と集合住宅を合わせた持家率が80%を超えており、
阪急沿線の結果よりも高い
- ③ 阪急沿線と比べて居住年数が長い世帯が多い傾向にある

生活行動の傾向

2.生活行動の傾向：日常食料品の購買頻度/場所（阪急/京阪）

日常食料品の購買頻度	阪急 (n= 418)		京阪 (n= 3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、買い物のために出かける	144	34.45%	1124	32.44%	1268
週に2、3回買い物のために出かける	151	36.12%	1301	37.55%	1452
通勤等のついでに買い物をする	66	15.79%	512	14.78%	578
休日に、まとめ買いをする	44	10.53%	309	8.92%	353
共同購入や食料品の宅配を利用している	11	2.63%	199	5.74%	210
その他	2	0.48%	20	0.58%	22
計	418	100.00%	3465	100.00%	3883

図17. 日常食料品の購買頻度

日常食料品の主な購入場所	阪急 (n= 418)		京阪 (n= 3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	330	78.95%	2601	75.06%	2931
最もよく使う駅の周辺の店舗	119	28.47%	1274	36.77%	1393
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	21	5.02%	268	7.73%	289
都心のデパートの地下などの店舗	37	8.85%	111	3.20%	148
車で行きやすいロードサイドの店舗	98	23.44%	973	28.08%	1071
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	13	3.11%	174	5.02%	187
その他	6	1.44%	59	1.70%	65

図18. 日常食料品の購買場所

		阪急 (n= 418)	京阪 (n= 3465)
最もよく使う駅の周辺の店舗	yes	▲ 0.93	7.70
	p= 8.E-04	no	▲ 5.76
都心のデパートの地下などの店舗	yes	1.94	▲ 16.09
	p= 1.E-08	no	▲ 0.39
車で行きやすいロードサイドの店舗	yes	▲ 0.59	4.91
	p= 5.E-02	no	▲ 3.03

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図19. 購買場所の傾向(カイ2乗検定)

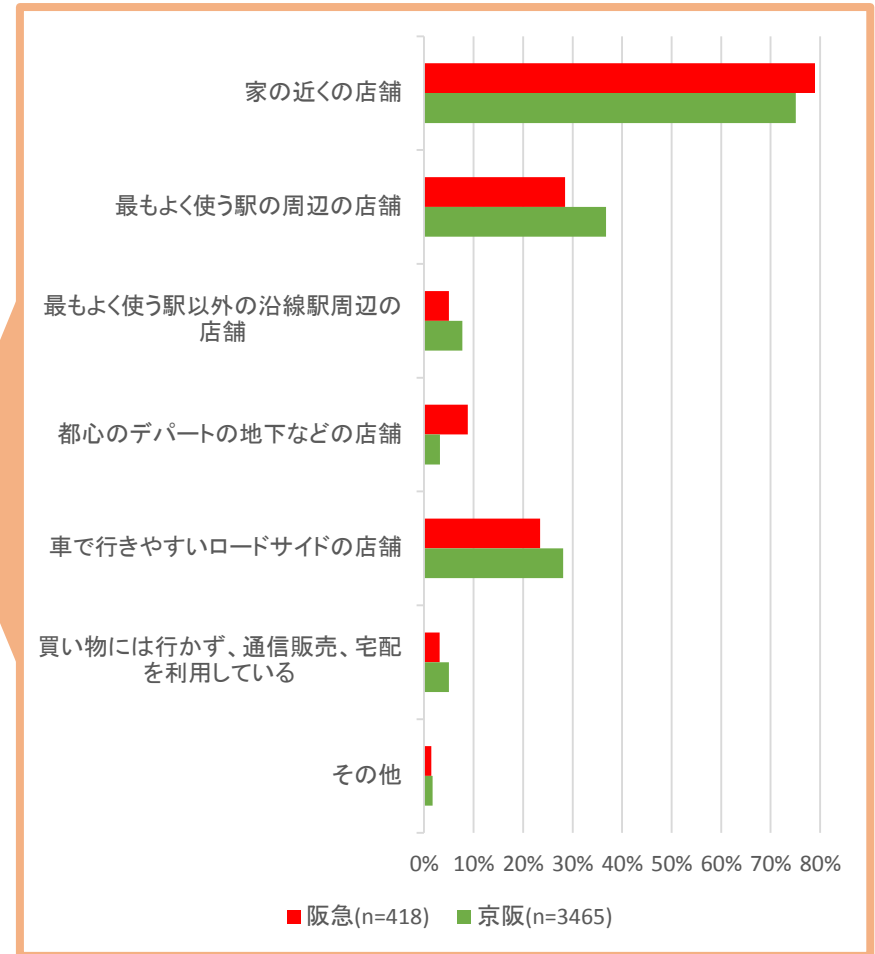


図20. 購買場所の回答数(阪急/京阪)

2.生活行動の傾向：日常食料品の購買頻度/場所（京阪 1000m圏内/圏外）

日常食料品の購買頻度	京阪 1000m圏内 (n=2278)		京阪 1000m 圏外 (n=1175)		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、買い物のために出かける	758	33.27%	363	30.89%	1121
週に2、3回買い物のために出かける	807	35.43%	490	41.70%	1297
通勤等のついでに買い物をする	370	16.24%	141	12.00%	511
休日に、まとめ買いをする	191	8.38%	115	9.79%	306
共同購入や食料品の宅配を利用している	138	6.06%	60	5.11%	198
その他	14	0.61%	6	0.51%	20
計	2278	100.00%	1175	100.00%	3453

図21. 日常食料品の購買頻度（京阪1000m圏内/外）

日常食料品の主な購入場所	京阪 1000m圏内 (n=2278)		京阪 1000m 圏外 (n=1175)		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	1678	73.66%	915	77.87%	2593
最もよく使う駅の周辺の店舗	927	40.69%	344	29.28%	1271
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	200	8.78%	68	5.79%	268
都心のデパートの地下などの店舗	78	3.42%	33	2.81%	111
車で行きやすいロードサイドの店舗	569	24.98%	401	34.13%	970
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	109	4.78%	63	5.36%	172
その他	39	1.71%	19	1.62%	58

図22. 日常食料品の購買場所（京阪1000m圏内/外）

		京阪 1000m圏内 (n=2278)	京阪 1000m 圏外 (n=1175)
家の近くの店舗 p= 8.E-03	yes	▲ 1.85	0.96
	no	3.22	▲ 1.66
最もよく使う駅の周辺の店舗 p= 4.E-11	yes	7.31	▲ 3.77
	no	▲ 5.58	2.88
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗 p= 2.E-03	yes	4.17	▲ 2.15
	no	▲ 1.21	0.62
車で行きやすいロードサイドの店舗 p= 2.E-08	yes	▲ 6.67	3.44
	no	4.17	▲ 2.15

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図23. 沿線圏域別の購買場所の傾向（カイ2乗検定）

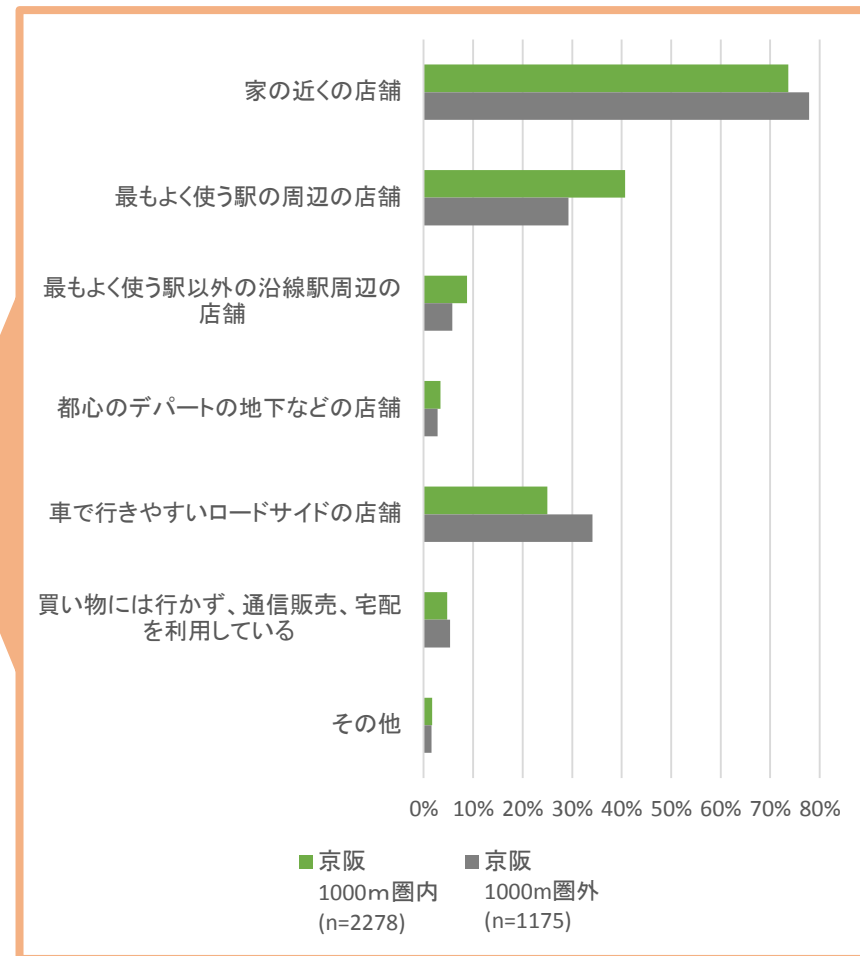


図24. 購買場所の回答数（京阪1000m圏内/外）

2.生活行動の傾向：日常食料品の購買頻度/場所（阪急/京阪 1000m圏内）

日常食料品の購買頻度	阪急沿線 1000m圏内 (n=227)		京阪 1000m圏内 (n=2278)		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、買い物のために出かける	87	38.33%	758	33.27%	845
週に2、3回買い物のために出かける	74	32.60%	807	35.43%	881
通勤等のついでに買い物をする	36	15.86%	370	16.24%	406
休日に、まとめ買いをする	23	10.13%	191	8.38%	214
共同購入や食料品の宅配を利用している	7	3.08%	138	6.06%	145
その他	0	0.00%	14	0.61%	14
計	227	100.00%	2278	100.00%	2505

図25.日常食料品の購買頻度（阪急/京阪1000m圏内）

日常食料品の主な購入場所	阪急沿線 1000m圏内 (n=227)		京阪 1000m圏内 (n=2278)		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	184	81.06%	1678	73.66%	1862
最もよく使う駅の周辺の店舗	69	30.40%	927	40.69%	996
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	16	7.05%	200	8.78%	216
都心のデパートの地下などの店舗	28	12.33%	78	3.42%	106
車で行きやすいロードサイドの店舗	35	15.42%	569	24.98%	604
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	6	2.64%	109	4.78%	115
その他	3	1.32%	39	1.71%	42

図26.日常食料品の購買場所（阪急/京阪1000m圏内）

		阪急沿線 1000m圏内 (n=227)	京阪 1000m圏内 (n=2278)
家の近くの店舗 p= 1.E-02	yes	0.39	▲ 3.90
	no	▲ 0.66	6.64
最もよく使う駅の周辺の店舗 p= 3.E-03	yes	▲ 0.74	7.43
	no	0.60	▲ 6.04
都心のデパートの地下などの店舗 p= 2.E-10	yes	1.96	▲ 19.72
	no	▲ 0.41	4.14
車で行きやすいロードサイドの店舗 p= 1.E-03	yes	▲ 0.88	8.86
	no	0.50	▲ 4.99

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図27. 沿線別1000m圏内の傾向（カイ2乗検定）

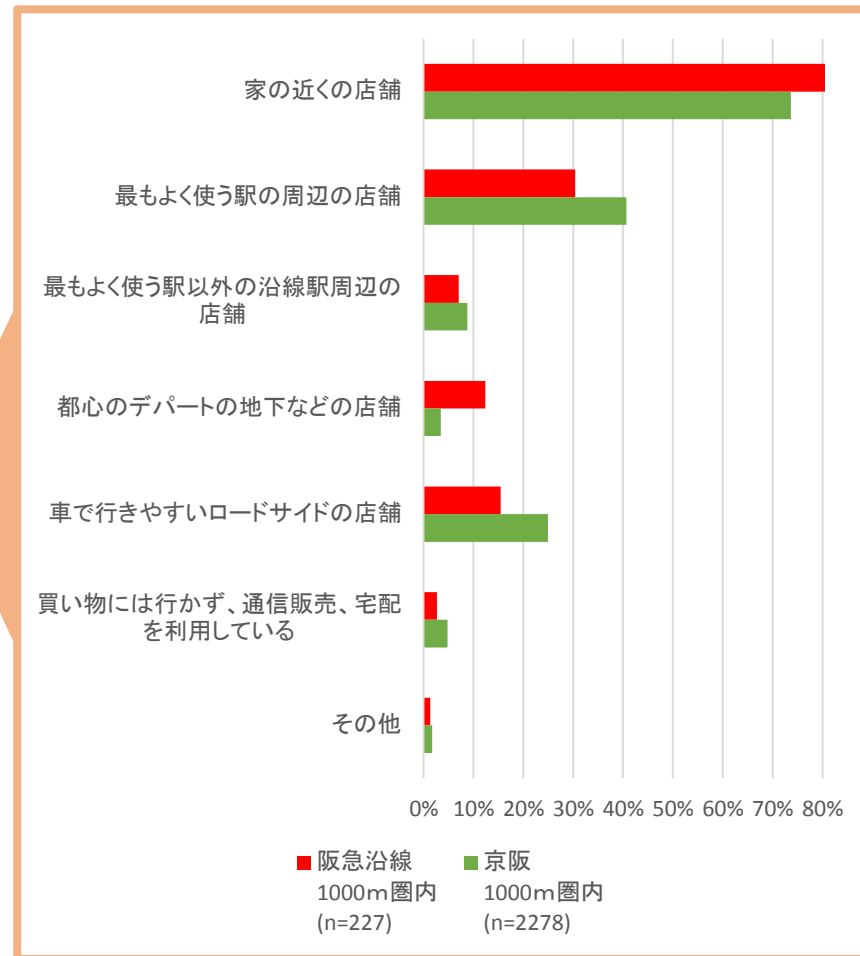


図28. 購買場所の回答数（阪急/京阪1000m圏内）

2.生活行動の傾向：日常食料品の購買頻度/場所（京阪 拠点駅/非拠点駅）

日常食料品の購買頻度	京阪1000m 拠点 (n=989)		京阪1000m 非拠点 (n=1078)		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、買い物のために出かける	393	39.74%	323	29.96%	716
週に2、3回買い物のためにでかける	306	30.94%	401	37.20%	707
通勤等のついでに買い物をする	174	17.59%	169	15.68%	343
休日に、まとめ買いをする	62	6.27%	108	10.02%	170
共同購入や食料品の宅配を利用している	47	4.75%	69	6.40%	116
その他	7	0.71%	8	0.74%	15
	989	100.00%	1078	100.00%	2067

図29.日常食料品の購買頻度（京阪拠点駅/非拠点駅）

日常食料品の購買場所	京阪1000m 拠点 (n=989)		京阪1000m 非拠点 (n=1078)		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	745	75.33%	790	73.28%	1535
最もよく使う駅の周辺の店舗	502	50.76%	359	33.30%	861
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	48	4.85%	136	12.62%	184
都心のデパートの地下などの店舗	30	3.03%	47	4.36%	77
車で行きやすいロードサイドの店舗	191	19.31%	292	27.09%	483
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	44	4.45%	58	5.38%	102
その他	11	1.11%	23	2.13%	34

図30.日常食料品の購買場所（京阪拠点駅/非拠点駅）

		京阪1000m 拠点 (n=989)	京阪1000m 非拠点 (n=1078)
最もよく使う駅の周辺の店舗 p= 8.8632E-16	yes	5.88	▲ 6.41
	no	▲ 4.97	5.42
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗 p= 5.98469E-10	yes	▲ 5.66	6.17
	no	1.77	▲ 1.93
車で行きやすいロードサイドの店舗 p= 3.01055E-05	yes	▲ 3.50	3.81
	no	1.93	▲ 2.11

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図31. 拠点性別購買場所の傾向（カイ2乗検定）

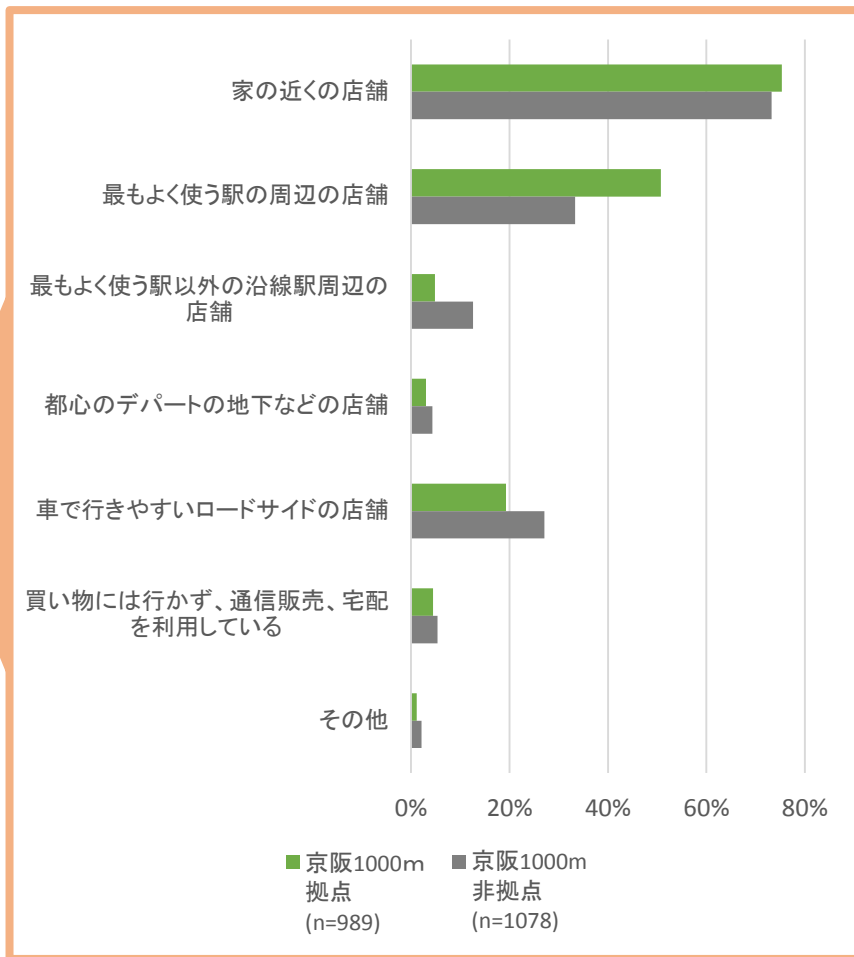


図32. 購買場所の回答数（京阪拠点駅/非拠点駅）

2.生活行動の傾向：日常食料品の購買頻度/場所（阪急/京阪 拠点駅）

日常食料品の購買頻度	阪急1000m 拠点		京阪1000m 拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、買い物のために出かける	33	43.42%	393	39.74%	426
週に2、3回買い物のために出かける	22	28.95%	306	30.94%	328
通勤等のついでに買い物をする	9	11.84%	174	17.59%	183
休日に、まとめ買いをする	9	11.84%	62	6.27%	71
共同購入や食料品の宅配を利用している	3	3.95%	47	4.75%	50
その他	0	0.00%	7	0.71%	7
計	76	100.00%	989	100.00%	1065

図33.日常食料品の購買頻度（阪急/京阪拠点駅）

日常食料品の購買場所	阪急1000m 拠点		京阪1000m 拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	64	84.21%	745	75.33%	809
最もよく使う駅の周辺の店舗	19	25.00%	502	50.76%	521
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	3	3.95%	48	4.85%	51
都心のデパートの地下などの店舗	9	11.84%	30	3.03%	39
車で行きやすいロードサイドの店舗	8	10.53%	191	19.31%	199
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	4	5.26%	44	4.45%	48
その他	1	1.32%	11	1.11%	12

図34.日常食料品の購買場所（阪急/京阪拠点駅）

		阪急1000m 拠点	京阪1000m 拠点
最もよく使う駅の周辺の店舗 p= 1.E-05	yes	▲ 0.86	▲ 11.16
	no	0.84	▲ 10.92
都心のデパートの地下などの店舗 p= 8.E-05	yes	1.07	▲ 13.95
	no	▲ 0.21	2.72

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図35.沿線別拠点駅の購買場所の傾向(カイ2乗検定)

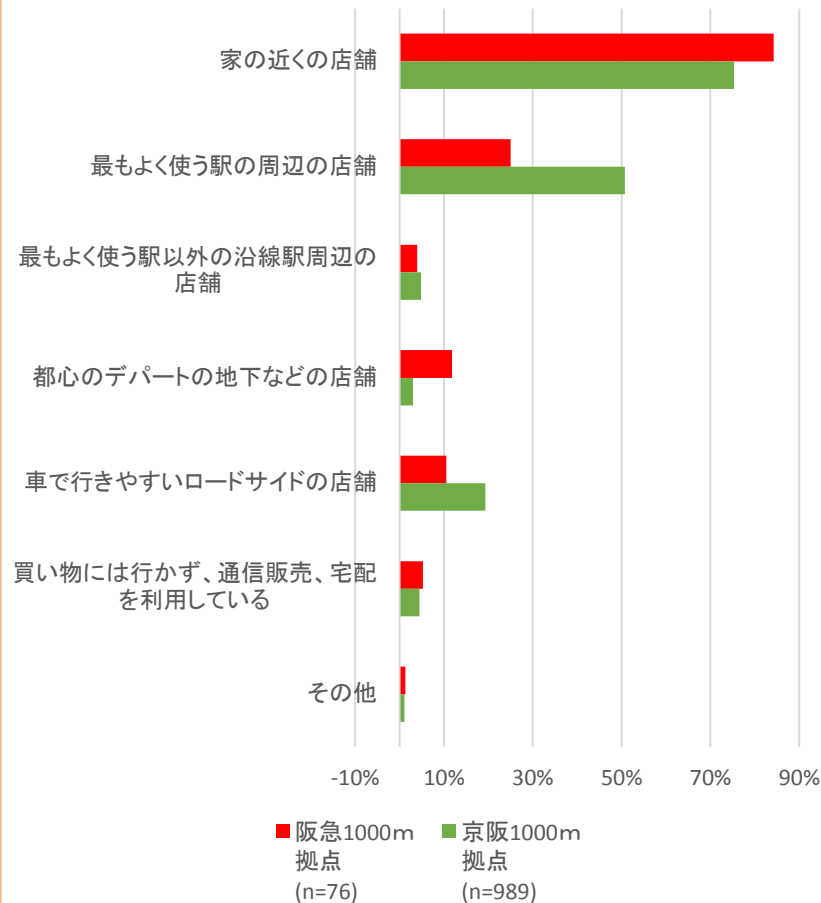


図36.購買場所の回答数（阪急/京阪拠点駅）

2.生活行動の傾向：外食の頻度/場所(阪急/京阪)

外食の頻度	阪急 (n=418)		京阪 (n=3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、外食するために出かける	4	0.96%	17	0.49%	21
週に2、3回は、外食のために出かける	24	5.74%	190	5.48%	214
通勤等のついでによく外食する	21	5.02%	104	3.00%	125
土日など休日に、外食する	155	37.08%	1538	44.39%	1693
ほとんど外食しない	178	42.58%	1252	36.13%	1430
その他	36	8.61%	364	10.51%	400
計	418	100.00%	3465	100.00%	3883

図37. 外食の頻度(阪急/京阪)

ハレの日の主な外食場所	阪急 (n=418)		京阪 (n=3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	71	16.99%	499	14.40%	570
最もよく使う駅周辺の飲食店	59	14.11%	490	14.14%	549
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	25	5.98%	262	7.56%	287
都心の飲食店	104	24.88%	528	15.24%	632
車で行きやすいロードサイドの飲食店	99	23.68%	1230	35.50%	1329
ケータリングや出前を利用している	4	0.96%	40	1.15%	44
ほとんど外食しない	47	11.24%	331	9.55%	378
その他	9	2.15%	85	2.45%	94
計	418	100.00%	3465	100.00%	3883

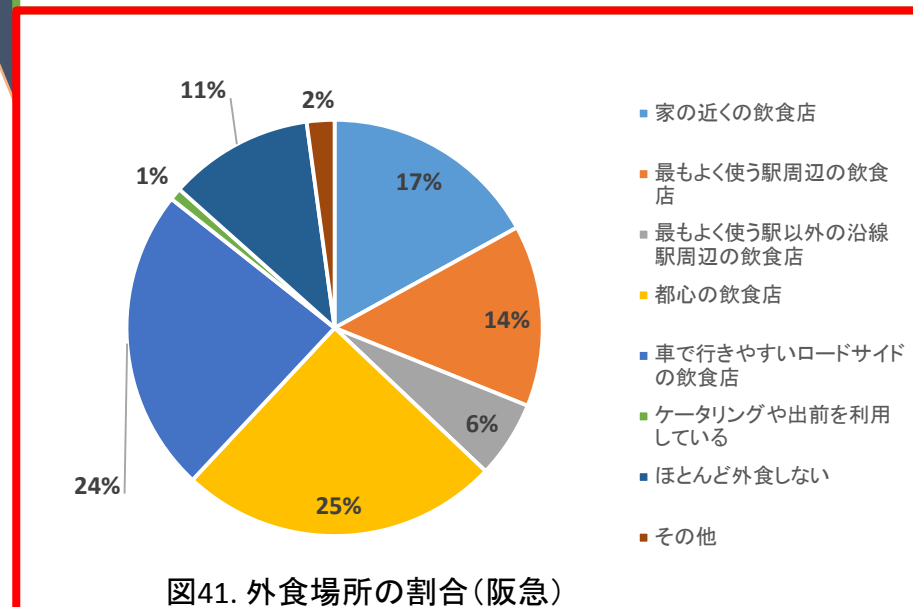
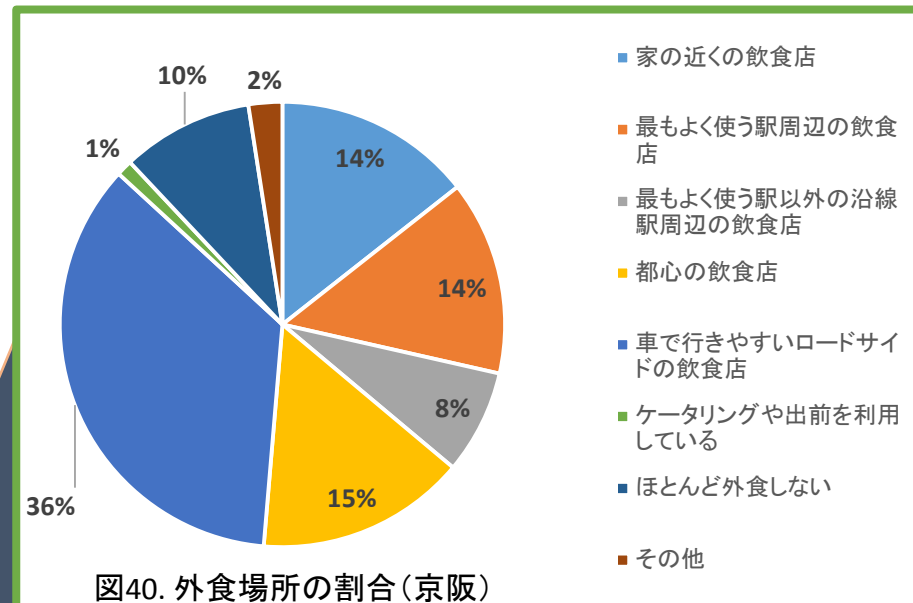
図38. ハレの日の主な外食場所(阪急/京阪)

	阪急 (n=418)	京阪 (n=3465)
家の近くの飲食店	0.45	▲ 3.75
最もよく使う駅周辺の飲食店	▲ 0.00	0.04
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	▲ 0.39	3.23
都心の飲食店	1.60	▲ 13.29
車で行きやすいロードサイドの飲食店	▲ 1.35	11.23
ケータリングや出前を利用している	▲ 0.12	1.03
ほとんど外食しない	0.36	▲ 3.01
その他	▲ 0.13	1.07

p= 9.E-07

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図39. 外食場所の傾向(カイ2乗検定)



2.生活行動の傾向：外食の頻度/場所（京阪 1000m圏内/圏外）

外食頻度	京阪 1000m圏内		京阪 1000m 圏外		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、外食するために出かける	14	0.61%	3	0.26%	17
週に2、3回は、外食のためにでかける	128	5.62%	61	5.19%	189
通勤等のついでによく外食する	80	3.51%	23	1.96%	103
土日など休日に、外食する	1004	44.07%	528	44.94%	1532
ほとんど外食しない	824	36.17%	424	36.09%	1248
その他	228	10.01%	136	11.57%	364
計	2278	100.00%	1175	100.00%	3453

図42. 外食の頻度（京阪1000m圏内/外）

ハレの日の主な外食場所	京阪 1000m圏内		京阪 1000m 圏外		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	308	13.52%	186	15.83%	494
最もよく使う駅周辺の飲食店	358	15.72%	132	11.23%	490
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	205	9.00%	57	4.85%	262
都心の飲食店	386	16.94%	140	11.91%	526
車で行きやすいロードサイドの飲食店	734	32.22%	493	41.96%	1227
ケータリングや出前を利用している	23	1.01%	17	1.45%	40
ほとんど外食しない	207	9.09%	123	10.47%	330
その他	57	2.50%	27	2.30%	84
計	2278	100.00%	1175	100.00%	3453

図43. ハレの日の主な外食場所（京阪1000m圏内/外）

	京阪 1000m圏内 (n=2278)	京阪 1000m 圏外 (n=1175)
家の近くの飲食店	▲ 2.37	1.22
最もよく使う駅周辺の飲食店	4.61	▲ 2.38
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	5.84	▲ 3.01
都心の飲食店	5.00	▲ 2.58
車で行きやすいロードサイドの飲食店	▲ 6.33	3.27
ケータリングや出前を利用している	▲ 1.57	0.81
ほとんど外食しない	▲ 1.73	0.89
その他	0.51	▲ 0.26

p= 4.E-12

赤字 p< .05 青字 p< .01

図44. 圏域別外食場所の傾向(カイ2乗検定)

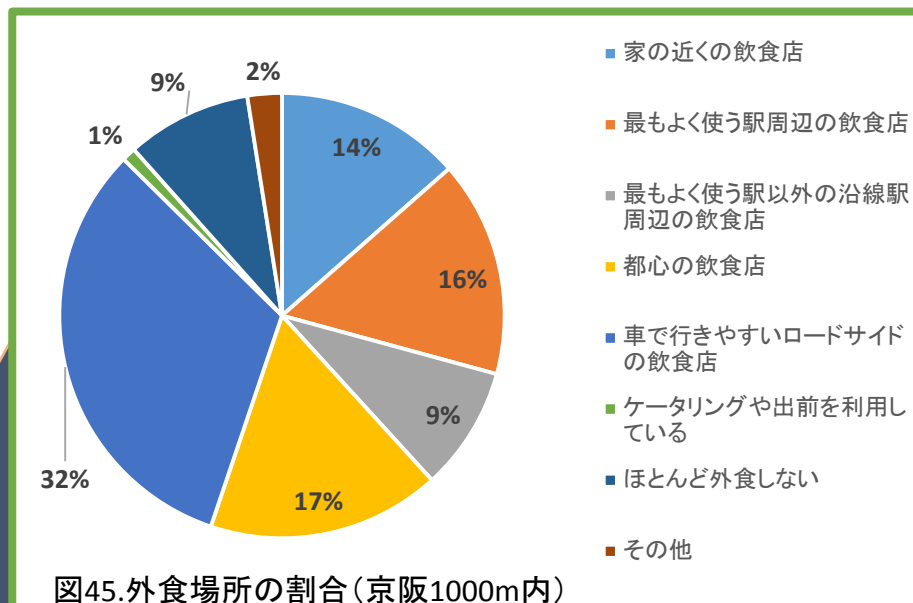


図45. 外食場所の割合（京阪1000m内）

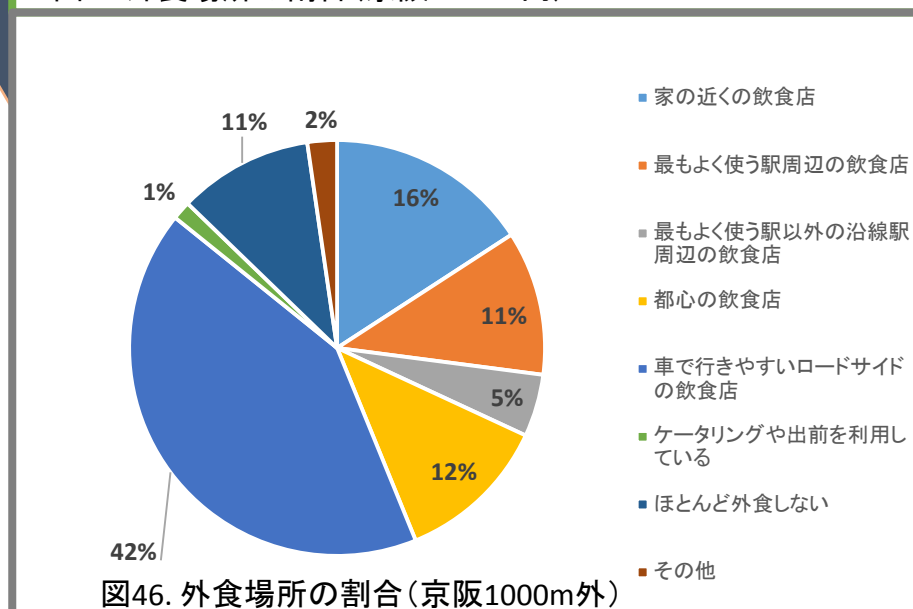


図46. 外食場所の割合（京阪1000m外）

2.生活行動の傾向：外食の頻度/場所(阪急/京阪 1000m圏内)

外食頻度	阪急沿線 1000m圏内		京阪 1000m圏内		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、外食するために出かける	1	0.44%	14	0.61%	15
週に2、3回は、外食のために出かける	19	8.37%	128	5.62%	147
通勤等のついでによく外食する	14	6.17%	80	3.51%	94
土日など休日に、外食する	83	36.56%	1004	44.07%	1087
ほとんど外食しない	90	39.65%	824	36.17%	914
その他	20	8.81%	228	10.01%	248
計	227	100.00%	2278	100.00%	2505

図47. 外食の頻度(阪急/京阪1000m圏内)

ハレの日の主な外食場所	阪急沿線 1000m圏内		京阪 1000m圏内		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	36	15.86%	308	13.52%	344
最もよく使う駅周辺の飲食店	29	12.78%	358	15.72%	387
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	17	7.49%	205	9.00%	222
都心の飲食店	76	33.48%	386	16.94%	462
車で行きやすいロードサイドの飲食店	39	17.18%	734	32.22%	773
ケータリングや出前を利用している	1	0.44%	23	1.01%	24
ほとんど外食しない	23	10.13%	207	9.09%	230
その他	6	2.64%	57	2.50%	63
計	227	100.00%	2278	100.00%	2505

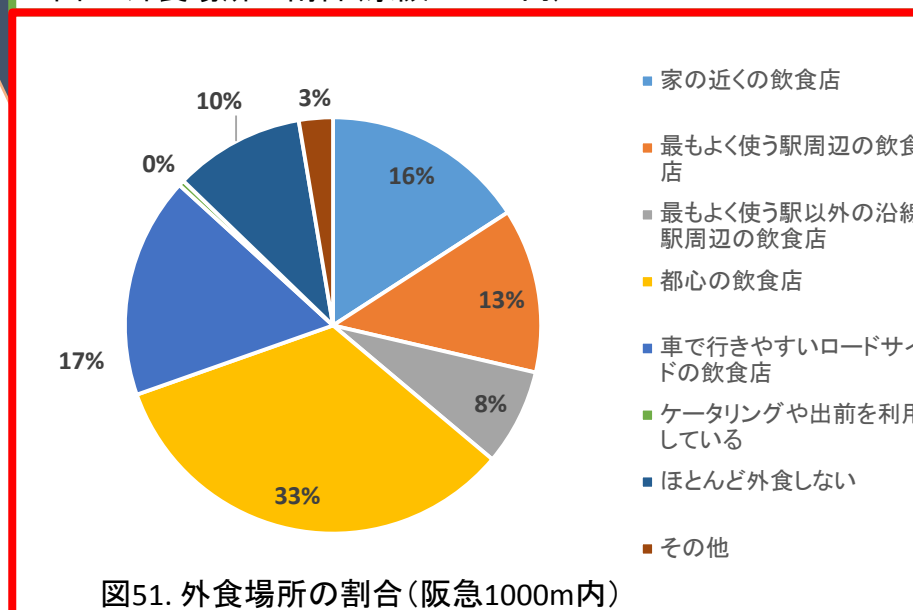
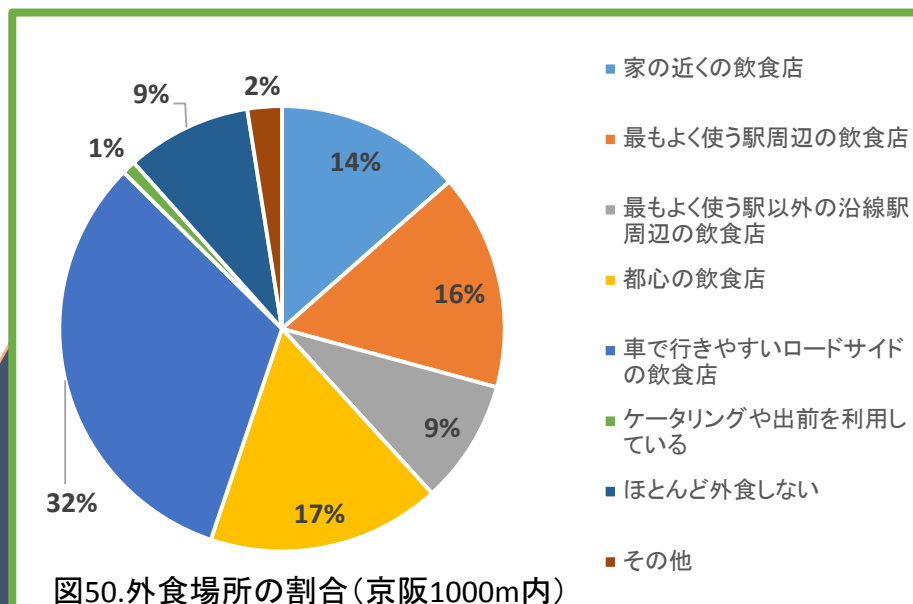
図48. ハレの日の主な外食場所(阪急/京阪1000m圏内)

	阪急沿線 1000m圏内	京阪 1000m圏内
家の近くの飲食店	0.29	▲ 2.87
最もよく使う駅周辺の飲食店	▲ 0.34	3.40
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	▲ 0.23	2.31
都心の飲食店	1.75	▲ 17.52
車で行きやすいロードサイドの飲食店	▲ 1.23	12.32
ケータリングや出前を利用している	▲ 0.26	2.65
ほとんど外食しない	0.16	▲ 1.57
その他	0.04	▲ 0.40

p= 2.E-08

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図49. 沿線圏域別外食場所の傾向(カイ2乗検定)



2.生活行動の傾向：外食の頻度/場所（京阪 拠点駅/非拠点駅）

外食頻度	京阪1000m 拠点		京阪1000m 非拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、外食するために出かける	9	0.91%	6	0.56%	15
週に2、3回は、外食のためにでかける	65	6.57%	47	4.36%	112
土日など休日に、外食する	458	46.31%	478	44.34%	936
通勤等のついでによく外食する	45	4.55%	32	2.97%	77
ほとんど外食しない	324	32.76%	400	37.11%	724
その他	88	8.90%	115	10.67%	203
計	989	100.00%	1078	100.00%	2067

図52. 外食の頻度（京阪拠点/非拠点）

ハレの日の外食場所	京阪1000m 拠点		京阪1000m 非拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	172	17.39%	109	10.11%	281
最もよく使う駅周辺の飲食店	197	19.92%	120	11.13%	317
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	54	5.46%	136	12.62%	190
都心の飲食店	179	18.10%	179	16.60%	358
車で行きやすいロードサイドの飲食店	284	28.72%	386	35.81%	670
ケータリングや出前を利用している	7	0.71%	17	1.58%	24
ほとんど外食しない	75	7.58%	107	9.93%	182
その他	21	2.12%	24	2.23%	45
計	989	100.00%	1078	100.00%	2067

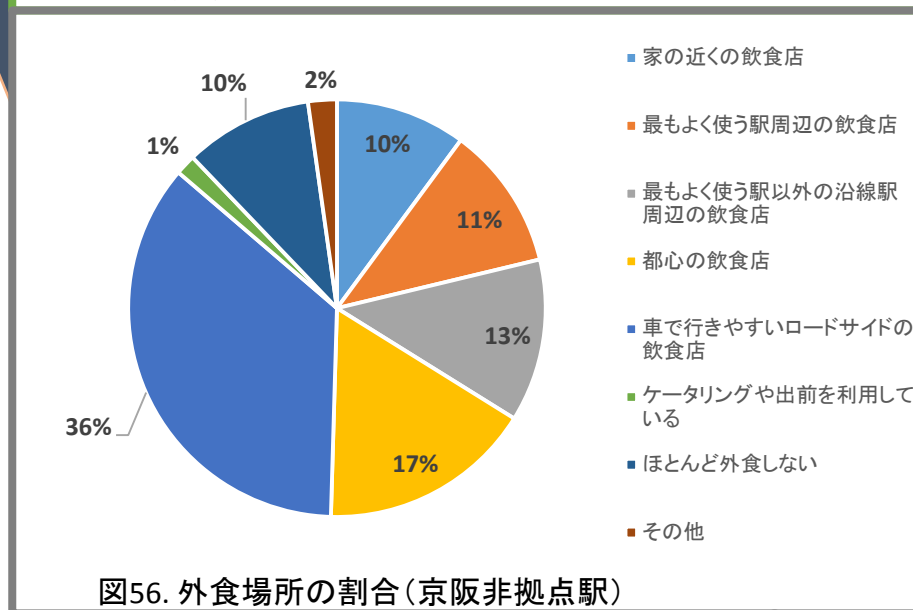
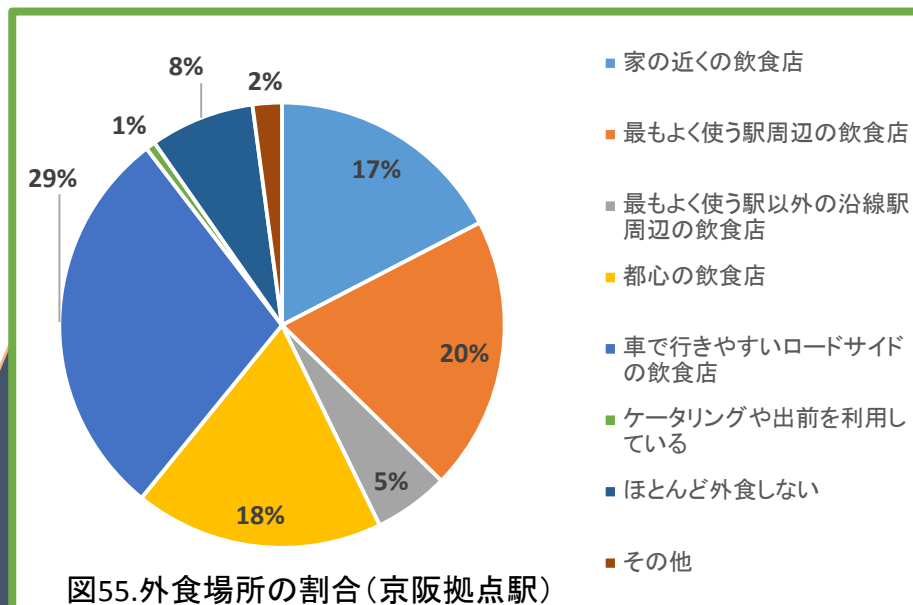
図53. ハレの日の主な外食場所（京阪拠点/非拠点）

	京阪1000m 拠点 (n=989)	京阪1000m 非拠点 (n=1078)
家の近くの飲食店	4.30	▲ 4.68
最もよく使う駅周辺の飲食店	4.88	▲ 5.32
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	▲ 5.13	5.60
都心の飲食店	0.78	▲ 0.85
車で行きやすいロードサイドの飲食店	▲ 2.71	2.95
ケータリングや出前を利用している	▲ 1.75	1.91
ほとんど外食しない	▲ 1.72	1.87
その他	▲ 0.15	0.17

p= 1.E-16

赤字 p< .05 青字 p< .01

図54. 拠点性別外食場所の傾向(カイ2乗検定)



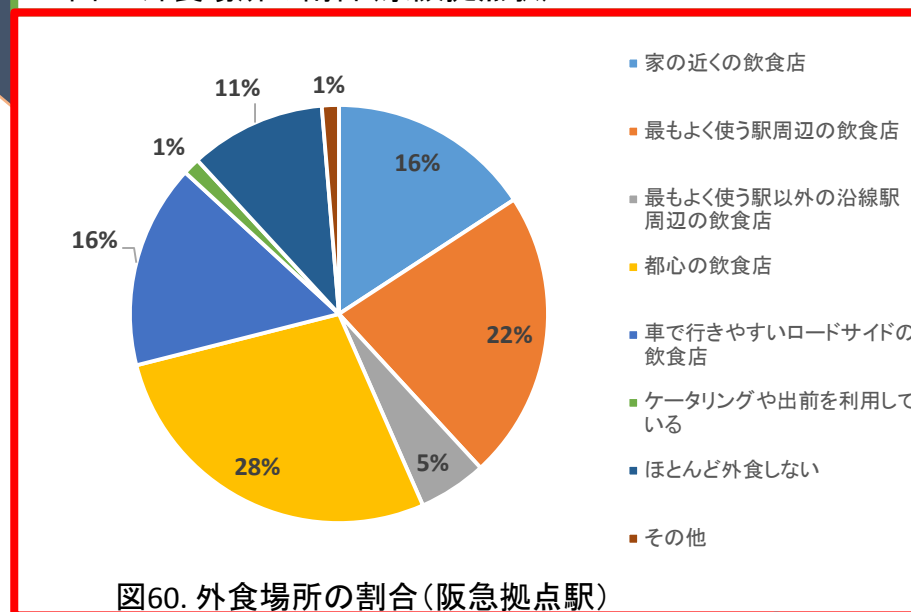
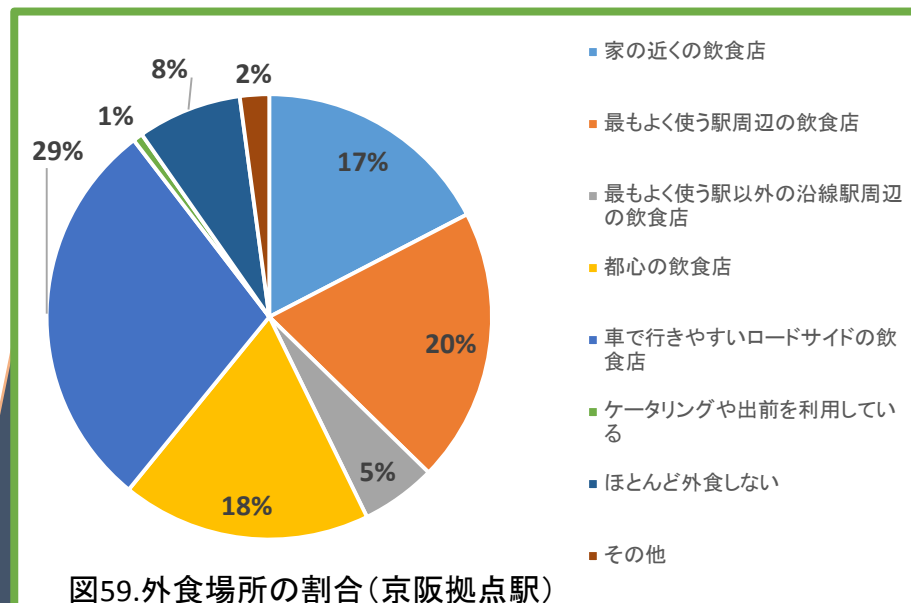
2.生活行動の傾向：外食の頻度/場所（阪急/京阪 拠点駅）

外食頻度	阪急1000m 拠点		京阪1000m 拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
ほぼ毎日、外食するために出かける	0	0.00%	9	0.91%	9
週に2、3回は、外食のためにでかける	5	6.58%	65	6.57%	70
土日など休日に、外食する	27	35.53%	458	46.31%	485
通勤等のついでによく外食する	6	7.89%	45	4.55%	51
ほとんど外食しない	29	38.16%	324	32.76%	353
その他	9	11.84%	88	8.90%	97
計	76	100.00%	989	100.00%	1065

図57. 外食の頻度（阪急/京阪拠点駅）

ハレの日の外食場所	阪急1000m 拠点		京阪1000m 拠点		計
	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	12	15.79%	172	17.39%	184
最もよく使う駅周辺の飲食店	17	22.37%	197	19.92%	214
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	4	5.26%	54	5.46%	58
都心の飲食店	21	27.63%	179	18.10%	200
車で行きやすいロードサイドの飲食店	12	15.79%	284	28.72%	296
ケータリングや出前を利用している	1	1.32%	7	0.71%	8
ほとんど外食しない	8	10.53%	75	7.58%	83
その他	1	1.32%	21	2.12%	22
計	76	100.00%	989	100.00%	1065

図58. ハレの日の主な外食場所（阪急/京阪拠点駅）



2.生活行動の傾向：小結び

【日常食料品の購買】

- ① 家の近くの店舗が最もよく利用されている
- ② 阪急沿線と比べて全体的にロードサイドと利用駅周辺の店舗が使われている
- ③ 反対に都心へ買い物に出かけることは少ない
- ④ 非拠点駅周辺と1000m圏外の居住者は、ロードサイドの店舗をよく利用する

【外食】

- ① ロードサイドの飲食店が全体的に最も利用されている
- ② 1000m圏内および拠点駅の集計でも、阪急沿線は都心に出るが、京阪沿線はロードサイドに流れている
- ③ 駅周辺、特に拠点駅周辺の居住者は、それ以外の場所に住む人に比べて利用駅周辺や隣接駅周辺の飲食店も利用している

→京阪沿線は、ロードサイドに生活圏が引っ張られている傾向にある
しかしながら日常食料品の購買では、ロードサイドのみでなく利用駅周辺の店舗も活用されている。都心に出ない点も含めると比較的日常的な生活行動圏は固まっている可能性も考えられる。

駅利用の傾向と意識

3.駅利用の傾向と意識：駅利用の有無と交通手段

駅利用の有無	阪急 (n= 418)		京阪 (n= 3465)		計
	実数	割合	実数	割合	
使う	354	84.69%	2706	78.10%	3060
ほとんど使わない	64	15.31%	759	21.90%	823
計	418	100.00%	3465	100.00%	3883

図61. 駅利用の有無

駅を利用しない理由	阪急 (n= 64)		京阪 (n= 759)		計
	実数	割合	実数	割合	
いつも自動車を利用している	27	42.19%	411	54.15%	438
ほとんど外出しない	7	10.94%	69	9.09%	76
駅や駅周辺に用がない	13	20.31%	154	20.29%	167
駅周辺のまちに行きたくない	0	0.00%	3	0.40%	3
その他	17	26.56%	122	16.07%	139
計	64	100.00%	759	100.00%	823

図63. 駅を利用しない主な理由

利用駅への主な利用端末	阪急 (n= 354)		京阪 (n= 2706)		計
	実数	割合	実数	割合	
歩いていく	193	54.52%	1644	60.75%	1837
自転車で行く	93	26.27%	483	17.85%	576
バスで行く	48	13.56%	455	16.81%	503
原付やバイクで行く	11	3.11%	49	1.81%	60
自分で車を運転して行く	6	1.69%	38	1.40%	44
家族の運転する車で行く	3	0.85%	37	1.37%	40
計	354	100.00%	2706	100.00%	3060

図62. 利用駅への主な利用鉄道端末手段

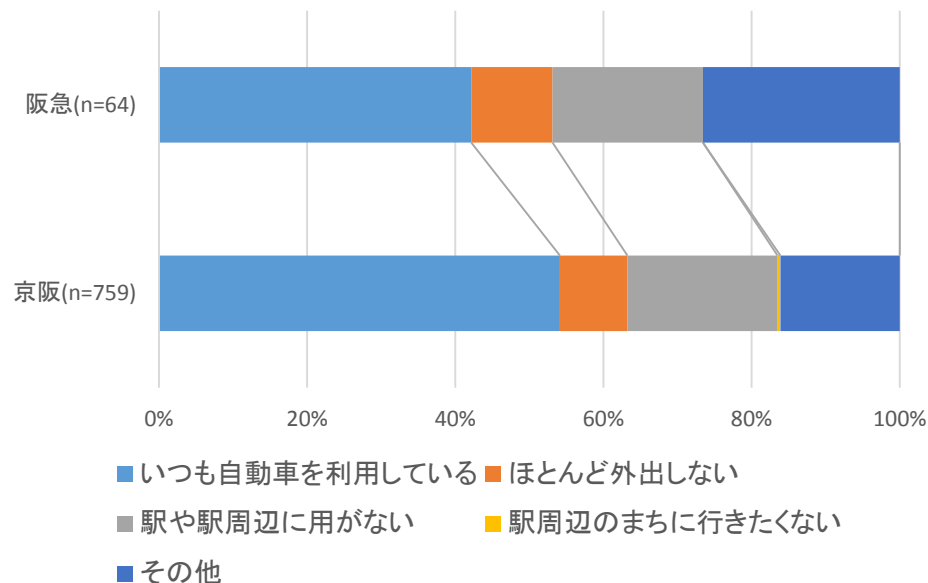


図64. 駅を利用しない主な理由の割合 82

3.駅利用の傾向と意識：主な駅利用の目的(阪急/京阪)

主な駅利用の目的	阪急 (n=354)		京阪 (n=2706)		計
	実数	割合	実数	割合	
通勤・通学で電車に乗るため	254	71.75%	1817	67.15%	2071
買い物、外食や遊びのために電車に乗るため	185	52.26%	1378	50.92%	1563
駅や駅周辺にある店舗や施設を利用するため	66	18.64%	750	27.72%	816
電車を利用する家族の送迎のため	16	4.52%	143	5.28%	159
駅や駅周辺にある店舗や施設を利用する家族の送迎のため	5	1.41%	82	3.03%	87
その他	6	1.69%	60	2.22%	66

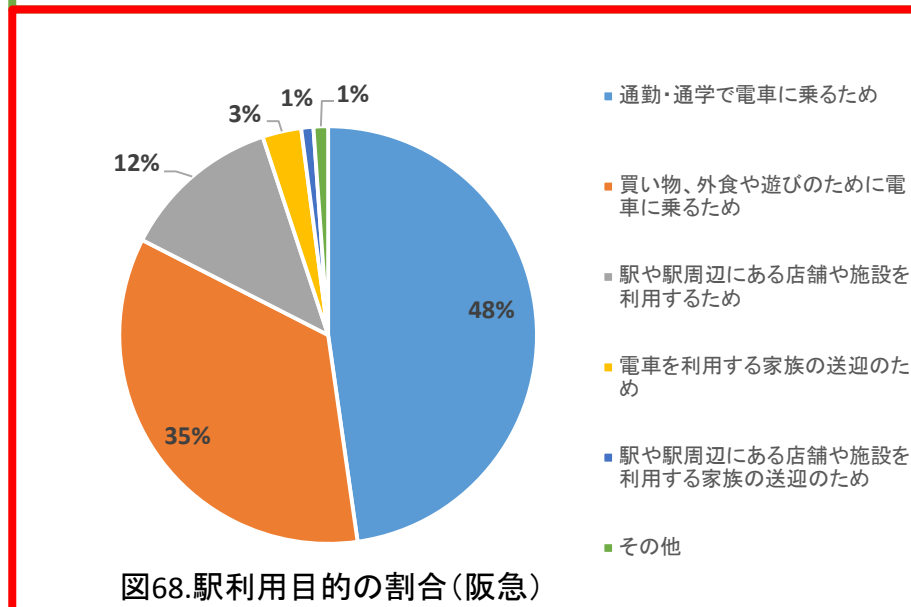
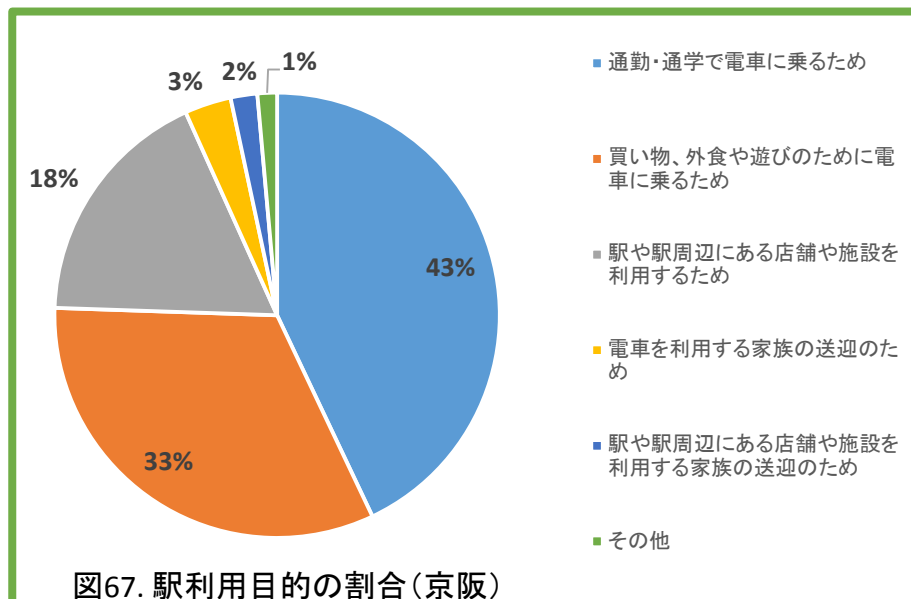
図65. 駅利用の主な目的

		阪急 (n=354)	京阪 (n=2706)
駅や駅周辺にある店舗や施設を利用するため p= 3.E-04	yes	▲ 1.12	8.59
	no	0.68	▲ 5.18

赤字 p<=.05 青字 p<=.01

図66. 沿線別駅利用の目的の傾向(カイ2乗検定)

	駅名	回答者数
阪急	宮之阪	3
	星ヶ丘	3
	樟葉	250
	牧野	16
	御殿山	10
	枚方市	194
	枚方公園	14
	光善寺	22
	香里園	149
	寝屋川市	72
	萱島	4
	淀	1
	天満橋	1
	京橋	2



本アンケート調査における沿線駅の拠点駅/非拠点駅(再)

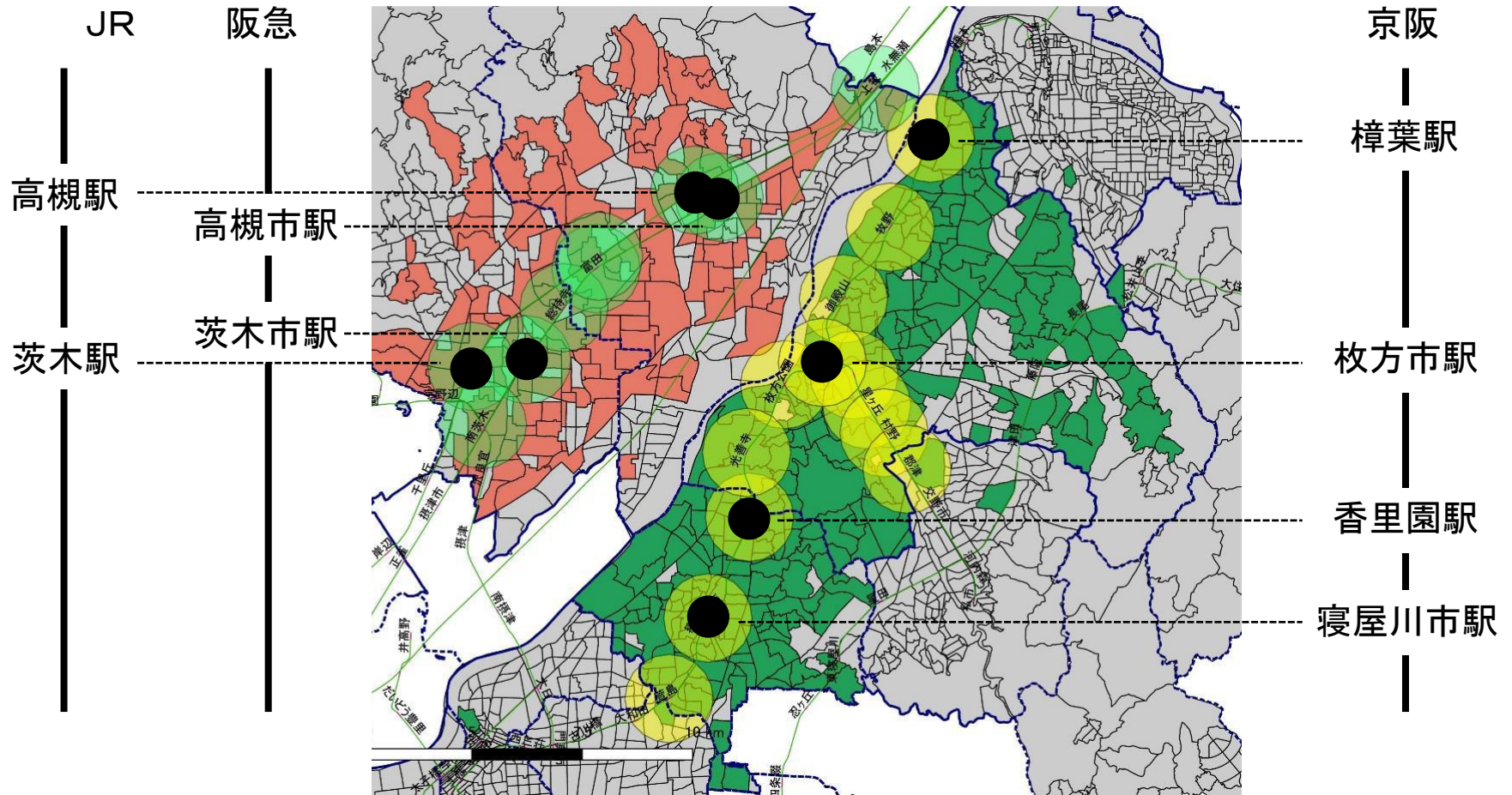


図6.拠点駅の設定

3.駅利用の傾向と意識：利用駅周辺の主な利用施設

利用駅周辺の主な利用施設		京阪 n=2706	
		実数	割合
日常の食料 品購買関係	コンビニエンスストア	1314	48.56%
	スーパーマーケット	1755	64.86%
	パン屋、ベーカリー	742	27.42%
その他の購買関係	ケーキ屋・和菓子屋	559	20.66%
	花屋	173	6.39%
	衣料品店	408	15.08%
	文房具・雑貨店	422	15.59%
	書店	861	31.82%
生活サービス県警(福祉・医療関係)	クリーニング店	205	7.58%
	家事や住まいの相談窓口	6	0.22%
	駅で宅配便を受け取れる窓口・宅配ロッカー	11	0.41%
	美容院・理髪店	469	17.33%
	医院・診療所	482	17.81%
	介護施設(通所)	1	0.04%
	介護施設(訪問)	0	0.00%
	託児施設	1	0.04%
飲食店関係	カフェ	453	16.74%
	レストラン	486	17.96%
	居酒屋	390	14.41%
	バーやパブ	31	1.15%
娯楽・学習関係	温浴施設	6	0.22%
	スポーツジム	102	3.77%
	図書館	354	13.08%
	ギャラリー	32	1.18%
	趣味や習い事をする教室	62	2.29%
アクセシビリティ	駐輪場	558	20.62%
	駐車場	238	8.80%
	レンタサイクル	4	0.15%
	レンタカー(カーシェア)	9	0.33%
	その他	119	4.40%
	特にない	145	5.36%

図69. 利用駅周辺の主な利用施設(京阪全域)

利用駅周辺の主な利用施設		駅周辺施設利用を目的とする駅利用者 n=741	
		実数	割合
日常の食料 品購買関係	コンビニエンスストア	322	43.45%
	スーパーマーケット	566	76.38%
	パン屋、ベーカリー	319	43.05%
その他の購買関係	ケーキ屋・和菓子屋	269	36.30%
	花屋	81	10.93%
	衣料品店	223	30.09%
	文房具・雑貨店	226	30.50%
	書店	412	55.60%
生活サービス県警(福祉・医療関係)	クリーニング店	75	10.12%
	家事や住まいの相談窓口	3	0.40%
	駅で宅配便を受け取れる窓口・宅配ロッカー	5	0.67%
	美容院・理髪店	181	24.43%
	医院・診療所	192	25.91%
	介護施設(通所)	1	0.13%
	介護施設(訪問)	0	0.00%
	託児施設	0	0.00%
飲食店関係	カフェ	233	31.44%
	レストラン	245	33.06%
	居酒屋	136	18.35%
	バーやパブ	16	2.16%
娯楽・学習関係	温浴施設	1	0.13%
	スポーツジム	45	6.07%
	図書館	113	15.25%
	ギャラリー	19	2.56%
	趣味や習い事をする教室	36	4.86%
アクセシビリティ	駐輪場	187	25.24%
	駐車場	126	17.00%
	レンタサイクル	0	0.00%
	レンタカー(カーシェア)	3	0.40%
	その他	43	5.80%
	特にない	4	0.54%

図70. 利用駅周辺の主な利用施設(駅周辺施設が目的の人)

3.駅利用の傾向と意識(隣接駅周辺の主な利用施設)

隣接駅周辺の主な利用施設		京阪(n=2706)	
		実数	割合
日常の食料品購買関係	コンビニエンスストア	150	5.54%
	スーパーマーケット	397	14.67%
	大型ショッピングセンター	1360	50.26%
	パン屋、ベーカリー	405	14.97%
その他の購買関係	ケーキ屋・和菓子屋	402	14.86%
	花屋	68	2.51%
	衣料品店	544	20.10%
	文房具・雑貨店	350	12.93%
	書店	661	24.43%
生活サービス(福祉・医療関係)	クリーニング店	33	1.22%
	家事や住まいの相談窓口	9	0.33%
	駅で宅配便を受け取れる窓口・宅配ロッカー	2	0.07%
	美容院・理髪店	370	13.67%
	医院・診療所・病院	486	17.96%
	介護施設(通所)	4	0.15%
	介護施設(訪問)	4	0.15%
	託児施設	2	0.07%
飲食店関係	カフェ	471	17.41%
	レストラン	834	30.82%
	居酒屋	555	20.51%
	バーやパブ	75	2.77%
娯楽・学習関係	映画館	864	31.93%
	温浴施設	58	2.14%
	スポーツジム	101	3.73%
	図書館	116	4.29%
	ギャラリー	75	2.77%
	趣味や習い事をする教室	241	8.91%
アクセシビリティ	駐輪場	39	1.44%
	駐車場	49	1.81%
	レンタサイクル	1	0.04%
	レンタカー(カーシェア)	7	0.26%
	その他	106	3.92%
	特にない	497	18.37%

図71. 隣接駅周辺の主な利用施設(京阪全域)

隣接駅周辺の主な利用施設		他駅での買い物・外食・遊びが目的の駅利用者 n=1337	
		実数	割合
日常の食料品購買関係	コンビニエンスストア	66	4.94%
	スーパーマーケット	219	16.38%
	大型ショッピングセンター	738	55.20%
	パン屋、ベーカリー	264	19.75%
その他の購買関係	ケーキ屋・和菓子屋	255	19.07%
	花屋	45	3.37%
	衣料品店	351	26.25%
	文房具・雑貨店	229	17.13%
	書店	390	29.17%
生活サービス(福祉・医療関係)	クリーニング店	17	1.27%
	家事や住まいの相談窓口	4	0.30%
	駅で宅配便を受け取れる窓口・宅配ロッカー	2	0.15%
	美容院・理髪店	206	15.41%
	医院・診療所・病院	287	21.47%
	介護施設(通所)	4	0.30%
	介護施設(訪問)	4	0.30%
	託児施設	1	0.07%
飲食店関係	カフェ	314	23.49%
	レストラン	512	38.29%
	居酒屋	288	21.54%
	バーやパブ	44	3.29%
娯楽・学習関係	映画館	494	36.95%
	温浴施設	36	2.69%
	スポーツジム	50	3.74%
	図書館	71	5.31%
	ギャラリー	49	3.66%
	趣味や習い事をする教室	162	12.12%
アクセシビリティ	駐輪場	23	1.72%
	駐車場	22	1.65%
	レンタサイクル	1	0.07%
	レンタカー(カーシェア)	3	0.22%
	その他	58	4.34%
	特にない	171	12.79%

図72. 隣接駅周辺の主な利用施設(他駅の施設利用が目的の人)

3.駅利用の傾向と意識：駅周辺への設置希望施設

設置希望施設		京阪 (n= 3465)	
		実数	割合
日常の食料 品購買関係	コンビニエンスストア	768	22.16%
	デリカ（惣菜屋）	303	8.74%
	パン屋、ベーカリー	886	25.57%
その他の購買 関係	ケーキ屋・和菓子屋	634	18.30%
	花屋	123	3.55%
	書店	989	28.54%
生活サービス （福祉・医療関係）	クリーニング店	106	3.06%
	靴修理・靴磨き	144	4.16%
	家事や住まいの相談窓口	18	0.52%
	駅で宅配便を受け取れる窓口・宅配ロッカー	299	8.63%
	美容院・理髪店	137	3.95%
	医院・診療所・病院	599	17.29%
	介護施設（通所）	16	0.46%
	介護施設（訪問）	9	0.26%
	行政窓口	755	21.79%
	託児施設	105	3.03%
飲食店 関係	カフェ	954	27.53%
	居酒屋	454	13.10%
娯楽・学習関係	映画館	769	22.19%
	温浴施設	335	9.67%
	スポーツジム	311	8.98%
	図書館	574	16.57%
	児童保育施設	70	2.02%
	ギャラリー	69	1.99%
	集会施設	58	1.67%
	サテライトオフィス	23	0.66%
	シェアオフィス	24	0.69%
	学習スペース	79	2.28%
	趣味や習い事をする教室	324	9.35%
	塾や予備校	54	1.56%
アクティ ビティ	レンタサイクル	92	2.66%
	レンタカー（カーシェア）	100	2.89%
	特にない	226	6.52%
	スーパーマーケット	1004	28.98%
	大型ショッピングセンター	1409	40.66%

図73. 設置希望施設（京阪全域）

3.駅利用の傾向と意識：まとめ

- ① 駅を利用しない人の50%以上が車を利用する為
- ② 一方で駅周辺の施設利用を目的としている人も多く、特に拠点駅に集中している
- ③ 彼らの利用駅周辺における主な利用施設は、飲食店関係と日常食料品以外の購買関係であり、また駐輪場、駐車場といったアクセシビリティも確立している必要があるとみられる。
- ④ 他駅に行くことを目的に駅を利用する人たちの隣接駅周辺の施設利用では、上記同様に飲食店関係と日常食料品以外の購買関係の施設が利用される傾向にあり、また趣味や習い事に関する施設の利用もみられる
- ⑤ 希望設置施設は、居住地や拠点性の有無で変わらないが、主にカフェや書店、パン屋・ベーカリー、ケーキ屋・和菓子屋といった施設が求められている

回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向

	20代 n=104	30代 n=494	40代 n=911	50代 n=970	60代 n=718	70代 n=223	80代 n=45	計
10年以下 n=770	34	271	275	125	57	8	0	770
10-19年 n=202	2	34	90	54	22	0	0	202
20-29年 n=977	26	70	317	360	166	32	6	977
30-39年 n=555	5	30	56	224	200	36	4	555
40-49年 n=320	0	4	36	57	144	68	11	320
50-59年 n=164	0	0	14	43	47	45	15	164
60-69年 n=29	0	0	0	7	15	3	4	29
70年- n=2	0	0	0	0	1	1	0	2
計	67	409	788	870	652	193	40	3019

※居住年数は未回答あり

図74. 居住年数別年齢別回答数

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：住居形態（年齢別）

住居形態	20代 n=104		30代 n=494		40代 n=911		50代 n=970		60代 n=718		70代 n=223		80代 n=45		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
戸建て住宅（持家）	61	58.65%	240	48.58%	480	52.69%	591	60.93%	476	66.30%	171	76.68%	28	62.22%	2047
戸建て住宅（賃貸）	3	2.88%	12	2.43%	21	2.31%	16	1.65%	5	0.70%	3	1.35%	0	0.00%	60
集合住宅（持家）	19	18.27%	91	18.42%	245	26.89%	279	28.76%	201	27.99%	42	18.83%	16	35.56%	893
集合住宅（民間賃貸）	15	14.42%	110	22.27%	113	12.40%	52	5.36%	17	2.37%	2	0.90%	0	0.00%	309
集合住宅（UR、公社の賃貸）	2	1.92%	16	3.24%	27	2.96%	14	1.44%	11	1.53%	2	0.90%	1	2.22%	73
集合住宅（公営）	2	1.92%	6	1.21%	14	1.54%	12	1.24%	5	0.70%	3	1.35%	0	0.00%	42
社宅・社員寮	1	0.96%	17	3.44%	10	1.10%	5	0.52%	2	0.28%	0	0.00%	0	0.00%	35
その他	1	0.96%	2	0.40%	1	0.11%	1	0.10%	1	0.14%	0	0.00%	0	0.00%	6
計	104	100.00%	494	100.00%	911	100.00%	970	100.00%	718	100.00%	223	100.00%	45	100.00%	3465

図75. 年齢別住居形態

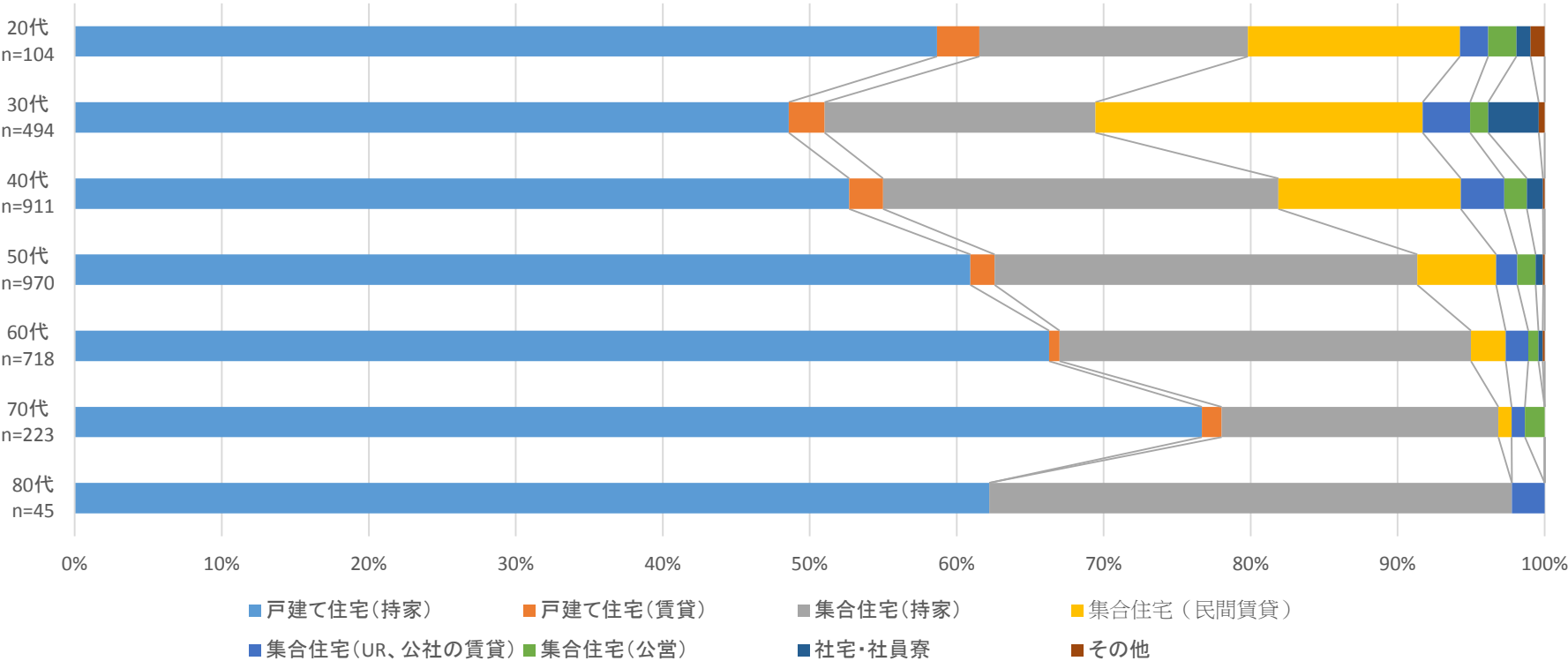


図76. 年齢別住居形態割合

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：住居形態（居住年数別）

住居形態	10年以下 n=770		10-19年 n=202		20-29年 n=977		30-39年 n=555		40-49年 n=320		50-59年 n=164		60-69年 n=29		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
戸建て住宅(持家)	300	38.96%	93	46.04%	537	54.96%	365	65.77%	257	80.31%	143	87.20%	25	86.21%	1722
戸建て住宅(賃貸)	31	4.03%	4	1.98%	12	1.23%	8	1.44%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	55
集合住宅(持家)	190	24.68%	63	31.19%	333	34.08%	168	30.27%	50	15.63%	17	10.37%	1	3.45%	822
集合住宅(民間賃貸)	186	24.16%	31	15.35%	64	6.55%	7	1.26%	1	0.31%	0	0.00%	1	3.45%	290
集合住宅(UR、公社の賃貸)	30	3.90%	5	2.48%	15	1.54%	3	0.54%	6	1.88%	3	1.83%	1	3.45%	63
集合住宅(公営)	7	0.91%	2	0.99%	12	1.23%	3	0.54%	4	1.25%	1	0.61%	1	3.45%	30
社宅・社員寮	24	3.12%	4	1.98%	3	0.31%	0	0.00%	2	0.63%	0	0.00%	0	0.00%	33
その他	2	0.26%	0	0.00%	1	0.10%	1	0.18%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4
計	770	100.00%	202	100.00%	977	100.00%	555	100.00%	320	100.00%	164	100.00%	29	100.00%	3019

図77. 居住年数別住居形態

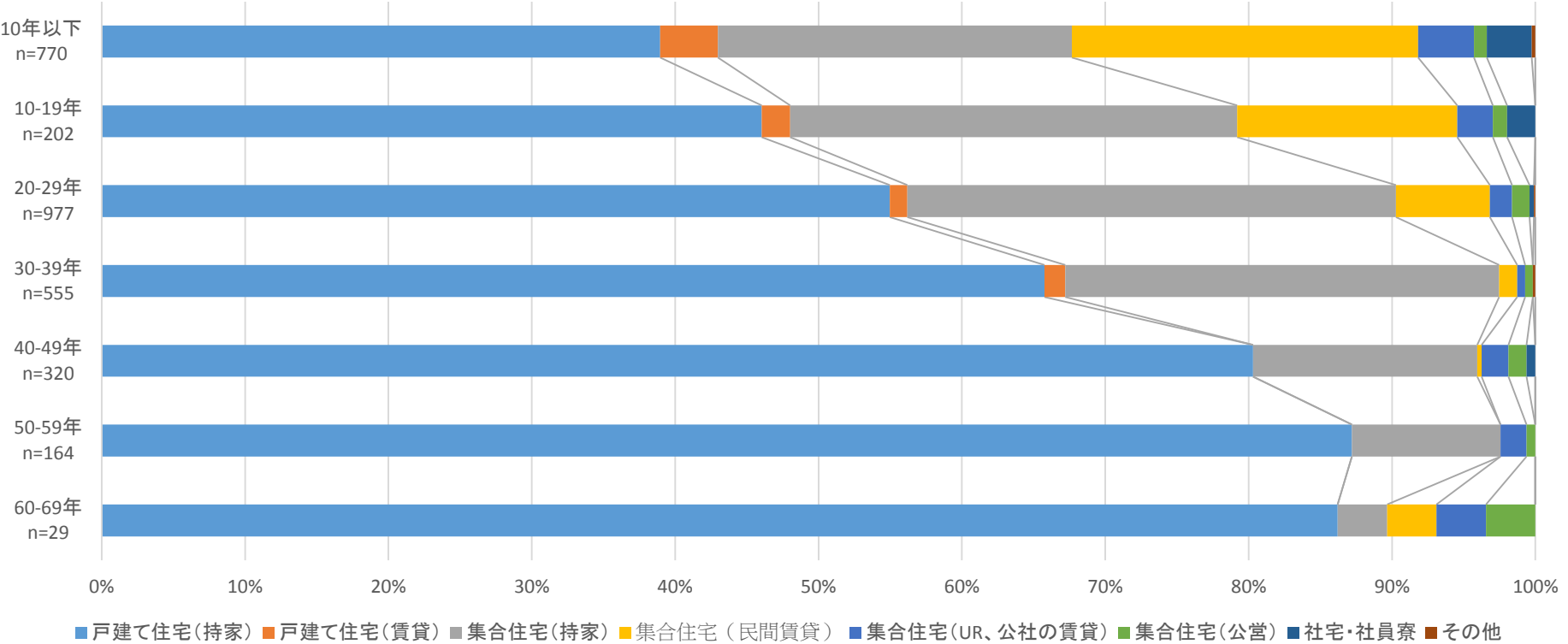


図78. 居住年数別住居形態割合

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：購買場所（年齢別）

主な日常食料品の購入場所	20代 n=104		30代 n=494		40代 n=911		50代 n=970		60代 n=718		70代 n=223		80代 n=45		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	82	78.85%	405	81.98%	703	77.17%	700	72.16%	531	73.96%	155	69.51%	25	55.56%	2601
最もよく使う駅の周辺の店舗	36	34.62%	165	33.40%	320	35.13%	353	36.39%	288	40.11%	91	40.81%	21	46.67%	1274
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	10	9.62%	31	6.28%	63	6.92%	75	7.73%	67	9.33%	18	8.07%	4	8.89%	268
都心のデパートの地下などの店舗	2	1.92%	12	2.43%	22	2.41%	33	3.40%	27	3.76%	9	4.04%	6	13.33%	111
車で行きやすいロードサイドの店舗	18	17.31%	112	22.67%	259	28.43%	287	29.59%	227	31.62%	59	26.46%	11	24.44%	973
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用している	3	2.88%	30	6.07%	39	4.28%	43	4.43%	39	5.43%	14	6.28%	6	13.33%	174
その他	0	0.00%	12	2.43%	16	1.76%	12	1.24%	15	2.09%	3	1.35%	1	2.22%	59

図79. 年齢別日常食料品の購買場所

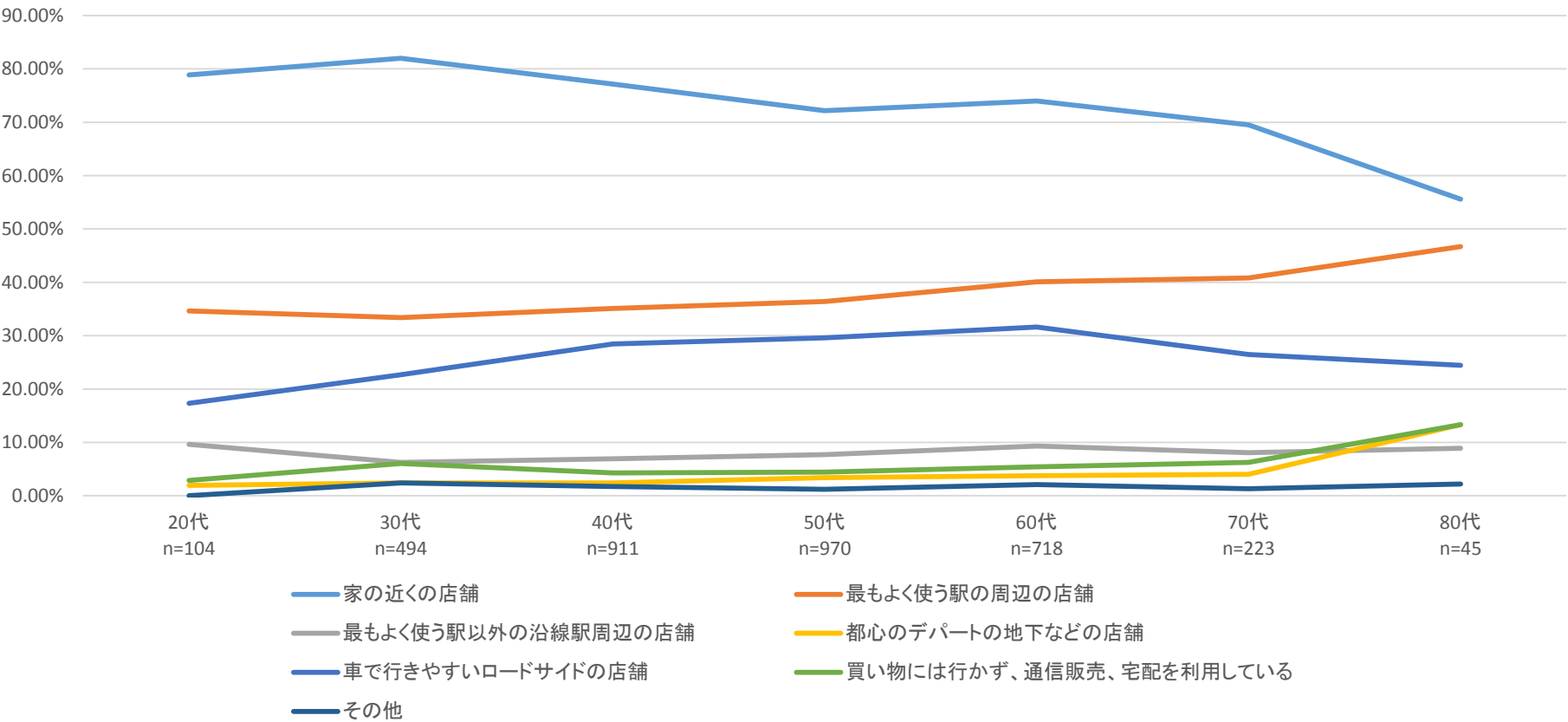


図80. 日常食料品の購買場所の推移（年齢）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：購買場所（居住年数別）

主な日常食料品の購入場所	10年以下 n=770		10-19年 n=202		20-29年 n=977		30-39年 n=555		40-49年 n=320		50-59年 n=164		60-69年 n=29		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
家の近くの店舗	573	74.42%	158	78.22%	746	76.36%	405	72.97%	229	71.56%	108	65.85%	24	82.76%	2245
最もよく使う駅の周辺の店舗	300	38.96%	56	27.72%	365	37.36%	201	36.22%	135	42.19%	63	38.41%	8	27.59%	1129
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の店舗	50	6.49%	16	7.92%	79	8.09%	53	9.55%	14	4.38%	15	9.15%	2	6.90%	229
都心のデパートの地下などの店舗	12	1.56%	5	2.48%	33	3.38%	19	3.42%	16	5.00%	4	2.44%	3	10.34%	92
車で行きやすいロードサイドの店舗	202	26.23%	59	29.21%	284	29.07%	172	30.99%	105	32.81%	45	27.44%	7	24.14%	874
買い物には行かず、通信販売、宅配を利用してい	48	6.23%	8	3.96%	36	3.68%	23	4.14%	22	6.88%	6	3.66%	2	6.90%	145
その他	14	1.82%	3	1.49%	19	1.94%	7	1.26%	10	3.13%	3	1.83%	1	3.45%	57

図81. 居住年数別日常食料品の購買場所

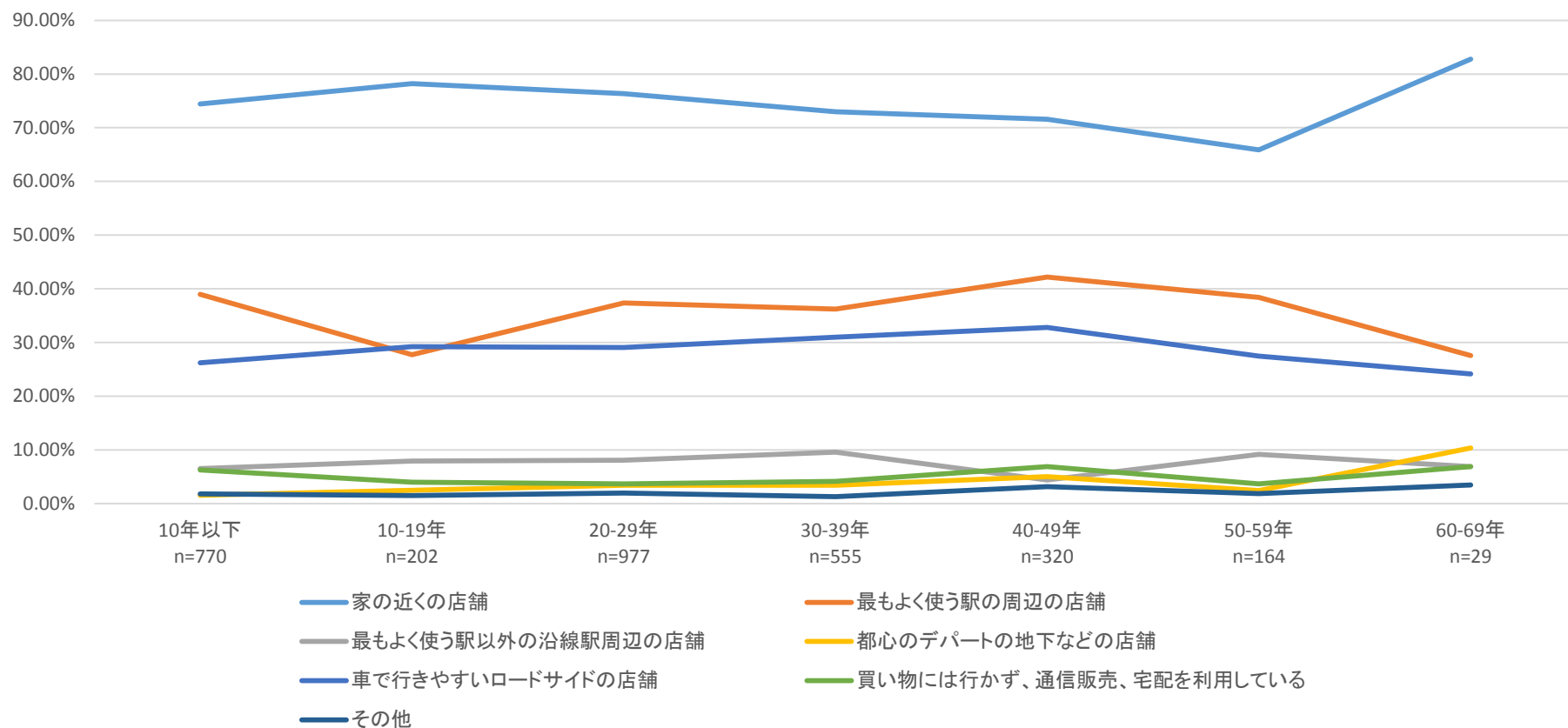


図82. 日常食料品の購買場所の推移（居住年数）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：外食場所（年齢別）

主なハレの日の外食場所	20代 n=104		30代 n=494		40代 n=911		50代 n=970		60代 n=718		70代 n=223		80代 n=45		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	16	15.38%	96	19.43%	128	14.05%	135	13.92%	90	12.53%	33	14.80%	1	2.22%	499
最もよく使う駅周辺の飲食店	15	14.42%	66	13.36%	99	10.87%	116	11.96%	131	18.25%	49	21.97%	14	31.11%	490
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	5	4.81%	39	7.89%	69	7.57%	70	7.22%	63	8.77%	11	4.93%	5	11.11%	262
都心の飲食店	25	24.04%	68	13.77%	128	14.05%	150	15.46%	110	15.32%	38	17.04%	9	20.00%	528
車で行きやすいロードサイドの飲食店	31	29.81%	166	33.60%	377	41.38%	376	38.76%	215	29.94%	55	24.66%	10	22.22%	1230
ケータリングや出前を利用している	0	0.00%	6	1.21%	8	0.88%	17	1.75%	7	0.97%	2	0.90%	0	0.00%	40
その他	0	0.00%	14	2.83%	21	2.31%	24	2.47%	18	2.51%	7	3.14%	1	2.22%	85
ほとんど外食しない	12	11.54%	39	7.89%	81	8.89%	82	8.45%	84	11.70%	28	12.56%	5	11.11%	331
計	104	100.00%	494	100.00%	911	100.00%	970	100.00%	718	100.00%	223	100.00%	45	100.00%	3465

図83. 年齢別ハレの日の外食場所

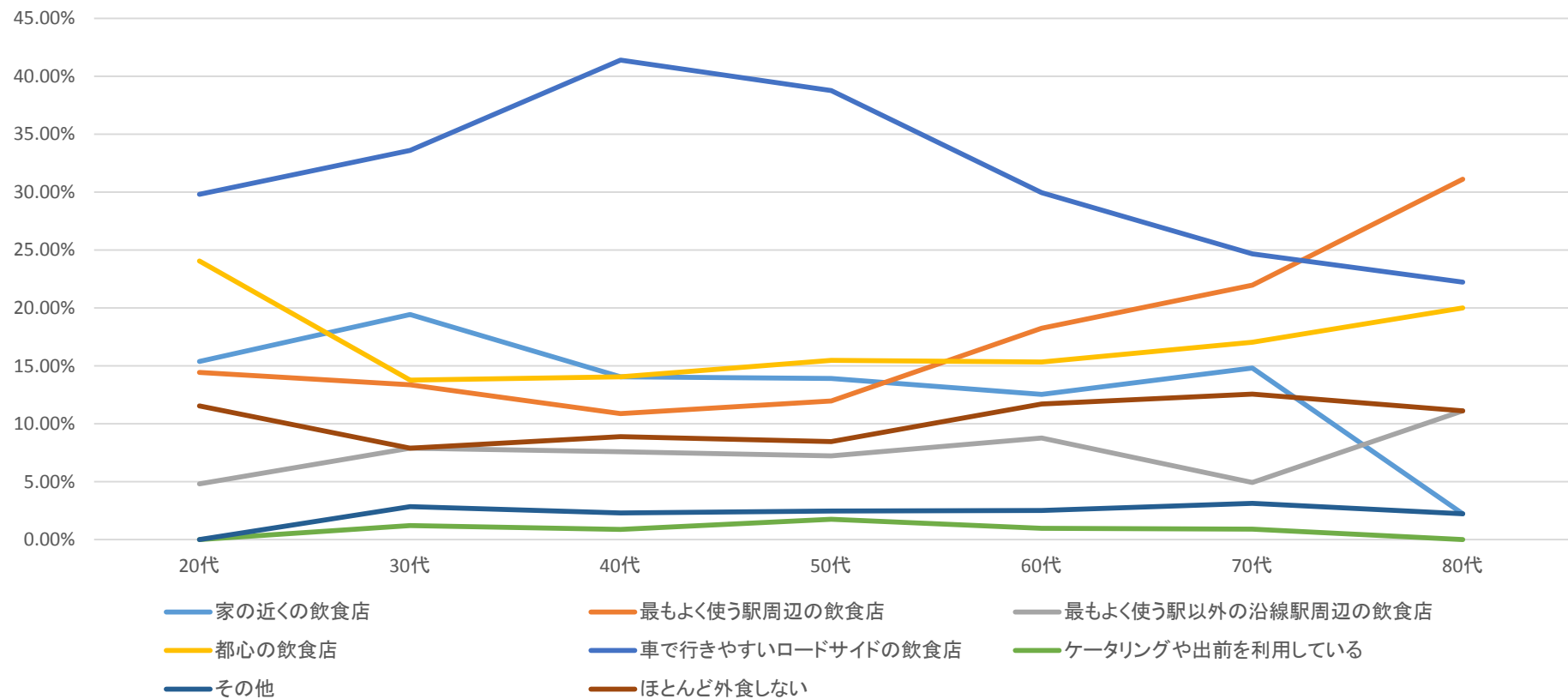


図84. ハレの日の外食場所の推移（年齢）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：外食場所（居住年数別）

主なハレの日の外食場所	10年以下 n=770		10-19年 n=202		20-29年 n=977		30-39年 n=555		40-49年 n=320		50-59年 n=164		60-69年 n=29		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
家の近くの飲食店	118	15.32%	34	16.83%	129	13.20%	68	12.25%	43	13.44%	21	12.80%	7	24.14%	420
最もよく使う駅周辺の飲食店	103	13.38%	27	13.37%	135	13.82%	87	15.68%	63	19.69%	26	15.85%	0	0.00%	441
最もよく使う駅以外の沿線駅周辺の飲食店	61	7.92%	9	4.46%	86	8.80%	43	7.75%	18	5.63%	9	5.49%	3	10.34%	229
都心の飲食店	136	17.66%	33	16.34%	124	12.69%	79	14.23%	48	15.00%	32	19.51%	6	20.69%	459
車で行きやすいロードサイドの飲食店	263	34.16%	79	39.11%	384	39.30%	195	35.14%	94	29.38%	51	31.10%	9	31.03%	1076
ケータリングや出前を利用している	7	0.91%	3	1.49%	8	0.82%	8	1.44%	7	2.19%	2	1.22%	0	0.00%	35
その他	25	3.25%	1	0.50%	27	2.76%	10	1.80%	12	3.75%	4	2.44%	0	0.00%	79
ほとんど外食しない	57	7.40%	16	7.92%	84	8.60%	65	11.71%	35	10.94%	19	11.59%	4	13.79%	280
計	770	100.00%	202	100.00%	977	100.00%	555	100.00%	320	100.00%	164	100.00%	29	100.00%	3019

図85. 居住年数別ハレの日の外食場所

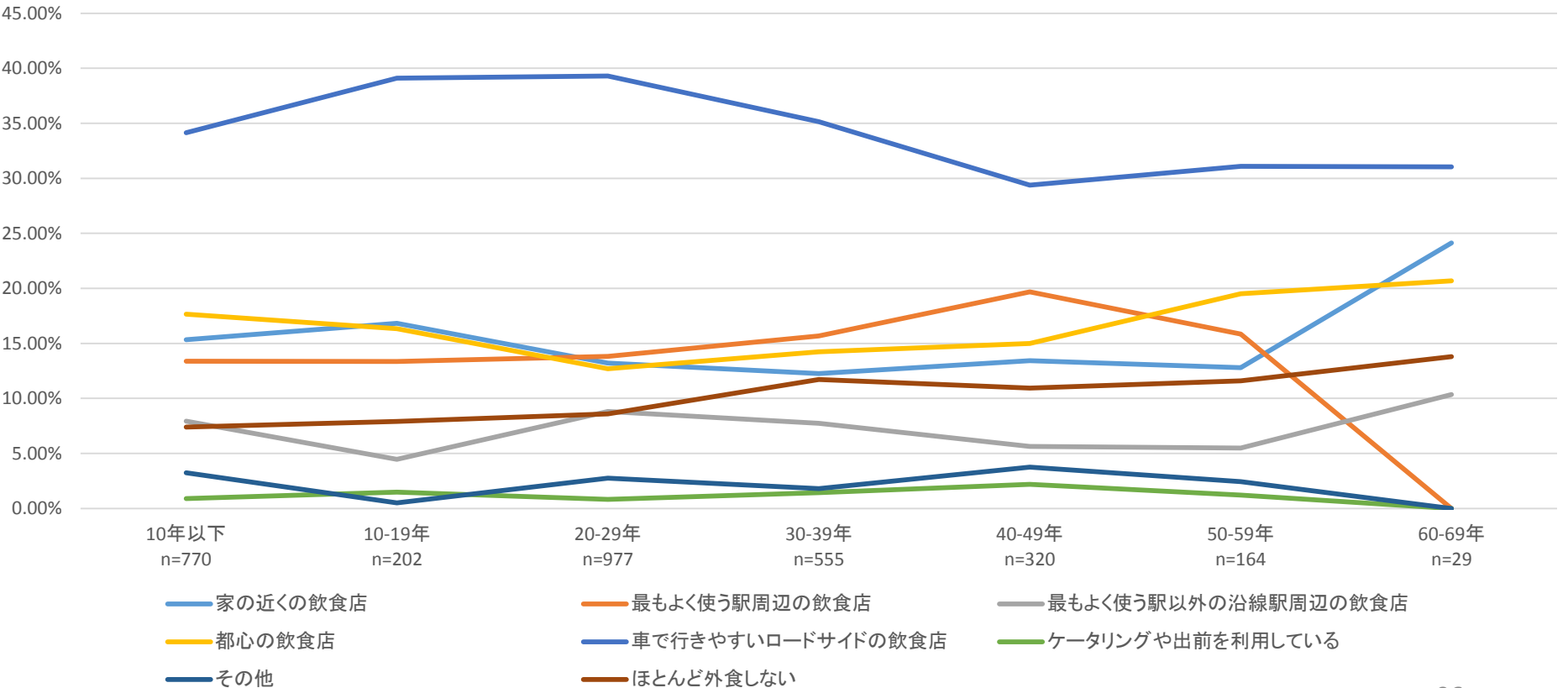


図86. ハレの日の外食場所の推移（居住年）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：沿線満足度（年齢別）

沿線満足度	20代 n=104		30代 n=494		40代 n=911		50代 n=970		60代 n=718		70代 n=223		80代 n=45		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
将来も含めて満足している	49	47.12%	169	34.21%	311	34.14%	275	28.35%	195	27.16%	67	30.04%	10	22.22%	1076
どちらかという満足している	32	30.77%	193	39.07%	357	39.19%	440	45.36%	340	47.35%	98	43.95%	22	48.89%	1482
今は満足しているが将来には不安がある	16	15.38%	87	17.61%	152	16.68%	141	14.54%	126	17.55%	39	17.49%	8	17.78%	569
どちらかという満足していない	7	6.73%	40	8.10%	75	8.23%	91	9.38%	54	7.52%	17	7.62%	3	6.67%	287
満足していない	0	0.00%	5	1.01%	16	1.76%	23	2.37%	3	0.42%	2	0.90%	2	4.44%	51
計	104	100.00%	494	100.00%	911	100.00%	970	100.00%	718	100.00%	223	100.00%	45	100.00%	3465

図87. 年齢別沿線居住満足度

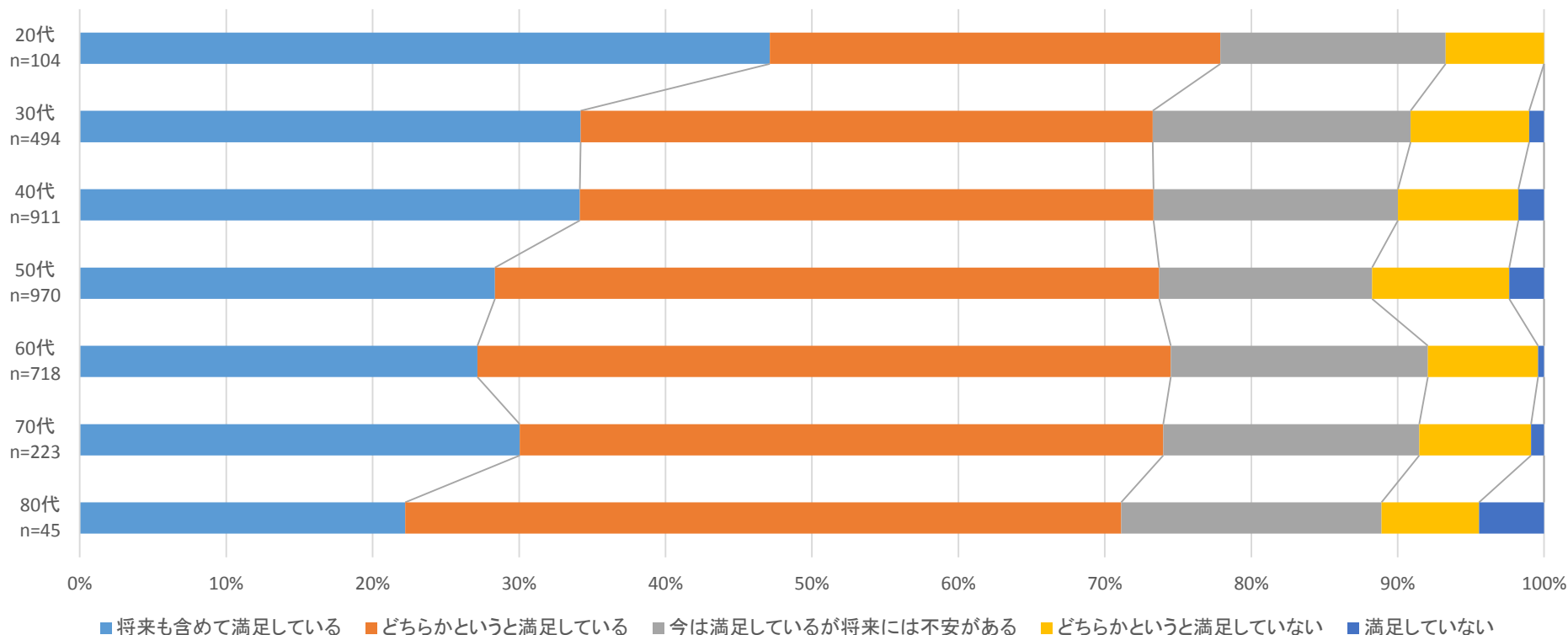


図88. 沿線居住満足度の割合（年齢）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：沿線満足度（居住年数別）

沿線満足度	10年以下 n=770		10-19年 n=202		20-29年 n=977		30-39年 n=555		40-49年 n=320		50-59年 n=164		60-69年 n=29		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
将来も含めて満足している	268	34.81%	69	34.16%	304	31.12%	131	23.60%	92	28.75%	51	31.10%	4	13.79%	920
どちらかという満足している	297	38.57%	92	45.54%	413	42.27%	278	50.09%	140	43.75%	71	43.29%	15	51.72%	1306
今は満足しているが将来には不安がある	135	17.53%	26	12.87%	166	16.99%	83	14.95%	58	18.13%	27	16.46%	7	24.14%	503
どちらかという満足していない	60	7.79%	14	6.93%	80	8.19%	53	9.55%	27	8.44%	11	6.71%	3	10.34%	248
満足していない	10	1.30%	1	0.50%	14	1.43%	10	1.80%	3	0.94%	4	2.44%	0	0.00%	42
計	770	100.00%	202	100.00%	977	100.00%	555	100.00%	320	100.00%	164	100.00%	29	100.00%	3019

図89. 居住年数別沿線居住満足度

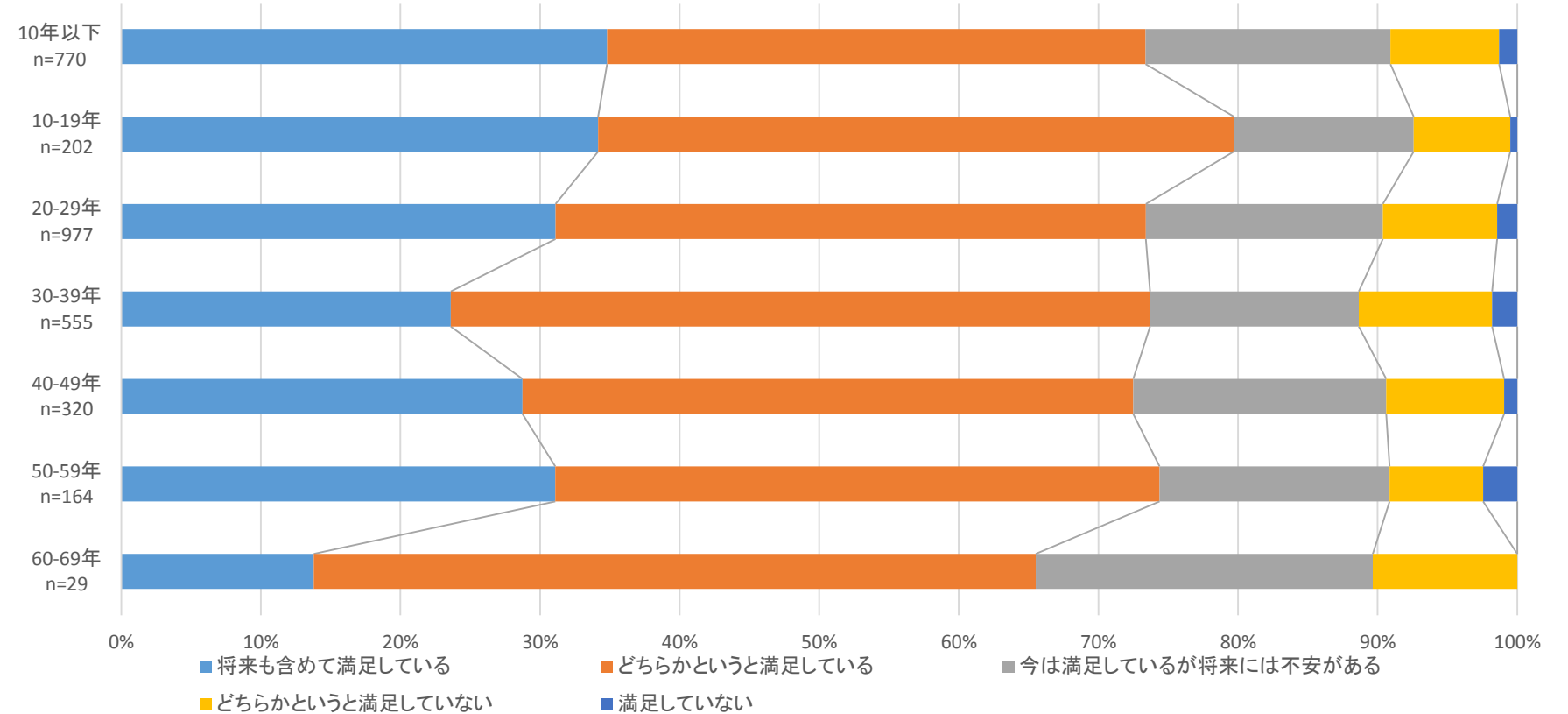


図90. 沿線居住満足度の割合（居住年数）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：居住継続意向（年齢別）

居住継続意向	20代 n=104		30代 n=494		40代 n=911		50代 n=970		60代 n=718		70代 n=223		80代 n=45		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
住み続けるつもり	61	58.65%	364	73.68%	697	76.51%	780	80.41%	629	87.60%	198	88.79%	42	93.33%	2771
住み続けたいが、難しい	25	24.04%	51	10.32%	61	6.70%	50	5.15%	26	3.62%	7	3.14%	3	6.67%	223
できれば、住み替えたいと思う	16	15.38%	69	13.97%	143	15.70%	132	13.61%	58	8.08%	18	8.07%	0	0.00%	436
住み替えることが決まっている	2	1.92%	10	2.02%	10	1.10%	8	0.82%	5	0.70%	0	0.00%	0	0.00%	35
計	104	100.00%	494	100.00%	911	100.00%	970	100.00%	718	100.00%	223	100.00%	45	100.00%	3465

図91. 年齢別居住継続意向

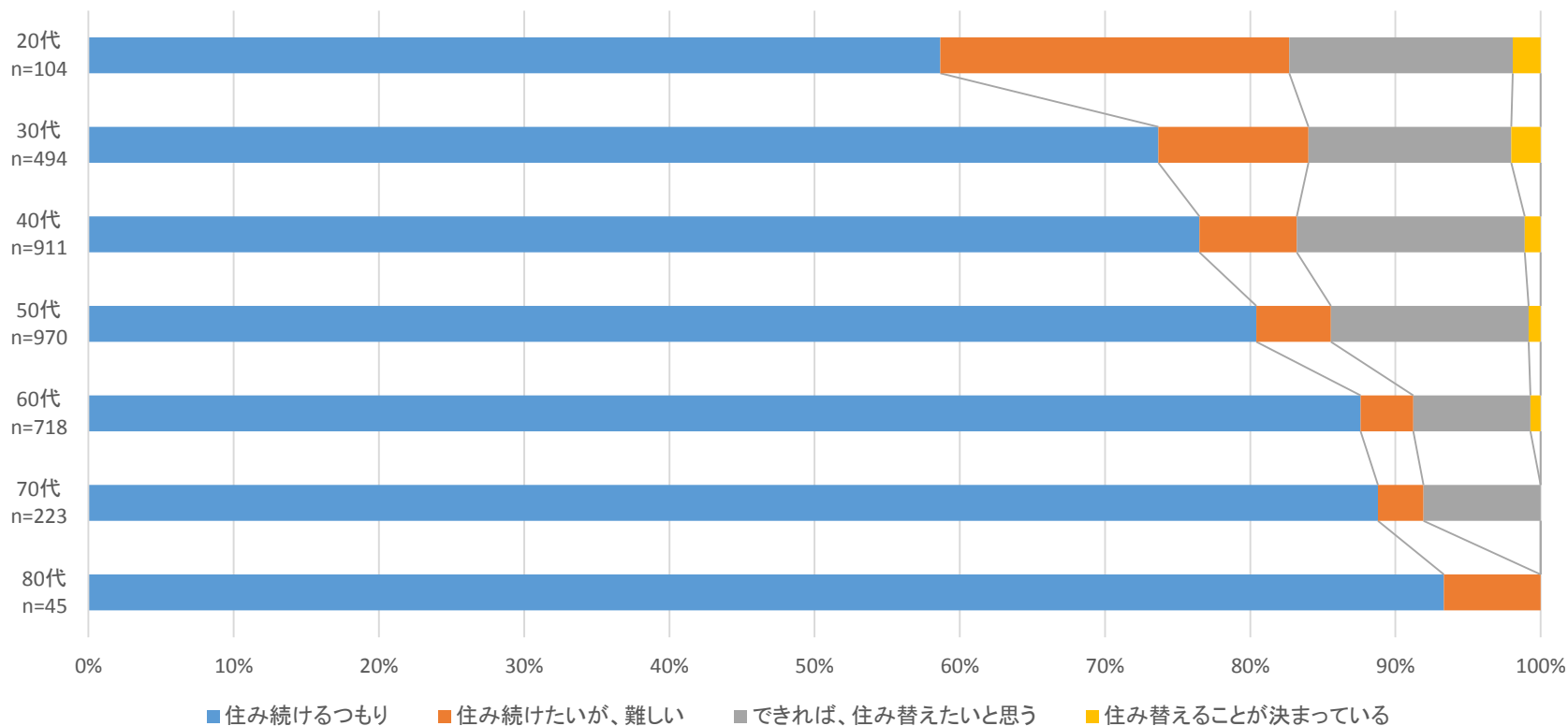


図92. 居住継続意向の割合（年齢）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：居住継続意向（居住年数別）

居住継続意向	10年以下 n=770		10-19年 n=202		20-29年 n=977		30-39年 n=555		40-49年 n=320		50-59年 n=164		60-69年 n=29		計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
住み続けるつもり	575	74.68%	162	80.20%	783	80.14%	456	82.16%	259	80.94%	146	89.02%	23	79.31%	2406
住み続けたいが、難しい	63	8.18%	18	8.91%	60	6.14%	24	4.32%	15	4.69%	9	5.49%	3	10.34%	192
できれば、住み替えたいと思う	117	15.19%	21	10.40%	124	12.69%	72	12.97%	46	14.38%	9	5.49%	3	10.34%	392
住み替えることが決まっている	15	1.95%	1	0.50%	10	1.02%	3	0.54%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	29
計	770	100.00%	202	100.00%	977	100.00%	555	100.00%	320	100.00%	164	100.00%	29	100.00%	3019

図93. 居住年数別居住継続意向

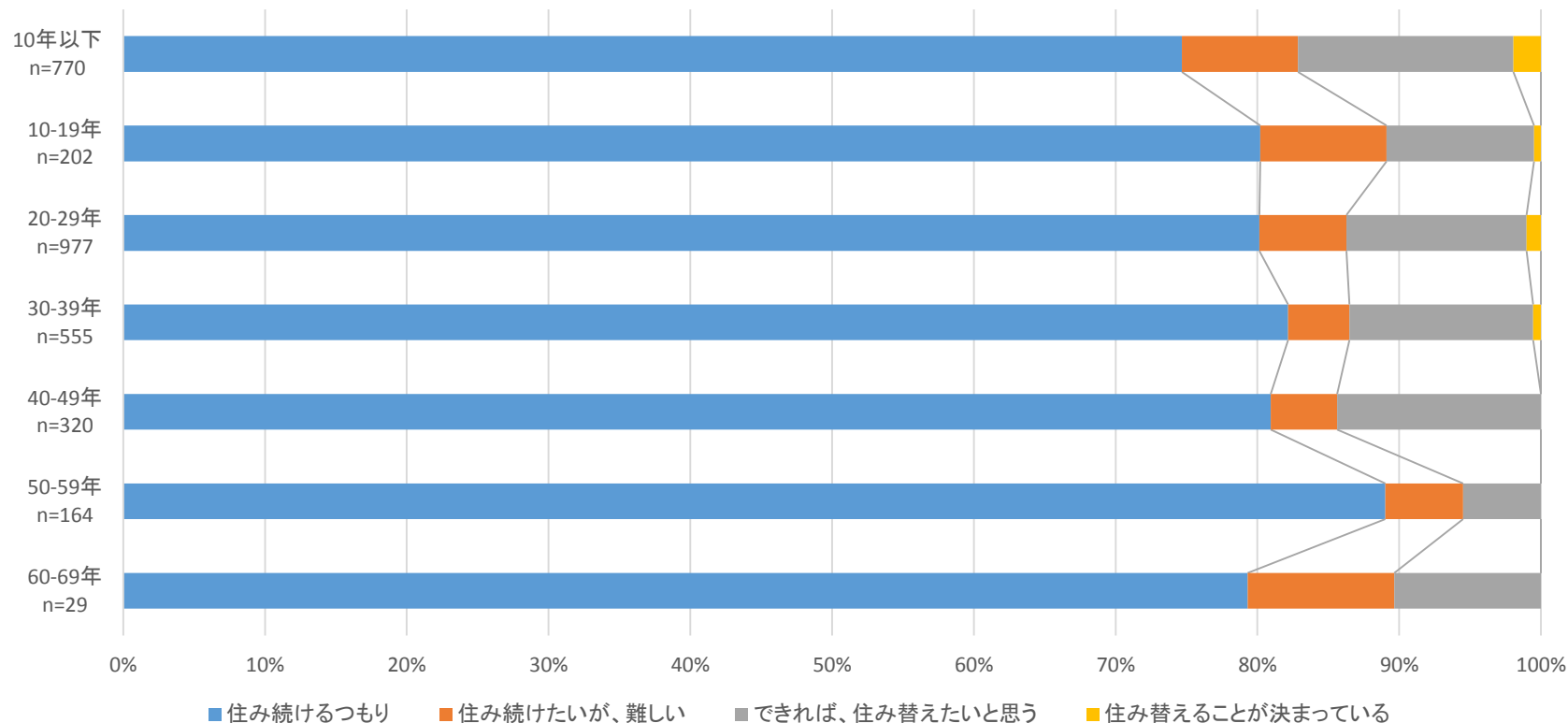


図94. 居住継続意向の割合（居住年数）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：居住希望地の特徴（年齢別）

		太陽光発電などを用いたゼロエネルギーの住宅		都心のタワーマンション		お住まいの地域のタワーマンション		菜園付きの住宅		戸建て住宅が立ち並ぶ住宅地		店や飲食店もある住宅地		スポーツ施設やゲストルームなど様々な共用施設の整った住宅地		居住者同士のコミュニティ活動が活発で、安心できる住宅地	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
20代 n=104	そう思う	50	48.08%	32	30.77%	26	25.00%	46	44.23%	56	53.85%	62	59.62%	61	58.65%	53	50.96%
	そう思わない	25	24.04%	47	45.19%	46	44.23%	26	25.00%	22	21.15%	19	18.27%	19	18.27%	14	13.46%
	どちらとも言えない	29	27.88%	25	24.04%	32	30.77%	32	30.77%	26	25.00%	23	22.12%	24	23.08%	37	35.58%
30代 n=494	そう思う	238	48.18%	109	22.06%	105	21.26%	211	42.71%	240	48.58%	248	50.20%	225	45.55%	225	45.55%
	そう思わない	98	19.84%	281	56.88%	259	52.43%	141	28.54%	89	18.02%	82	16.60%	102	20.65%	57	11.54%
	どちらとも言えない	158	31.98%	104	21.05%	130	26.32%	142	28.74%	165	33.40%	164	33.20%	167	33.81%	212	42.91%
40代 n=911	そう思う	435	47.75%	155	17.01%	145	15.92%	362	39.74%	340	37.32%	431	47.31%	352	38.64%	347	38.09%
	そう思わない	138	15.15%	502	55.10%	516	56.64%	260	28.54%	192	21.08%	167	18.33%	223	24.48%	141	15.48%
	どちらとも言えない	338	37.10%	254	27.88%	250	27.44%	289	31.72%	379	41.60%	313	34.36%	336	36.88%	423	46.43%
50代 n=970	そう思う	481	49.59%	151	15.57%	134	13.81%	375	38.66%	341	35.15%	484	49.90%	380	39.18%	452	46.60%
	そう思わない	141	14.54%	547	56.39%	561	57.84%	279	28.76%	214	22.06%	129	13.30%	196	20.21%	88	9.07%
	どちらとも言えない	348	35.88%	272	28.04%	275	28.35%	316	32.58%	415	42.78%	357	36.80%	394	40.62%	430	44.33%
60代 n=718	そう思う	331	46.10%	90	12.53%	92	12.81%	269	37.47%	258	35.93%	321	44.71%	305	42.48%	354	49.30%
	そう思わない	115	16.02%	457	63.65%	431	60.03%	220	30.64%	175	24.37%	121	16.85%	123	17.13%	46	6.41%
	どちらとも言えない	272	37.88%	171	23.82%	195	27.16%	229	31.89%	285	39.69%	276	38.44%	290	40.39%	318	44.29%
70代 n=223	そう思う	93	41.70%	25	11.21%	23	10.31%	89	39.91%	97	43.50%	99	44.39%	88	39.46%	133	59.64%
	そう思わない	50	22.42%	143	64.13%	135	60.54%	62	27.80%	45	20.18%	44	19.73%	41	18.39%	14	6.28%
	どちらとも言えない	80	35.87%	55	24.66%	65	29.15%	72	32.29%	81	36.32%	80	35.87%	94	42.15%	76	34.08%
80代 n=45	そう思う	18	40.00%	5	11.11%	7	15.56%	14	31.11%	17	37.78%	18	40.00%	17	37.78%	24	53.33%
	そう思わない	6	13.33%	24	53.33%	22	48.89%	15	33.33%	16	35.56%	7	15.56%	11	24.44%	1	2.22%
	どちらとも言えない	21	46.67%	16	35.56%	16	35.56%	16	35.56%	12	26.67%	20	44.44%	17	37.78%	20	44.44%

図95. 居住希望地の特徴（年齢）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：居住希望地の特徴（居住年数別）

		太陽光発電などを用いたゼロエネルギーの住宅		都心のタワーマンション		お住まいの地域のタワーマンション		菜園付きの住宅		戸建て住宅が立ち並ぶ住宅地		店や飲食店もある住宅地		スポーツ施設やゲストルームなど様々な共用施設の整った住宅地		居住者同士のコミュニティ活動が活発で、安心できる住宅地	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
10年以下 n=770	そう思う	376	48.83%	150	19.48%	148	19.22%	326	42.34%	321	41.69%	390	50.65%	326	42.34%	346	44.94%
	そう思わない	130	16.88%	438	56.88%	433	56.23%	230	29.87%	164	21.30%	112	14.55%	160	20.78%	84	10.91%
	どちらとも言えない	264	34.29%	182	23.64%	189	24.55%	214	27.79%	285	37.01%	268	34.81%	284	36.88%	340	44.16%
10-19年 n=202	そう思う	93	46.04%	34	16.83%	38	18.81%	77	38.12%	75	37.13%	98	48.51%	80	39.60%	77	38.12%
	そう思わない	45	22.28%	114	56.44%	113	55.94%	62	30.69%	52	25.74%	42	20.79%	56	27.72%	39	19.31%
	どちらとも言えない	64	31.68%	54	26.73%	51	25.25%	63	31.19%	75	37.13%	62	30.69%	66	32.67%	86	42.57%
20-29年 n=977	そう思う	462	47.29%	163	16.68%	147	15.05%	382	39.10%	350	35.82%	465	47.59%	403	41.25%	439	44.93%
	そう思わない	158	16.17%	547	55.99%	532	54.45%	266	27.23%	212	21.70%	143	14.64%	200	20.47%	100	10.24%
	どちらとも言えない	357	36.54%	267	27.33%	298	30.50%	329	33.67%	415	42.48%	369	37.77%	374	38.28%	438	44.83%
30-39年 n=555	そう思う	261	47.03%	90	16.22%	74	13.33%	205	36.94%	207	37.30%	267	48.11%	219	39.46%	249	44.86%
	そう思わない	85	15.32%	323	58.20%	325	58.56%	168	30.27%	133	23.96%	103	18.56%	107	19.28%	52	9.37%
	どちらとも言えない	209	37.66%	142	25.59%	156	28.11%	182	32.79%	215	38.74%	185	33.33%	229	41.26%	254	45.77%
40-49年 n=320	そう思う	151	47.19%	36	11.25%	35	10.94%	122	38.13%	128	40.00%	151	47.19%	139	43.44%	161	50.31%
	そう思わない	43	13.44%	194	60.63%	192	60.00%	99	30.94%	66	20.63%	48	15.00%	62	19.38%	25	7.81%
	どちらとも言えない	126	39.38%	90	28.13%	93	29.06%	99	30.94%	126	39.38%	121	37.81%	119	37.19%	134	41.88%
50-59年 n=164	そう思う	81	49.39%	17	10.37%	21	12.80%	62	37.80%	78	47.56%	64	39.02%	61	37.20%	89	54.27%
	そう思わない	27	16.46%	104	63.41%	97	59.15%	51	31.10%	26	15.85%	29	17.68%	30	18.29%	7	4.27%
	どちらとも言えない	56	34.15%	43	26.22%	46	28.05%	51	31.10%	60	36.59%	71	43.29%	73	44.51%	68	41.46%
60-69年 n=29	そう思う	12	41.38%	2	6.90%	3	10.34%	13	44.83%	18	62.07%	13	44.83%	10	34.48%	18	62.07%
	そう思わない	3	10.34%	20	68.97%	18	62.07%	9	31.03%	3	10.34%	5	17.24%	7	24.14%	1	3.45%
	どちらとも言えない	14	48.28%	7	24.14%	8	27.59%	7	24.14%	8	27.59%	11	37.93%	12	41.38%	10	34.48%

図95. 居住希望地の特徴（居住年数）

4.回答者属性別の生活行動と駅利用の傾向：まとめ

【住居形態】

- ① 40代未満で賃貸率が増加している
- ② 居住年数が50年未満で集合住宅（持家）が、30年未満で賃貸率が増加

【日常食料品の購買】

- ① ロードサイドの利用は60代まで増加するが、以降減少する
- ② 利用駅周辺の店舗は、60代以降に利用率が増加する

【外食】

- ① ロードサイドの飲食店は40代の利用率がピークであり、80代では利用駅周辺の飲食店の利用率に抜かされている
- ② 利用駅周辺の飲食店の利用率は、50代以降に増加する

【沿線満足度/居住継続意向】

- ① 年齢および居住年数が増加するに従い満足度は下がっていく
- ② 反対に居住継続意向は強まっていく

京阪沿線では、生活圏がロードサイドに引っ張られているが、沿線沿いの施設利用およびニーズは、存在しており、世代や家族構成等に絞って再整備する余地はあると考えられる。

飲食店関連の施設は、特に居住者の年齢が増すごとにロードサイドより駅周辺が選ばれる傾向にあり、設置希望や実際の利用実態からも再編の1つのヒントになり得る。

年齢および居住年数が増すに従い持家率も高く、移住へは消極的な傾向にある。しかしながら、同時に沿線居住への不安(不満)は増加しているため、居住地の不安(不満)を解消するか、住み替えを促す余地はあり得る。その際、タワーマンションに関しては、あまりよい印象を持っておらず、敬遠される可能性がある。